平成16年度

食品安全確保総合調査

「食品等に係るかび毒・自然毒のリスク評価に関する情報調査」

報告書

平成17年3月

財団法人　国際医学情報センター

目次

Ⅰ. 調査の概要 ・・・・・・・・ 1

Ⅱ. 調査方法 ・・・・・・・・ 3

Ⅲ. 原因物質一覧表 ・・・・・・・・ 4

Ⅳ. 原因食品・汚染食品一覧表 ・・・・・・・・ 6

Ⅴ. 収集文献一覧表 ・・・・・・・・ 8

Ⅰ．調査の概要

1. 業務件名

「食品等に係るかび毒・自然毒のリスク評価に関する情報収集調査」

2. 調査業務の目的

本調査は、食品又は飲料に係るかび毒及び自然毒に関する学術文献等の調査・整理、データベース化等を行い、内閣府食品安全委員会がかび毒・自然毒に関するリスク評価を円滑、迅速かつ効率的に実施するための基礎的資料の作成を目的とする。

3. 調査業務の必要性

発がん性物質のひとつとして挙げられているアフラトキシンをはじめとするかび毒汚染の多くは、輸入食品で多くの発生がある。また、植物性自然毒（きのこ、食用植物、食用に誤用される有毒植物等）、動物性自然毒（魚介類等）は、本邦において多くの発生があり、平成 15 年の発生状況は、植物性自然毒は患者数 229 名、死者 2 名、動物性自然毒は患者数 79 名、死者 3 名であった。

今後、リスク評価を行う上で、上記のかび毒・自然毒に関する最新の科学的知見、国内外の発生事例、そして国際機関や諸外国の規制等を把握しておくことは重要である。

4. 調査業務の項目

仕様書に基づき、以下の各項目の調査業務を行う。

(1) かび毒及び自然毒に関する科学的文献、報告及び諸外国の示す規制等の調査食品に係るかび毒及び自然毒｛植物性及び動物性自然毒（水圏性を含む）｝に関する科学的文献及び書籍、国内外の調査事例報告及び健康被害報告、国際機関又は諸外国の示す規制にかかわる資料等を調査し、体系的に整理する。

1) 調査対象

かび毒、植物性自然毒（きのこ、食用植物、食用に誤用される有毒植物等）、動物性自然毒（魚介類等）の原因物質又は原因食品等を調査対象とする。

2）調査内容

① 原因物質の物理化学的性状、生物学的性状、毒性研究などの科学的論文

② 国内外の食中毒事例（誤食を含む）、食品汚染事例又は調査事例、国内外の汚染食品による健康被害事例の報告

③ 国内外の食中毒（誤食を含む）、汚染食品および健康被害事例に関する統計的報告

④ 原因物質を含む動植物等の食品としての利用・流通実態、原因物質の含有量等

⑤ 以下に代表される国際機関の報告（規制値に関する意見を含む）、諸外国が設定する規制値及びその根拠となる報告

- FAO／WHO 合同食品規格委員会（コーデックス委員会）
- FAO／WHO 合同食品添加物専門会議（JECFA）
- コーデックス委員会食品添加物・汚染物質部会（CCFAC）
- 国際がん研究機関（IARC）

その他

(2) 調査の結果の分析

上記（1）の結果を踏まえて、原因物質及び原因食品（誤用を含む）を列挙し、整理する。

(3) データベースの作成

上記（2）の結果を踏まえて、原因物質及びそれに係る食品等のデータを体系的に整理するとともに（データベースの作成）、作成にあたって必要な文献・報告書・書籍等を 300 種以上収集し、整理する。

なお、データベースに記載する原因物質数は以下の条件に沿い、食品衛生上、重要度の高い物質を対象に最終的に 124 種類（別添参照）とする。

① かび毒の原因物質として 10 種類以上

② 植物性自然毒（きのこ、食用・誤食植物、藻類等）の原因物質として 30 種類以上

③ 動物性自然毒（魚介類等）の原因物質として 10 種類以上

④ 原因物質は不明であるが、摂取することによって健康被害を生ずるかび毒・自然毒に係る食品（誤食を含む）の情報 5 種類以上

Ⅱ. 調査方法

1. 内閣府食品安全委員会の選択による原因物質および原因不明の毒について健康被害・毒性・疫学調査・サーベイランスなどをキーワードとして各種データベース[注1)]の検索、またインターネットのWeb検索を行った。

2. 検索結果の資料の中から、本業務内容に適する資料を、タイトル、抄録、キーワード等の中から選択し、国内または Web で所蔵可能なものを 1,116 件入手した。

3. 入手した資料の内容については、原因物質に基づいて毒性試験、疫学調査、あるいは食中毒事例報告、サーベイランスなどに分類し、試験の種類、方法、標的臓器、毒性試験結果、また発生地域、発生規模、発生時期、汚染食品と汚染状況、臨床症状や治療、疫学研究、デザイン、原因物質の検査、調査結果、対象国、調査期間などを抽出し、データベースとした。
また原因物質の性質や各国の規制情報、出典情報もデータベース化し、各々関連づけた。

注1)　使用データベース

(1)　MEDLINE
(2)　Tox　File
(3)　JMEDPlus
(4)　医中誌 Web
(5)　JSTPlus
(6)　Food　Science　&　Technology　Abstracts

Ⅲ. 原因物質一覧表

1. かび毒(14種)

(1) アフラトキシン(Total)+M
(2) バッカクアルカロイド
(3) オクラトキシンA
(4) T-2トキシン
(5) ゼアラレノン
(6) デオキシニバレノル
(7) フモニシン(Total)
(8) ステリグマトシスチン
(9) パツリン
(10) シトリニン
(11) ニバレノール
(12) ルブラトキシン
(13) ルテオスカイリン
(14) シトレオビリジン

2. 植物性自然毒(67種)

(1) アトロピン
(2) コルヒチン
(3) Purpurea glucoside類(ジギタリスとして)
(4) ムスカリン
(5) スコポラミン
(6) アマニチン類
(7) イボテン酸(ムシモールとして)
(8) イボテン酸
(9) Purpurea glucoside類
(10) 配糖体サイカシン
(11) ソラニン
(12) アコニチン
(13) アマニタトキシン群類
(14) アミグダリン
(15) ヒヨスチアミン
(16) リナマリン
(17) グラヤノイド
(18) ジロミトリン
(19) コニイン
(20) トマチン
(21) ファロトキシン類
(22) ククルビタシン
(23) コプリン群
(24) ルパニン
(25) シクトキシン
(26) アブラギリ毒
(27) シロシビン群(シロシンとして)
(28) プロトベラトリン
(29) イルージンS
(30) コンバラトキシン
(31) アクロメリン酸
(32) ジロミトリン(ヘルベル酸として)
(33) クリチジン
(34) シロシビン群(ジムノピリンとして)
(35) トリコロミン酸
(36) ファシクロールE,F
(37) ブホテニン
(38) オレラニン
(39) フォルボールエスチル
(40) ミクロシスチン
(41) シリンドスペルモプシン
(42) プロスタグランジン
(43) プタキロサイド(ワラビ)
(44) プロゴイトリン(アブラナ科;キャベツ等)
(45) ピロリチジン系アルカロイド(コンフリー等)
(46) アミノプロピオニトリル(スイトピー)
(47) アリルプロピルジスルフィド(タマネギ)
(48) スパルテイン(エニシダ)
(49) アンドロメドトキシン(シャクナゲ等)
(50) タキシン(イチイ)
(51) ナンテニン(ナンテン)
(52) シマリンやアドニトキシン(フクジュソウ)
(53) ロデインやロデキシン(オモト)
(54) ビキュキュリン(キケマン)

(55) サイクロパミン(バイケイソウ)
(56) ホルボール類(ポインセチア)
(57) 植物エストロジェン(ダイゼイン、ダイズ等
(58) クメストロール(レッドクローバー)
(59) テトラヒドロカンビノール(アサ)
(60) フォルスコリン(コレウス・フォルスコリ)
(61) ヒドロキシクエン酸(ガルシニア)
(62) ベラトラミン
(63) シニグリン
(64) ゴシポール
(65) ゲルセミン
(66) タキソール類縁体
(67) リンコフィリン

3. 動物性自然毒(27種)

(1) テトロドトキシン
(2) サキシトキシン
(3) オカダ酸
(4) シガトキシン
(5) ブレベトキシンB
(6) パリトキシン
(7) ジノフィシストキシン
(8) マイトトキシン
(9) ネオスルガトキシン
(10) ドウモイ酸(ムール貝)
(11) アザスピロ酸
(12) ゴニオトキシン
(13) テトラミン
(14) ペクテノトキシン
(15) ピロフェオフルバイド
(16) ジノグネリン
(17) シプリノール
(18) プロスルガトキシン
(19) リングビアトキシンA
(20) Cトキシン
(21) イエッソトキシン
(22) フェオフルバイドA
(23) コノトキシン(イモガイ)
(24) ブンガロトキシン(へび)
(25) マストパラン(スズメバチ)
(26) ラトロトキシン(ゴケグモ)
(27) ミクロシスチン(アオコ)

4. その他の自然毒

(1) 強心配糖体(Purpure glycoside除く)

5. 原因不明の毒(汚染食品　15種)

(1) コイ
(2) ヤシガニ
(3) 果汁飲料(リンゴ、ミカン類、ブドウ類等)
(4) 小麦
(5) コメ
(6) コーン
(7) ナッツ、落花生、ピスタチオ類
(8) キノコ(ニオウジメジ、マイタケ、エリンギ等)
(9) スギヒラダケ
(10) アオブダイ
(11) ボラ(ヒメジ)
(12) エゾワスレガイ
(13) アイゴ
(14) ウミガメ
(15) モズク

Ⅳ. 原因食品・汚染食品一覧表

1.穀類

(1) とうもろこし
(2) コーンフラワー
(3) コーン油
(4) じゃがいも
(5) 茶米
(6) 米
(7) 玄米
(8) ぬか
(9) 小麦
(10) 大麦
(11) ライ麦
(12) ハト麦
(13) 玄麦
(14) ビール麦
(15) きび
(16) そば
(17) パン
(18) うどん
(19) 乳幼児食品(ビスケット・米菓)
(20) ひきわり粉
(21) トウモロコシパン
(22) 麦角製剤
(23) パイ
(24) 雑煮

2.豆類

(1) 生落花生
(2) 落花生
(3) ピーナッツ
(4) ピーナッツ加工品
(5) ピーナッツ殻
(6) ピーナッツバター
(7) ピーナッツ油
(8) ピスタチオナッツ
(9) ナッツ
(10) 豆
(11) 大豆
(12) エンドウ豆

3.キノコ

(1) きのこ
(2) マジックマッシュルーム
(3) テングタケ
(4) シビレタケ
(5) カヤタケ
(6) アセタケ
(7) カエンタケ
(8) ニガクリタケ
(9) ツキヨタケ
(10) ムキタケ
(11) ヒラタケ
(12) ウスムラサキシメジ
(13) ヒカゲタケ
(14) ワライタケ
(15) ドクツルタケ
(16) ヒメマツタケ
(17) シラフタケ
(18) シイタケ
(19) マイタケ
(20) エリンギ茸
(21) ドクササコ
(22) 食用アガリスク
(23) マツタケ
(24) スギヒラタケ

4.植物

(1) トリカブト
(2) ジギタリス
(3) コンフリー
(4) ワラビ
(5) モロヘイヤ
(6) ニリンソウ
(7) コゴミ
(8) キョウチクトウ
(9) フクジュソウ
(10) チョウセンアサガオ
(11) 漢方薬(八味地黄丸)
(12) 漢方薬(人参湯)
(13) 杏仁エキス
(14) 蜂蜜
(15) リンゴ花
(16) ホツツジ
(17) シャクナゲ
(18) バイケイソウ
(19) アブラギリ
(20) ガルシニアエキス
(21) エキナシア(薬草)
(22) ビタースイート(ナス科の草)
(23) イヌサフラン
(24) 漢方薬
(25) ドクゼリ
(26) 栄養補助食品
(27) 毒ニンジン
(28) ソテツ
(29) ゆり根
(30) ヨモギギク
(31) ハーブ(薬草・茶)
(32) イチイ
(33) ヨモギ
(34) 緑色野菜

(35) 茶葉
(36) はすの実
(37) ゴマ
(38) スパイス
(39) チリ
(40) ガーリック
(41) パプリカ
(42) ナツメグ
(43) コショー
(44) 乳幼児食品(野菜スープ)
(45) ルピナス
(46) 綿の実
(47) ブラックベリー
(48) シュロソウ
(49) ポインセチア

5.果実
(1) 青梅
(2) イチジク
(3) ブドウジュース
(4) りんごジュース
(5) りんご加工品
(6) 乳幼児食品(果汁)
(7) イチゴ

6.動物
(1) 豚
(2) 馬
(3) トリ
(4) ラット
(5) 七面鳥
(6) キジ
(7) アヒル

7.海洋動物・魚類
(1) アブラソコムツ
(2) フグ
(3) アオブダイ
(4) 鯉
(5) 毛ガニ
(6) ヤシガニ
(7) ウモレオウギガニ
(8) ミドリガニ
(9) サバ
(10) サケ
(11) マガレイ
(12) カダヤシ
(13) ニッポンヒトデ
(14) バラハタ
(15) ドクカマス
(16) ドクウツボ
(17) クラゲ
(18) ニジマス

8.藻類
(1) モズク
(2) アオコ
(3) オゴノリ類

9.貝類
(1) アサリ
(2) カキ
(3) ザルガイ
(4) フジツガイ科巻貝
(5) アクキガイ科巻貝
(6) エゾバイ科巻貝
(7) カンムリボラ科巻貝
(8) 二枚貝
(9) ホタテガイ
(10) ムラサキイガイ
(11) マテガイ
(12) イカイ(イガイ)
(13) ホッキガイ
(14) バカガイ
(15) サラガイ
(16) オオカラフトバイ
(17) アカボラ
(18) セイヨウトコブシ(藻食性巻貝)
(19) ヨーロッパボラ(肉食性巻貝)

10.乳製品
(1) ナチュラルチーズ
(2) 乳製品

11.その他
(1) 飼料
(2) 飲料水
(3) アルコール
(4) エルゴタミン含有製剤

収載文献一覧表

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500001	日本熱帯医学会雑誌 楠部国泰:箕山博夫:神田実喜男:他	1991 熱帯地域における各種急性肝障害の肝細胞病変を主とした病理組織学的特異性 妊娠中毒症、肝炎ウイルス性劇症肝炎、黄熱アフラトキシン中毒症の比較検討	19	3	229	237
500002	防菌防黴 熊谷進	1993 マイコトキシンの毒性 アフラトキシン、オクラトキシン、フモニシン	21	1	39	47
500003	食品衛生学雑誌 粟飯原景昭:一戸正勝:前田協一:他	1985 輸入生落花生の保管とアフラトキシンの二次汚染について	26	3	234	242
500004	Mycotoxins Arim RH	2001 Recent status of mycotoxin research in the Philippines	50	1	23	26
500005	Mycotoxins Suprasert D	2000 Recent status of mycotoxin research in Thailand	50	1	27	29
500006	Biosci Microflora El-Nezami H:Mykkanen H:Kankaanpaa P:他	2000 Ability of a mixture of lactobacillus and propionibacterium to influence the faecal aflatoxin content in healthy egyptian volunteers: A pilot clinical study	19	1	41	45
500007	Hepatol Res Yi J :Abe K:Sato Y:他	2002 Hepatitis B and C virus infection and p53 mutations in human hepatocellular carcinoma in Harbin、Heilongjian Province、China	24	4	379	384
500008	Environ Health Prove Med Lu FC	2003 Assessment of safety/risk vs. public health concerns: aflatoxins and hepatocarcinoma	7	6	235	238
500009	食品衛生研究 山岸善樹:佐藤史郎:師岡俊行:他	1983 各種食品におけるかび毒に関する調査について	33	12	1133	1138
500010	Kitasato Arch Exp Med Sutabhaha S:Suttajit M:Niyomca P	1992 Studies of aflatoxins in chiang mai、Thailnd	65	1	45	52
500011	Jpn J Infect Dis Ding X:Park YN:Taltavull TC:他	2003 Ggographic characterization of hepatitis virus infections、genotyping of hepatitis B virus、and p53 mutation in hepatocellula carcinoma analyzed by In situ detection of viral genomes from Carcinoma Tissues:	56	1	12	18
500012	食品衛生学雑誌 斉藤和夫:西島基弘:安田和男:他	1984 市販ピスタチオナッツ・コーン及びコーンフラワーのAflatoxin及びAflatoxicol汚染調査	25	3	241	245
500013	食品衛生学雑誌 Tabata S:Ibe A:Ozawa H:他	1998 Aflatoxin contamination in foods and foodstuffs in Tokyo:1991-1996	39	6	444	447
500014	衛生試験所報告 一戸正勝:Kartastisna A:平井和人:他	1988 インドネシア産生薬由来の Aspergillus flavus のアフラトキシン生産性		106	25	29
500015	臨床科学 奥田邦雄	1988 肝細胞癌の疫学 ー地理病理学的立場からー	24	6	693	697

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500016	兵庫県立衛生研究所年報 武田信幸	1996 輸入食品中のアフラトキシン検査 10年間のまとめ		31	164	167
500017	Mycotoxins Ali N	2000 Aflatoxins in Malaysian food	50		31	35
500018	食品衛生学雑誌 田端節子:上村尚:田村行弘:他	1987 アフラトキシンの食品汚染実態とその推移	28	5	395	401
500019	Mycotoxins 岡野清志	2001 輸入時におけるイラン産ピスタチオナッツのアフラトキシン検査結果について	51	2	83	85
500020	Mycotoxins 伊藤嘉典:前田協一:粟飯原景昭	2001 輸入剥き実生落花生のアフラトキシン汚染調査(1972～1991)	51		13	24
500021	Mycotoxins 岡野清志:富田常義:長南正貴	2003 輸入生落花生のアフラトキシン検査について(1994～2000)	53	1	25	29
500022	Mycotoxins Suprasert D	2000 Recent status of mycotoxin research in Thailand	50		27	29
500024	埼玉県衛生研究所報 星野庸二:堀江正一:飯島正雄:他	1992 食品中のアフラトキシン類の調査		25	223	224
500025	Mycotoxins 伊藤嘉典:野村泰子:広鰭律子:他	2001 市販ピーナッツ関連祝ヒント輸入ピーナッツのアフラトキシン汚染調査(1970～1972)	51	2	115	121
500026	Mycotoxins 一戸正勝:斉藤朋子:岡野清志	2001 イラン産ピスタチオナッツのカビ毒生産菌の分布	51	2	109	114
500027	Mycotoxins 田端節子	2001 市販ピスタチオナッツのアフラトキシン汚染	51	2	87	93
500028	厚生省神経疾病研究年度研究報告書 亀山義郎:星野清:福井義浩:他	1984 環境要因による大脳発生異常の実験的研究 Ochratoxin A によるマウス大脳の発生障害			25	29
500029	Nagoya Med J Futamura K	1988 Teratogenic effects of ochratoxin a on mutant small eye and cataractous mice	32	3-4	195	205
500030	日本公衆衛生雑誌 坪内春夫	1989 コーヒー豆のカビ毒汚染 ーとくにオクラトキシン汚染についてー	36	3	147	154
500031	環境医学研究所年報 福井義浩:星野清:早坂静:他	1986 Ochratoxin A のクモ膜下槽内投与によるマウス小脳発育障害について	37		267	270

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500032	奈良医学雑誌 坪内春夫	1987 オクラトキシンAおよびカフェインのマウス胎仔成長に及ぼす影響	38	4	571	580
500033	日本眼科科学会雑誌 大鹿智:白井正一郎:馬嶋昭生	1988 Ochratoxin A による眼形成異常に関する研究(Ⅳ) ーマウス胎仔の視神経乳頭部形成異常についてー	92	3	414	422
500034	Mycotoxins Ueno Y	1998 Residue and risk of ochratoxin A in human plasma and beverages in Japan		47	25	32
500035	厚生省神経疾患研究年度研究報告書 出生前要因による脳障害の成因並びに治療に関する臨床的基礎的 亀山義郎:星野清:福井義浩:他	1983 環境要因による大脳発生異常の実験的研究 Ochratoxin A によるマウス大脳の発生障害			38	42
500036	マイコトキシン 蟹沢成好	1983 オクラトキシンAの腎毒性と発癌性		18	15	20
500037	Congenit Anom (Kyoto) Hoshino K:Fukui Y:Hayasaka I:他	1988 Developmental disturbance of the cerebral cortex of mouse offspring from dams treated with achratoxin A during pregnancy	28	4	287	294
500038	名古屋大学環境医学研究所年報 伊藤米子:星野清:亀山義郎	1983 マウスにおける ochratoxin A 連続経口投与の催奇形性	34		261	262
500039	名古屋大学環境医学研究所年報 星野清:伊藤米子:亀山義郎	1983 Ochratoxin A の大脳皮質の発生、分化に及ぼす影響(第4報) ー胎生期連続経口投与によるマウス大脳発育障害ー	34		255	256
500040	名古屋大学環境医学研究所年報 福井義浩:星野清:早坂静:他	1983 Ochratoxin A の大脳皮質の発生、分化に及ぼす影響(第3報) ー胎生期単独腹腔内注射によるマウス大脳発育障害ー	34		253	254
500041	名古屋大学環境医学研究所年報 福井義浩:早坂郁夫:伊藤米子:他	1983 Ochratoxin A の大脳皮質の発生、分化に及ぼす影響(第2報) ーマウス大脳外套の早期変化ならびに胎生末期の脳奇形の観察ー	34		249	252
500042	犯罪学雑誌 茂木康一:竹下治男:安田年博:他	2003 カエンタケ誤食によるきのこ食中毒死例:臨床経過および解剖所見	69	1	14	20
500043	総合臨床 田勢長一郎	1999 【化学物質による健康障害】 生活環境物 植物毒 ーきのこ、青梅、じゃがいも、野草ー	48	11	2613	2616
500044	Leg Med Gonmori K:Yoshioka N	2003 The examination of mushroom poisonings at Akita University	5	Suppl	S83	S86
500045	中毒研究 藤郷秀樹:雨宮守正:伊藤千春:他	2000 血漿交換が有効と考えられたアマニタトキシン中毒の2症例	13	1	73	77
500046	Mycotoxins 熊谷進	2003 JECFAによる評価	53	2	149	150

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500047	マイコトキシン 芳澤宅實	2003 トリコテセン系マイコトキシンによるヒトの中毒事例	53	2	113	118
500048	Mycotoxins Tanaka T:Sugiura Y	2003 Levels and pattern of contamination with trichothecenes in cereal grains and their risk assessment	53	2	119	121
500049	Mycotoxins 日ノ下文彦	2003 トリコテセンの毒性影響としての腎障害	53	2	123	127
500050	Mycotoxins Gilbert J	2002 Priorities for mycotoxin research in Europe and the UK	52	1	35	42
500051	食品衛生研究 横田栄一	2004 りんごジュースおよび原料用りんご果汁に含まれるパツリンに関する規格基準の設定	54	3	7	10
500052	食品衛生研究 田端節子	2004 日本におけるリンゴ加工品のパツリン汚染の現状とリスク	54	5	15	16
500053	Mycotoxins Murakami R:Yamamoto K:Noguchi T	1998 Toxicity and composition of paralytic shellfish poison(PSP) of toxificated bivalves in Ibaraki、Japan		48	15	18
500054	Mycotoxins 成田弘子:中村信也:窪田勉:他	1999 浜名湖産二枚貝の麻痺性貝毒による毒化		48	9	14
500055	Mycotoxins Kasuga F	1998 Cell bioassay — a trial to develop new assay system for paralytic shellfish poisoning toxins (PSPs) and ciguatoxins、and comparison with other newly developed assays for PSPs.		48	19	23
500056	Mycotoxins Ishida H:Tsuji K	1998 Sea-food poisoning caused by brevetoxins in New Zealand		48	29	31
500057	Mycotoxins Kamimura H	2000 Toxicological approaches of zearalenone	50	2	111	117
500058	Mycotoxins Ito Y	2000 Infertility caused by zearalenone、an endocrine disrupting substance	50	2	119	124
500059	Mycotoxins Okumura H:Yoshino N:Ihara T:他	2000 Induction of apoptotic cell death by trichothecenes	50	1	41	44
500060	Mycotoxins Shinozuka J:Doi K	2003 T-2 toxin-induced apoptosis in the mouse lymphoid and hematopoietic tissues	53	2	129	140
500061	Mycotoxins Ito Y	2000 Infertility caused by zearalenone、an endocrine disrupting substance	50		119	124

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500063	食品衛生学雑誌 平野進:島鶴三:島田智子	2001 輸入ピーナッツ中のアフラトキシン汚染豆の割合とそのアフラトキシンB1濃度	42	4	237	242
500065	食品衛生学雑誌 久田和夫:山本勝彦:坪内春夫:他	1984 輸入及び国産ナチュラルチーズの Aflatoxin M1 汚染調査	25	6	543	548
500066	Environ Med Fukui Y:Hoshino K:Kameyama Y	1983 Microcephaly induced in mice by prenatal treatment with ochratoxin A	27		41	49
500068	Mycotoxins 日ノ下文彦	2003 トリコテセンの毒性影響としての腎障害	53	2	123	127
500069	臨床皮膚科 石川博康:熊野高行:鈴木昌幸:他	2003 カエンタケ中毒の1例	57	1	17	21
500070	Mycotoxins 森悦男	1998 川崎市における魚介毒の検査状況		48	33	35
500071	兵庫県立衛生研究所研究報告 武田信幸	1993 輸入食品中のアフラトキシン試験結果(平成3・4年度)		28	25	26
500072	医学研究 河野昌彦	1986 ツキヨタケ中毒の法医学的研究 ーIllusin S (Lampterol) の検出についてー.	56	1	31	34
500073	J Gen Appl Microbiol Roy AK:Chourasia HK	1990 Mycoflora、Mycotoxin producibility and Mycotoxins in traditional herbal drugs from India	36	5	295	302
500075	日本農村医学会雑誌 Kaku B:Igarashi Y:Morita T:他	1993 A case of digitalis intoxication brought about by eating digitalis leaves by mistake	42	4	983	988
500076	藤田学園医学会誌 柳生茂:伊藤充哉:松本和幸:他	1992 モルモット及び兎に対するワラビの慢性毒性並びに発癌性	16	1	125	128
500077	藤田学園医学会誌 伊藤充哉:柳生茂:荻野博司:他	1992 ワラビ投与による羊の急性中毒及び網膜変性症	16	1	117	120
500078	秋田県農村医学会雑誌 木曽典一:大場富雄:五十嵐卓:他	1986 コンフリージュースと間違えてジギタリスジュース飲用によるジギタリス中毒の1例	32	1	7	10
500079	食品衛生学雑誌 合田幸広:酒井信夫:中村高敏:他	1998 モロヘイヤ種子中の主強心配糖体の同定、分析及び、マウスに対する経口毒性について	39	4	256	265
500080	奈良医学雑誌 陰地義樹	1990 ニバレノール(マイコトキシン)の代謝と毒性機構に関する研究 第二報. ラットにおけるニバレノールの吸収、代謝、排泄および毒性について	41	4	335	343

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500081	食品衛生学雑誌 川崎靖:内田雄幸:関田清司:他	1990 F344 ラットによる Nivalenol の単回及び反復経口投与毒性試験	31	2	144	154
500082	Tohoku J Exp Med Musha M:Ishii A:Tanaka F:他	1986 Poisoning by hallucinogenic mushroom hikageshibiretake(Psilocybe argenitipes K.Yokayama) indigenous to Japan	148	1	73	78
500083	食品衛生研究 小西良子:高鳥浩介:久城真代:他	2004 小麦玄麦中のDON(デオキシニバレノール)試験法のバリデーションと製粉、製造工程および調理での小麦中のDONの減衰に関する研究	54	5	19	20
500084	Mycotoxins Sugita-Konishi Y	2001 An approach to toxicity of Fusarium mycotoxin、DON: Use in co-uclture system with human intestinal cells	51	1	37	40
500085	Mycotoxins Ueno Y	2003 Future scope of japanese association of mycotoxicology (2002 Japanese Association of Mycotoxicology Award)	53	1	33	41
500086	臨床透析 岸川和弘:久米田幸弘	2002 薬物・毒物中毒と血液浄化法(症例集) 〔中毒症例〕トリカブ	18	8	1087	1090
500087	行動科学 岡田佳奈:岡市広成	2003 イボテン酸による海馬CA1損傷が空間記憶課題に及ぼす影響	42	2	121	126
500089	薬事 辻川明子:石沢淳子:大橋教良	2001 キョウチクトウ中毒	43	1	155	158
500090	蛋白質・核酸・酵素 山田静之:小鹿一:木越英夫:他	1998 ワラビ発癌物質 ー化学研究とDNA修飾ー	43	6	752	761
500091	日本産科婦人科学会熊本地方部会雑誌 福田潤一郎:田代浩徳:新田愼:他	2002 閉経後3年間にわたる植物性エストロゲン含有サプリメントの過剰摂取により子宮筋腫の増大がみられた一症例		46	102	102
500092	臨床透析 大平聖爾:阿部憲司	2002 薬物・毒物中毒と血液浄化法(症例集) 〔中毒症例〕毒キノコ(テングダケ)	18	8	1095	1099
500093	医学のあゆみ 香山不二雄:荒尾行知	2002 内分泌撹乱物質研究の最前線 植物エストロゲン	201	2	151	152
500094	中毒研究 藤田恭子:宮本正治:高田孝	2002 Sandersonia aurantiaca の球根誤摂取によるコルヒチン中毒の1例	15	4	375	380
500095	中毒研究 塩野茂:谷和孝昭:切通雅也:他	2003 高カリウム血症、心室性期外収縮をきたし死亡したフクジュソウ(福寿草)中毒の1例	16	4	543	544
500096	埼玉県医学会雑誌 田平佳子:八木洋:有賀仁:他	2000 ウスムラサキシメジ中毒によりショック状態を呈した1例	34	3	489	491

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500097	日本内科学会雑誌 藤山洋一:内藤真礼生:中村信:他	2002 飲酒量に応じて重篤化したキノコ中毒の症例	91	7	2189	2191
500098	食品衛生研究 衛藤加奈子:茶谷直子:工藤武直	2003 保健所健康危機管理体制強化の取組み ーある食中毒事件事例をとおしてー	53	5	61	65
500099	神奈川県精神医学会誌 松本俊彦:宮川朋大:矢花辰夫:他	1999 精神症状発現にマジックマッシュルーム摂取が関与したと考えられる2症例		49	74	75
500100	日本中毒情報センター 石沢淳子:辻川明子:大橋教良	2000 中毒症例シリーズ(85) シロシビン群のキノコによる中毒 ー幻覚性キノコー	42	2	385	388
500101	鳥取医学雑誌 内田博:庄野敦子:岩倉秀雅:他	1999 インターネット入手のマジック・マッシュルーム中毒例	27	3	172	174
500102	日本農村医学会雑誌 水草貴久:細川嘉彦:中川宗大:他	2001 オオシロカラカサタケ (Chlorophyllum molybdites) による集団毒キノコ中毒	50	4	621	624
500103	近畿大学救命救急センター Takahashi H:Adachi Y:Matsui S:他	1995 Fulminant hepatic failure due to amatoxin	20	3	255	260
500104	食品衛生学雑誌 池田三恵	2004 食中毒等事件例 ハコフグ科魚類によるアオブダイ中毒様食中毒	45	2	J161	J162
500105	食品衛生学雑誌 小西良子:高鳥浩介:田中敏嗣:他	2004 市販 ELIDA キットによる玄麦中デオキシニバレノールの迅速簡易スクリーニング法の評価	45	3	156	160
500106	Chem Pharm Bull (Tokyo) Terai T:Osakabe K:Katai M:他	2003 Preparation of 9-Hydroxy grayanotoxin derivatives and their acute toxicity in mice	51	3	351	353
500107	北村山公立病院医学雑誌 佐伯和則:平澤泰宏:池田真人:他	2002 トリカブト中毒の3例	7		21	25
500108	Int Med Iwafuchi Y:Morita T:Kobayashi H:他	2003 Delayed onset acute renal failure associated with amanita pseudoporphyria hongo ingestion	42	1	78	81
500109	日本集中治療医学会雑誌 渡辺博:伊藤洋:沓名理佳子:他	1998 メチルジゴキシン大量誤飲症例の治療経験	5	4	407	410
500110	日本救急医学会雑誌 山崎浩史:西山謹吾:片岡由紀子:他	2003 パリトキシン様物質による集団中毒	14	4	211	214
500111	和漢医薬学雑誌 Nagasaka K	2001 Aconitine poisoning ー determining the cause ー	18	4	141	146

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500112	Environ Med Okada K:Surjono TW:Kameyama Y	1984 Teratogenicity of single dose administration of rubratoxin B in ICR mice	28		81	84
500114	秋田県医師会雑誌 加賀義章:安宅芳春:池田成昭:他	1987 自生のジギタリスによる急性中毒の1例	39	1	73	77
500116	Kitasato Arch Exp Med Matsuura E:Fukimbara T:Kawahara H:他	1988 Studies on photodynamic action of chlorophyl dervatives ー Phototoxicity of Pheophorbide-A on rats ー	61	4	201	213
500117	J Toxicol Sci Kobayashi T:Yasuda M:Seyama I	1990 Developmental toxicity potential of grayanotoxin Ⅰ in Mice and Chicks	15	4	227	234
500118	応用薬理 赤池雅司:大野広子:田中俊光:他	1995 Colforsin dapropate hydrochloride (NKH477) のラットにおける胎児の器官形成期静脈内投与試験	49	6	693	706
500119	食品衛生学雑誌 Ueno Y:Tanaka T:Hasegawa A:他	1986 Deoxynivalenol、nivalenol and zearalenone in scabby wheat from Shanghai、China	27	2	180	182
500120	精神神経学雑誌 武者盛宏:草野源次郎:田中文雄:他	1988 幻覚性キノコ・ヒカゲシビレタケ (Psilocybe argentipes) 中毒について ー プシロシビン中毒時の自覚体験を中心に ー	90	4	313	333
500121	薬事 山下衛:峰松澄穂:小林勇二郎:他	1987 マウスにおける杏仁エキスの急性毒性	29	6	1291	1294
500122	生活衛生 福本紘一	1993 ツツジ科植物の成分グラヤノトキシンによる中毒の最近の話題	37	6	237	247
500123	食品衛生学雑誌 川嶋陽子:長島裕二:塩見一雄	2002 肉食性巻貝唾液腺の毒性及びテトラミン含量	43	6	385	388
500124	食品衛生学雑誌 Hashimoto T:Matsuoka S:Yoshimatsu S:他	2002 First paralytic shellfish poison (PSP) infestation of bivalves due to toxic dinoflagellate alexandrium tamiyavanichii、in the Southeast Coasts of the Seto Inland Sea、Japan	43	1	1	5
500126	日本総合診療医学会会誌 徳田安春:雨田立憲	1999 シガテラ中毒により失神をきたした1例	4	1	24	25
500127	日本救急医学会雑誌 山崎浩史:片岡紀子:岡本健:他	2001 集団発生をみた、ハタ科の魚によるパリトキシン中毒	12	10	578	
500128	食品衛生学雑誌 渕祐一:帆足喜久雄:赤枝宏:他	1999 大分県国東沿岸産ヒガンフグ及びコモンフグの毒性	40	1	80	89
500129	食品衛生学雑誌 Mahmud Y:Tanu MB:Noguchi T	1999 First occurrence of a food poisoning incident due to ingestion of takifugu oblongus、along with a toxicological report on three marine puffer species in Bangladesh	40	6	473	480

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500130	食品衛生学雑誌 Akaeda H:Takatani T:Anami A:他	1998 Mass outbreak of paralytic shellfish poisoning due to ingestion of oysters at Tamano-ura、Goto Islands、Nagasaki、Japan	39	4	272	274
500131	静岡県衛生環境センター報告 成田弘子:浮島美之:増井俊夫:他	1984 バイケイソウによる食中毒について		26	85	87
500132	日本内科学会雑誌 垂水隆志:酒井勲:安田卓二:他	1990 キノコ中毒による急性肝不全を呈した家族の剖検例	79	12	1737	1738
500133	食品衛生学雑誌 Hamano Y:Kinoshita Y:Yasumoto T	1986 Enteropathogenicity of diarrhetic shellfish toxins in intestinal models	27	4	375	379
500134	衛生試験所報告 五十畑悦子:豊田正武:斎藤行生	1986 マイコトキシンの化学分析に関する研究(第14報) 乳幼児食品中のZearalenone の実態調査		104	142	144
500135	食品衛生学雑誌 Ueno Y:Tanaka T:Hasegawa A:他	1986 Deoxynivalenol、nivalenol and zearalenone in scabby wheat from Shanghai、China	27	2	180	182
500136	北海道立衛生研究所報 田沢悌二郎:伊東拓也:石下真通:他	1999 北海道北部オホーツク海沿岸海域産ホタテガイにおける下痢性貝毒の消長(Ⅱ)		49	140	141
500139	法中毒 権守邦夫:吉岡尚文	2002 秋田大学におけるきのこ中毒検査例	20	2	234	235
500140	食品衛生学雑誌 石月要平:上村桂:岩崎康男:他	1982 ジギタリスによる食中毒(昭和53年) コンフリーと誤認した事例	23	2	221	222
500141	食品衛生学雑誌 松浦栄一:斎藤由美子:石田博子:他	1982 フェオホルバイドa投与ラットの光照射による中毒発現と血液成分の変動	23	5	365	372
500142	北陸公衆衛生学会誌 中川昭忠:大江勇:水馬博:他	1984 ジギタリス葉による植物性自然食中毒の一例	11	1	41	45
500143	食品衛生学雑誌 吉岡弘:若山隆文:田原功	1983 アブラギリの種子による食中毒	24	5	508	509
500144	山形県衛生研究所報 笠原義正:村田敏夫:辻浩子:他	1993 ツキヨタケの毒性について(第2報)		26	9	15
500145	J Toxicol Sci Hibino T:Arai M	1981 Experimental study of species differences of acute toxicity of the kidney induced by citrinin	6	3	245	246
500146	岩手県衛生研究所年報 大矢学:菅原隆志:中野克彦:他	2002 岩手県山田湾海域産ホタテガイの下痢性貝毒成分について		43	68	69

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
500147	山形県公衆衛生学会第26回講演集 本間弘樹:笠原義正:伊藤健:他	2000			80	82 チョウセンアサガオによる食中毒の原因物質究明
500148	Proc Jpn Assoc Mycotoxicol 長谷川明彦:田中敏嗣:山本進:他	1987		26	37	41 輸入ピーナッツから分離した O-methylsterigmatocysin 生産性 Aspergillus parasiticus について
500149	Proc Jpn Assoc Mycotoxicol Kalantari HG:Zong MS:Chang I-M	1989		30	32	34 Assay of T-2 toxin contamination in domestic and imported agricultural products in Korea
500150	Proc Jpn Assoc Mycotoxicol 堀江義一:西村和子:宮治誠:他	1991		34	15	21 中国山東省土壌中の Aspergillus 属マイコトキシン生産菌とその発ガン性マイコトキシンの生産性
500152	日本救急医学会東海地方会誌 田中茂:亀井健	2000	4	1	50	有毒山菜誤食による急性アコニチン中毒の1例
500153	J Oleo Sci Hayamizu K:Ishii Y:Kaneko I:他	2002	51	5	365	369 No-Observed-Adverse-Effect Level (NOAEL) and Sequential-High-Doses administration study on garcinia cambogia extract in Humans
500154	手稲渓仁会病院医学雑誌 武藤晴達:森下由香:早川達也:他	2002	5	1	57	60 軽症トリカブト中毒の1例
500155	Mycotoxins Tatsuno T	1997		45	11	12 Scabby wheat intoxication and discovery of nivalenol (a review)
500156	家畜診療 宮崎茂	2003	50	3	175	188 飼料を汚染するマイコトキシンとその中毒について
500157	J Toxicol Pathol Lee M-J:Ogata S:Yamanouchi J:他	1995	8	2	107	115 Subacute hepatotoxicity of T-2 toxin in mice
500158	Mycotoxins Gao H-P:Yoshizawa T	1997		45	51	55 Further study on Fusarium mycotoxin in corn and wheat from a high-risk area for human esophageal cancer in China
500159	Mycotoxins Sugiura Y:Tanaka T	1997		45	21	23 Fusarium species responsible for the contamination of wheat and barley with nivalenol in Japan
500161	Chem Pharm Bull (Tokyo) Suzuki K:Fujimoto H:Yamazaki M	1983	31	6	2176	2178 The toxic principles of naematoloma fasciculare
500162	Agric Biol Chem Kumagai M:Yanagi T:Murata M:他	1986	50	11	2853	2857 Okadaic acid as the causative toxin of diarrhetis shellfish poisoning in Europe
500163	Proc Jpn Assoc Mycotoxicol 伊藤美武:大坪浩一郎	1984		20	33	35 未成熟期投与による zearalenone のマウス繁殖機能に及ぼす影響

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500164	J Toxicol Pathol Quiroga MA:Doi C:Han J-S:他	1991 Acute hepatotoxicity of T-2 toxin in mice	4	1	35	44
500165	食品衛生学雑誌 Chimi K:Taba N:Katsuda S:他	1985 モルモット摘出腸管の運動に及ぼす麻ひ性貝毒の影響	26	5	471	476
500166	衛生化学 浅川学:高木光造	1984 北海道噴火湾産のムラサキイガイに含まれる麻痺性貝毒について	30	1	19	22
500167	臨床今治 白石天三	2002 頻回の心停止をきたした重症ふぐ中毒の1例	14	1	11	14
500168	Mycotoxins Zhang H:Nagashima H:Goto T	1997 Natural occurrence of mycotoxins in corn、samples from high and low risk areas for human esophageal cancer in China		44	29	35
500169	名古屋市衛生研究所報 坪内春夫:久田和夫:寺田久屋:他	1985 食品中の Mycotoxin に関する研究(第7報) シトリニンを検出したカビ・ソバ麺の一事例について		31	77	80
500171	Proc Jpn Assoc Mycotoxicol 成田紀子:鈴木明子:菊池裕:他	1992 ハトムギおよびハトムギ製品の糸状菌とゼアラレノン汚染原因菌		36	39	44
500172	栃木県衛生研究所所報 吉沢朋子:中村洋子:鈴木洋一	1987 ビール麦のニバレノール汚染について		17	87	88
500173	千葉県衛生研究所研究報告 矢崎廣久:高橋治男:七山悠三	1982 マイコトキシンに関する研究 Penicillium verrucosum var. verrucosum による貯蔵食肉のカビ毒汚染について		6	6	9
500174	宮崎県衛生環境研究所年報 小坂妙子:小野英俊:山本雄三:他	2004 LC/MSによるジギタリス葉中のジギトキシン及びギトキシンの分析		14	53	56
500176	食品衛生研究 高鳥浩介:酒井綾子:花澤良:他	2004 国産米の真菌汚染調査およびマイコトキシン汚染のリスク	54	5	20	21
500178	食品衛生研究 Brown RL:Chen Z-Y:Cleveland TE:他	2004 アフラトキシン産生菌に対するトウモロコシ抵抗性因子の同定と評価のその後の進歩	54	5	17	18
500179	食品衛生研究 田中健治:佐藤剛:齊藤初雄	2004 コムギへのトリコテセン系マイコトキシンの汚染防止	54	5	16	17
500180	食品衛生研究 Voss KA:Norred WP	2003 調理法によるフモニシンの in vivo および in vitro 活性評価	53	5	16	17
500181	Mutat Res Nagao T:Saito K:Hirayama E:他	1989 Mutagenicity of ptaquiloside、the carcinogen in bracken、and its related illudane-type sesquiterpenes I. Mutagenicity in Salmonella typhimurium	216	2	173	178

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500182	Life Sci Kwak S:Aizawa H:Ishida M:他	1991 Systemic administration of acromelic acid induces selective neuron damage in the rat spinal cord	49	14	PL91	PL96
500183	Xenobiotica Tanaka K:Inoue T:Kanai M:他	1994 Metabolism of illudin S、a toxic substance of Lampteromyces japonicus. IV. Urinary excretion of an illudin S metabolite in rat	24	12	1237	1243
500184	Arzneim-Forsch./Drug Res Mengs U:Clare CB:Poiley JA	1991 Toxicity of Echinacea purpurea Acute、subacute and genotoxicity studies	41	11	1076	1081
500185	J Emerg Med Ceha LJ:Presperin C:Young E:他	1997 Anticholinergic toxicity from nightshade berry poisoning responsive to physostigmine	15	1	65	69
500186	応用薬理 小池恒雄:長瀬孝彦:藤村高志:他	2003 有機酸処理マイタケ粉末 (SF73号) のラットを用いた単回経口投与毒性試験	65	1-2	39	41
500187	Fundam Appl Toxicol Chan PC:Sills RC:Braun AG:他	1996 Toxicity and carcinogenicity of Δ9-tetrahydrocannabinol in fischer rats and B6C3F1 mice	30	1	109	117
500188	食品衛生学雑誌 福渡努:杉本悦郎:柴田克己	2001 ドクササコ (Clitocybe acromelalga) の投与がトリプトファン-ナイアシン代謝に及ぼす影響	42	3	190	196
500189	Forensic Sci Int Sticht G:Kaferstein H	2000 Detection of psilocin in body fluids	113	1-3	403	407
500190	Toxicol Lett Crawford L:Kocan RM	1993 Steroidal alkaloid toxicity to fish embryos	66	2	175	181
500191	J Toxicol Clin Toxicol Hornfeldt CS:Collins JE	1990 Toxicity of nightshade berries (Solanum dulcamara) in mice	28	2	185	192
500192	Forensic Sci Int Yoshioka N:Gonmori K:Tagashira A:他	1996 A case of aconitine poisoning with analysis of aconitine alkaloids by GC/SIM	81	2-3	117	123
500193	Toxicon Faulstich H:Kirchner K:Derenzini M	1988 Strongly enhanced toxicity of the mushroom toxin α-amanitin by an amatoxin-specific fab or monoclonal antibody	26	5	491	499
500194	最新医学 大和田章:篠原紳介:福留裕一郎:他	1990 鯉の胆嚢摂取による急性腎不全の2例	45	3	605	609
500195	腎と透析 平尾修:沼部敦司:阿部實:他	1988 鯉の胆嚢生食による急性腎不全の1例	24	6	1027	1030
500196	別冊日本臨牀領域別症候群 上村尚	1999 Ⅴ.中毒性疾患(薬物・化学物質)自然毒 キノコ毒		27pt2	676	678

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500197	胸部外科 大内真吾:泉本浩史:鎌田潤也:他	2000 体外循環を用いたトリカブト中毒の救命令	53	7	541	544
500198	日本内科学会雑誌 山本良高:脇坂治:藤元昭一:他	1988 鯉の胆嚢摂取による急性腎不全－自験例3例の症例報告ならびに本邦報告例の臨床的分析	77	8	1268	1273
500199	日本透析療法学会雑誌 大矢晃:山口哲:小倉泰伸:他	1990 鯉の胆嚢生食による急性腎不全の1例	23	3	261	265
500200	J Trop Med Hyg Chan TYK:Tomlinson B:Chan WWM:他	1993 A case of acute aconitine poisoning caused by chuanwu and caowu	96	1	62	63
500201	Arch Toxicol Sutlupinar N:Mat A:Satganoglu Y	1993 Poisoning by toxic honey in Turkey	67	2	148	150
500202	J Toxicol Clin Toxicol Lin T-J:Hsu C-I:Lee K-H:他	1996 Two outbreaks of acute tung nut (Aleurites fordii) poisoning	34	1	87	92
500203	Clin Pediatr (Phila) Schwartz RH:Smith DE	1988 Hallucinogenic mushrooms	27	2	70	73
500204	日本食品衛生学会82回学術講演会講演要旨集 谷山茂人:寺田正光:高谷智裕:他	2001 アオブダイ・ハタ科魚類などによる食中毒に関連して底生性渦鞭毛藻Ostreopsis sp. の毒の性状について			62	
500205	日本呼吸器学会雑誌 宮崎洋生:源馬均:小清水直樹:他	2003 エリンギ茸による職業性過敏性肺臓炎の1例	41	11	827	833
500206	Can Med Assoc J Raff E:Halloran PF:Kjellstrand CM	1992 Renal failure after eating "magic" mushrooms	147	9	1339	1341
500207	Int J Legal Med Bogusz MJ:Maier R-D:Schafer AT:他	1998 Honey with Psilocybe mushrooms: a revival of a very old preparation on the drug market?	111	3	147	150
500208	J Toxicol Clin Toxicol Gabrscek L:Lesnicar G:Krivec B:他	2004 Accidental poisoning with autumn crocus	42	1	85	88
500209	Forensic Sci Int Musshoff F:Madea B:Beike J	2000 Hallucinogenic mushrooms on the German market - simple instructions for examination and identification	113	1-3	389	395
500210	Can J Physiol Pharmacol Mills JT	1990 Mycotoxins and toxigenic fungi on cereal grains in western Canada	68	7	982	986
500212	Mycotoxins Tanaka T:Sugiura Y	2003 Levels and pattern of contamination with trichothecenes in cereal grains and their risk assessment	53	2	119	121

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500213	食品衛生学雑誌 Asakawa M:Noguchi T:Hashimoto K	1990 Isolation of a toxin from carp (Cyprinus carpio) bile	31	3	222	226
500214	J Chromatogr Rieck W:Platt D	1988 High-performanceliquid chromatographic method for the determination of α-amanitin and phalloidin in human plasma using the column-switching technique and its application in suspected cases of poisoning	425	1	121	134
500215	応用薬理 木村均:藤村高志:仲川憲一:他	1995 Colforsin dapropate hydrochloride (NKH477) のラットにおける13週間反復静脈内投与毒性試験および5週間回復性試験	49	6	643	669
500216	J Biochem (Tokyo) Khow O:Chanhome L:Omori-Satoh T:他	2003 Isolation、toxicity and amino terminal sequences of three major neurotoxins in the venom of malayan krait (Bungarus candidus) from Thailand	134	6	799	804
500217	応用薬理 前田康行:山崎寛治:白石啓二:他	1995 Colforsin dapropate hydrochloride (NKH477) のイヌにおける13週間反復静脈内投与毒性試験および5週間回復性試験	49	6	671	692
500221	Mon Bull Minist Health Public Health Lab Serv Wilson GS	1959 A small outbreak of solanine poisoning	18		207	210
500222	Toxicology Braun R:Greeff U:Netter KJ	1979 Liver in jury by the false morel poison gyromitrin	12	2	155	163
500223	臨牀と研究 須山洋之:伊藤直美:緒方弘文:他	1985 鯉による食中毒	62	2	493	496
500224	Aust NZ J Med Chan TYK:Tomlinson B:Critchley JAJH	1993 Aconitine poisoning following the ingestion of Chinese herbal medicines: a report of eight cases	23	3	268	271
500225	Br Med J Benjamin C	1979 Persistent psychiatric symptoms after eating psilocybin mushrooms	1	6174	1319	1320
500226	Toxicol Appl Pharmacol Joneja MG	1976 A study of teratological effects of intravenous、subcutaneous、and intragastric administration of Δ9-tetrahydrocannabinol in mice	36	1	151	162
500227	Toxicol Appl Pharmacol Rosenkrantz H:Heyman IA:Braude MC	1974 Inhalation、parenteral and oral LD50 values of Δ9-tetrahydrocannabinol in fischer rats	28	1	18	27
500228	Res Commun Chem Pathol Pharmacol Nishie K:Norred WP:Swain AP	1975 Pharmacology and toxicology of chaconine and tomatine	12	4	657	668
500229	Arch Toxicl Hotta Y:Takeya K:Kobayashi S:他	1980 Relationship between stucture、positive inotropic potency and lethal dose of grayanotoxins in guinea pig	44	4	259	267
500230	Toxicology Hude WVD:Braun R	1983 On the mutagenicity of metabolites derived from the mushroom poison gyromitrin	26	2	155	160

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500231	Z Naturforsch Seeger R:Stijve T	1979 Amanitin content and toxicity of Amanita verna Bull	34C	5-6	330	333
500232	Toxico Appl Pharmacol Chaube S:Swinyard CA	1976 Teratological and toxicological studies of alkaloidal and phenolic compounds from Solanum tuberosum L.	36	2	227	237
500233	Annu Rev Pharmacol Toxicol Lampe KF	1979 Toxic fungi	19		85	104
500234	Adv Food Res Jadhav SJ:Salunkhe DK	1975 Formation and control of chlorophyll and glycoalkaloids in tubers of Solanum tuberosum L. and evaluation of glycoalkaloid toxicity	21		307	354
500235	Hum Toxicol Peden NR:Pringle SD:Crooks J	1982 The problem of psilocybin mushroom abuse	1	4	417	424
500236	J Toxicol Clin Toxicol KnutsenOH:Paszkowski P	1984 New aspects in the treatment of water hemlock poisoning	22	2	157	166
500239	Lancet North Am Ed なし	1979 Potato poisoning	2	8144	681	
500240	Neurology Starreveld E:Hope CE	1975 Cicutoxin poisoning (water hemlock)	25	8	730	734
500241	Mol Endocrinol Mao D:Warner EA:Gurwithc SA:他	1998 Differential regulation and transcriptional control of immediate early gene expression in forskolin-treated WEHI7.2 thymoma cells	12	4	492	503
500242	Intern Med Okano H:Masuoka H:Kamei S:他	1998 Rhabdomyolysis and myocardial damage induced by palytoxin、a toxin of blue humphead parrotfish	37	3	330	333
500243	Ann Emerg Med Tsiodras S:Shin RK:Christian M:他	1999 Anticholinergic toxicity associated with lupine seeds as a home remedy for diabetes mellitus	33	6	715	717
500244	Prog Med 小山潤三	2004 臨床におけるサプリメント;私はこのように指導する 17.トンガ王国産天然モズク由来フコイダン含有食品	24	6	1537	1540
500245	ヤクルト研究所研究報告書 内田和美:金子公幸:小林稔秀:他	1999 モズク抽出フコイダンのラットにおける単回および1か月間反復経口投与毒性試験		19	15	28
500246	ヤクルト研究所研究報告書 内田和美:金子公幸:小林稔秀:他	1999 モズク抽出フコイダンのラットにおける26週間反復経口投与毒性試験および4週間回復試験		19	29	46
500247	ヤクルト研究所研究報告書 大山わか:浦川真実:権田真紀:他	1999 モズク抽出フコイダンの細菌を用いる復帰突然変異試験およびマウス末梢血を用いる小核試験		19	47	52

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500248	日本透析医学会雑誌 河野孝史:武田稔男:内野順司:他	1999 透析用水における有毒物質「ミクロシスチン」汚染の検討	32	Supp1.	817	
500249	Clin Exp Pharmacol Physiol Nicholson GM:Graudins A	2002 Spiders of medical importance in the Asia-Pacific: atracotoxin、Latrotoxin and related spider neurotoxins	29	9	785	794
500250	Environ Health Perspect Gilroy DJ:Kauffman KW:Hall RA:他	2000 Assessing potential health risks from microcystin toxins in blue-green algae dietary supplements	108	5	435	439
500251	Am J Physiol Iwase M:Ishikawa Y:Shen Y-T:他	1996 Neurally mediated cardiac effects of forskolin in conscious dogs	271	4 pt 2	H1473	H1482
500252	Arch Environ Contam Toxicol Kirby J:Maher W:Krikowa F	2001 Selenium、cadmium、copper、and zinc concentrations in sediments and mullet (Mugil cephalus) from the southern basin of lake macquarie、NSW、Australia	40	2	246	256
500253	FEMS Microbiol Lett Metcalf JS:Beattie KA:Pflugmacher S:他	2000 Immuno-crossreactivity and toxicity assessment of conjugation products of the cyanobacterial toxin、microcystin-LR	189	2	155	158
500255	Vet Hum Toxicol Chan TYK:Critchley JAJH	1994 The spectrum of poisonings in Hong Kong: an overview	36	2	135	137
500257	J Appl Toxicol Petterson DS:Ellis ZL:Harris DJ:他	1987 Acute toxicity of the Major alkaloids of cultivated Lupinus angustifolius seed to rats	7	1	51	53
500260	Toxicon Karlson-Stiber C:Persson H	2003 Cytotoxic fungi-an overview	42	4	339	349
500261	Vet Hum Toxicol Chan TYK:Tomlinson B:Tse LKK:他	1994 Aconitine poisoning due to Chinese herbal medicines: a review	36	5	452	455
500262	Nephrol Dial Transplant Rizzi D:Basile C:Maggio AD:他	1991 Clinical spectrum of accidental hemlock poisoning: neurotoxic manifestations、rhabdomyolysis and acute tubular necrosis	6	12	939	943
500263	Nat Toxins Michelot D	1992 Poisoning by Coprinus atramentarius	1	2	73	80
500264	Mycol Res Michelot D:Melendez-Howell LM	2003 Amanita muscaria: chemistry、biology、toxicology、and ethnomycology	107	2	131	146
500266	J Gastroenterol Hepatol Yeong ML:Swinburn B:Kennedy M:他	1990 Hepatic veno-occlusive disease associated with comfrey ingestion	5	2	211	214
500267	Toxicon Kodama AM:Hokama Y:Yasumoto T:他	1989 Clinical and laboratory findings implicating palytoxin as cause of ciguatera poisoning due to Decapterus macrosoma (mackerel)	27	9	1051	1053

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500269	Toxicon Alcala AC:Alcala LC:Garth JS:他	1988 Human fatality due to ingestion of the crab Demania Reynaudii that contained a palytoxin-like toxin	26	1	105	107
500270	IARC Monogr Eval Carcinog Risk Chem Man	1976 Cycasin	10		121	138
500271	Drug Metab Rev Fu PP:Xia Q:Lin G:他	2004 Pyrrolizidine alkaloids-genotoxicity、metabolism enzymes、metabolic activation、and mechanisms	36	1	1	55
500273	J Toxicol Sci Tsutsumi T:Yoshida F:Nagata S:他	1996 Risk assessment of microcystins、the hepatotoxic algal toxins、in environmental water. Part 1. Surver of microcystins in environmental water in various countries by higgly sensitive immunoassay	21	5	375	
500274	Biochem Biophys Res Commun Vincent F:Jaunet S:Galgani F:他	1995 Expression of ras gene in flounder(Platichtys flesus) and red mullet(Mullus barbatus)	215	2	659	665
500275	Wilderness Environ Med Zlotnick BA:Hintz S:Park DL:他	1995 Ciguatera poisoning after ingestion of imported jellyfish: diagnostic application of serum immunoassay	6	3	288	294
500276	Toxicology Rao PVL:Bhattacharya R	1996 The cyanobacterial toxin microcystin-LR induced DNA damage in mouse liver in vivo	114	1	29	36
500278	Fundam Appl Toxicol Loranger A:Tuchweber B:Gicquaud C:他	1985 Toxicity of peptides of Amanita virosa mushrooms in mice	5	6 pt 1	1144	1152
500280	Scott Med J Mills PR:Lesinskas D:Watkinson G	1979 The danger of hallucinogenic mushrooms	24	4	316	317
500281	J Nat Toxins James LF	1999 Teratological research at the USDA-ARS poisonous plant research laboratory	8	1	63	80
500282	Vet Hum Toxicol Smith RA	1987 Potential edible lupine poisonings in humans	29	6	444	445
500283	Toxicon Vetter J	1998 Toxins of Amanita phalloides	36	1	13	24
500284	N C Med J Mark RB	1983 Phenomenally phunny phungi-psilocybin toxicity	44	10	639	640
500286	Vet Hum Toxicol Saviuc P:Dematteis M:Mezin P:他	2003 Toxicity of the Clitocybe amoenolens Mushroom in the rat	45	4	180	182
500288	Public Health Nutr Stickel F:Seitz HK	2000 The efficacy and safety of comfrey	3	4A	501	508

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500289	Aust Fam Physician Hender E:May T:Beulke S	2000 Poisoning due to eating fungi in Victoria	29	10	1000	1004
500290	Food Chem Toxicol Friedman M:Rayburn JR:Bantle JA	1991 Developmental toxicology of potato alkaloids in the frog embryo teratogenesis assay-xenopus (Fetax)	29	8	537	547
500291	Food Chem Toxicol Crawford L:Myhr B	1995 A preliminary assessment of the toxic and mutagenic potential of steroidal alkaloids in transgenic mice	33	3	191	194
500293	J Ethnopharmacol Allen JW:Merlin MD	1992 Psychoactive mushroom use in Koh Samui and Koh Pha-Ngan、Thailand	35	3	205	228
500294	Sci Justice Elliott SP	2002 A case of fatal poisoning with the aconite plant: quantitative analysis in biological fluid	42	2	111	115
500295	Wien Klin Wochenschr Brvar M:Kozelj G:Mozina M:他	2004 Acute poisoning with autumn crocus (Colchicum autumnale L.)	116	5-6	205	208
500296	J Emerg Nurs Muller AA	2003 Mushrooms: Toxins right in your own backyard	29	5	483	485
500297	Psychopharmacology (Berl) Hasler F:Grimberg U:Benz MA:他	2003 Acute psychological and physiological effects of psilocybin in healthy humans: a double-blind、placebo-controlled dose-effect study	172	2	145	156
500298	Food Cosmet Toxicol Makinen SM:Kreula M:Kauppi M	1977 Acute oral toxicity of ethylicene gyromitrin in rabbits、rats and chickens	15	6	575	578
500300	Food Cosmet Toxicol Patil BC:Sharma RP:Salunkhe DK:他	1972 Evaluation of solanine toxicity	10	3	395	398
500301	Am J Med Bach N:Thung SN:Schaffner F	1989 Comfrey herb tea-induced hepatic veno-occlusive disease	87	1	97	99
500303	Int J Exp Pathol Yeong ML:Wakefield ST:Ford HC	1993 Hepatocyte membrane injury and bleb formation following low dose comfrey toxicity in rats	74	2	211	217
500304	J Chromatogr Luckas B	1992 Phycotoxins in seafood —toxicological and chromatographic aspects	624	1-2	439	456
500306	Arch Environ Contam Toxicol Nasri A-B:Bouaicha N:Fastner J	2004 First report of a microcystin-containing bloom of the cyanobacteria Microcystis spp. in lake oubeira、eastern algeria	46	2	197	202
500307	Lancet North Am Ed Ridker PM:McDermott WV	1989 Comfrey herb tea and hepatic veno-occlusive disease	1	8639	657	658

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500308	Med J Aust Abbott PJ	1988 Comfrey: assessing the low-dose health risk	149	11-12	678	682
500309	N Engl J Med Huxtable RJ:Luthy J:Zweifel U	1986 Toxicity of comfrey-pepsin preparations	315	17	1095	
500310	Comp Biochem Physiol Lewis RJ:Holmes MJ	1993 Origin and transfer of toxins involved in ciguatera	106	3	615	628
500311	Hum Exp Toxicol Fawell JK:Mitchell RE:Everett DJ:他	1999 The toxicity of cyanobacterial toxins in the mouse: I Microcystin-LR	18	3	162	167
500312	J Toxicol Clin Toxicol Chang S-S:Chan Y-L:Wu M-L:他	2004 Acute cycas seed poisoning in Taiwan	42	1	49	54
500313	Trends Pharmacol Sci Rode D	2002 Comfrey toxicity revisited	23	11	497	499
500314	Mol Immunol Dolimbek BZ:Atassi MZ	1996 Protection against α-bungarotoxin poisoning by immunization with synthetic toxin peptides	33	7-8	681	689
500315	Syst Appl Microbiol Campos V:Cantarero S:Urrutia H:他	1999 Microcystin in cyanobacterial blooms in a Chilean lake	22	2	169	173
500316	Syst Appl Microbiol Neumann U:Campos V:Cantarero S:他	2000 Co-Occurrence of Non-toxic (Cyanopeptolin) and toxic (Microcystin) peptides in a Bloom of Microcystis sp. from a Chilean Lake	23	2	191	197
500317	Toxicol Appl Pharmacol Williams L:Chou MW:Yan J:他	2002 Toxicokinetics of riddelliine、a carcinogenic pyrrolizidine alkaloid、and metabolites in rats and mice	182	2	98	104
500318	Comp Biochem Physiol C Pharmacol Toxicol Endocrinol Haider S:Chaube SK	1996 The in viro effects of forskolin IBMX and cyanoketone on meiotic maturation in follicle-enclosed catfish (Clarias batrachus) oocytes	115C	2	117	123
500319	Neurochem Res Huxtable RJ:Yan CC:Wild S:他	1996 Physicochemical and metabolic basis for the differing neurotoxicity of the pyrrolizidine alkaloids、trichodesmine and monocrotaline	21	2	141	146
500322	Biosci Biotechnol Biochem Masuda T:Oyama Y:Yamamoto N:他	2003 Cytotoxic screening of medicinal and edible plants in Okinawa、Japan、and identification of the main toxic constituent of Rhodea japonica (Omoto)	67	6	1401	1404
500323	Lancet North Am Ed Anderson C	1981 Comfrey toxicity in perspective	1	8235	1424	
500324	Lancet North Am Ed Roitman JN	1981 Comfrey and liver damage	1	8226	944	

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500325	Experientia Culvenor CCJ:Clarke M:Edgar JA:他	1980 Structure and toxicity of the alkaloids of Russian comfrey (Symphytum × uplandicum Nyman)、a medicinal herb and item of human diet	36	4	377	379
500326	Gastroenterology Ridker PM:Ohkuma S:McDermott WV:他	1985 Hepatic venocclusive disease associated with the consumption of pyrrolizidine-containing dietary supplements	88	4	1050	1054
500327	Pathology Yeong ML:Clark SP:Waring JM:他	1991 The effects of comfrey derived pyrrolizidine alkaloids on rat liver	23	1	35	38
500328	S Afr Med J Summers RS	1979 Cardiotoxic principle in comfrey	55	2	37	
500329	Lancet North Am Ed Mohabbat O:Srivastava RN:Younos MS:他	1976 An outbreak of hepatic Veno-occlusive diseasein North-western afghanistan	2	7980	269	271
500330	Lancet North Am Ed Tandon BN:Tandon RK:Tandon HD:他	1976 An epidemic of veno-occlusive disease of liver in central India	2	7980	271	272
500331	J Natl Cancer Inst Hirono I:Mori H:Haga M	1978 Carcinogenic activity of symphytum officinale	61	3	865	869
500332	Gastroenterology Stillman AE:Huxtable R:Consroe P:他	1977 Hepatic Veno-occlusive disease due to pyrrolizidine (Senecio) poisoning in Arizona	73	2	349	352
500333	Trop Geogr Med Nagaratnam N:De Silbva DPKM:De Silva N	1973 Colchicine poisoning following ingestion of Gloriosa Superba tubers	25	1	15	17
500334	Toxicon Fusetani N:Hashimoto K:Mizukami I:他	1980 Lethality in mice of the coconut crab Birgus Latro	18	5-6	694	698
500335	Toxicol Lett Garrett BJ:Cheeke PR:Miranda CL:他	1982 Consumption of poisonous plants (Senecio jacobaea、Symphytum officinale、Pteridium aquilinum、Hypericum perforatum) by rats: Chronic toxicity、Mineral metabolism、and hepatic drug-metabolizing enzymes	10	2-3	183	188
500336	Toxicol Lett White RD:Krumperman PH:Cheeke PR:他	1983 An evaluation of acetone extracts from six plants in the Ames mutagenicity test	15	1	25	31
500337	月刊薬事 伏谷伸宏	1980 生物による中毒とその処置(3) 海産生物〔Ⅲ〕	22	11	2075	2080
500338	Mutat Res Morgan RW:Hoffmann GR	1983 Cycasin and its mutagenic metabolites	114	1	19	58
500339	J Exp Zool Sato E:Koide SS	1984 Forskolin and mouse oocyte maturation in vitro	230	1	125	129

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500340	Gut Kumana CR:Ng M:Lin HJ:他	1985 Herbal tea induced hepatic veno-occlusive disease:quantification of toxic alkaloid exposure in adults	26	1	101	104
500341	Toxicol Appl Pharmacol Green CE:Segall HJ:Byard JL	1981 Metabolism、cytotoxicity、and genotoxicity of the pyrrolizidine alkaloid senecionine in primary cultures of rat hepatocytes	60	2	176	185
500342	J Pathol Van JJ:Purchase IFH:Tustin RC	1972 The chronic toxicity of retrorsine、a pyrrol-izidine alkaloid、in vervet monkeys	107	4	279	287
500343	J Pathol Jago MV	1971 Factors affecting the chronic hepatotoxicity of pyrrolizidine alkaloids	105	1	1	11
500344	Res Commun Chem Pathol Pharmacol Nishie K:Norred WP:Swain AP	1975 Pharmacology and toxicology of chaconine and tomatine	12	4	657	668
500345	Proc Int Sym Prin Takamatsu Can Res Fund van der Hoeven JCM	1985 Occurrence and detection of natural mutagens and modifying factors in food products	16		119	137
500347	Electrophoresis Li D:Sun L:Chen Z:他	2001 Survey of the distribution of red tide toxins (okadaic acid and dinophytoxin-1) in the Dalian Bay sea area of China by micellar electrokinetic capillary chromatography	22	16	3583	3588
500348	Toxicon Magalhaes VF:Soares RM:Azevedo SMFO	2001 Microcystin contamination in fish from the Jacarepagua Lagoon (Rio de Janeiro、Brazil): ecological implication and human health risk	39	7	1077	1085
500349	Environ Toxicol Leon LD:Yunes JS	2001 First report of a microcystin-containing bloom of the cyanobacterium microcystis aeruginosa in the La Plata River、South America	16	1	110	112
500350	Environ Toxicol Schmidt W:Willmitzer H:Bornmann K:他	2002 Production of drinking water from raw water containing cyanobacteria-pilot plant studies for assessing the risk of microcystin breakthrough	17	4	375	385
500351	Planta Med Vanhaelen M:Duchateau J:Vanhaelen-Fastre R:他	2002 Taxanes in Taxus baccata Pollen: cardiotoxicity and/or allergenicity?	68	1	36	40
500352	Public Health Nutr Oberlies NH:Kim NC:Brine D:他	2004 Analysis of herbal teas made from the leaves of comfrey (Symphytum officinale): reduction of N-oxides results in order of magnitude increases in the measurable concentration of pyrrolizidine alkaloids	7	7	919	924
500353	J Environ Pathol Toxicol Oncol Swick RA:Cheeke PR:Miranda CL:他	1984 The effect of consumption of the pyrrolizidine alkaloid-containing plant senecio jacobaea on iron and copper metabolism in the rat	5	4-5	59	69
500355	Consum Rep なし	2004 Dangerous supplements: still at large	69	5	12	17
500356	J Altern Complement Med Noller BN:Myers S:Abegaz B:他	2001 Global forum on safety of herbal and traditional medicine: July 7、2001、Gold Coast、Australia	7	5	583	601

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500357	Comp Biochem Physiol B Biochem Mol Biol Walsh PJ:Bookman RJ:Zaias J:他	2003 Toxicogenomic effects of marine brevetoxins in liver and brain of mouse	136	2	173	182
500358	Croat Med J Brncic N:Viskovic I:Peric R:他	2001 Accidental plant poisoning with Colchicum autumnale: report of two cases	42	6	673	675
500359	Environ Pollut Borgmann U:Norwood WP:Dixon DG	2004 Re-evaluation of metal bioaccumulation and chronic toxicity in Hyalella azteca using saturation curves and the biotic ligand model	131	3	469	484
500360	Nat Toxins Yoshida T:Makita Y:Nagata S:他	1997 Acute oral toxicity of microcystin-LR、a cyanobacterial hepatotoxin、in mice	5	3	91	95
500361	Int J Mol Med Suzuki H:Watanabe M:Wu Y:他	1998 Mutagenicity of microcystin-LR in human RSa cells	2	1	109	112
500362	Vet Hum Toxicol Bischoff K	2001 The toxicology of microcystin -LR: occurrence、toxicokinetics、toxicodynamics、diagnosis and treatment	43	5	294	297
500363	Toxicon Vieira JMS:Azevedo MTP:Azevedo SMFO:他	2003 Microcystin production by Radiocystis fernandoi (Chroococcales、Cyanobacteria) isolated from a drinking water reservoir in the city of Belem、PA、Brazilian Amazonia region	42	7	709	713
500364	Toxicon Tubaro A:Sosa S:Altinier G:他	2004 Short-term oral toxicity of homoyessotoxins、yessotoxin and okadaic acid in mice	43	4	439	445
500365	Vet Hum Toxicol Smith RA	1987 Potential edible lupine poisonings in humans	29	6	444	445
500366	Toxicon Wilson CR:Sauer J-M:Hooser SB	2001 Taxines: a review of the mechanism and toxicity of yew (Taxus spp.) alkaloids	39	2-3	175	185
500367	Z Lebensm Unters Forsch A Abd-Allah AMA:Ali HA:El-Sebae A	1998 Level of chlorinated hydrocarbons in a teleost fish and a bivalve from the Egyptian Mediterranean Coast and Nile Estuary	206	1	25	28
500368	Toxicon Vale P:Sampayo MA de M	2002 First confirmation of human diarrhoeic poisonings by okadaic acid esters after ingestion of razor clams (Solen marginatus) and green crabs (Carcinus maenas) in Aveiro lagoon、Portugal and detection of	40	7	989	996
500369	Toxicon Botha N:Venter M:Downing TG:他	2004 The effect of intraperitoneally administered microcystin-LR on the gastrointestinal tract of Balb/c mice	43	3	251	254
500370	Neurochem Int Dajas-Bailador F:Costa G:Dajas F:他	1998 Effects of α-erabutoxin、α-bungarotoxin、α-cobratoxin and fasciculin on the nicotine-evoked release of dopamine in the rat striatum in vivo	33	4	307	312
500371	Arzneim-Forsch/Drug Res Zetler G:Strubelt O	1980 Antifibrillatory、caardiovascular and toxic effects of sparteine、butylsparteine and pentylsparteine	30	9	1497	1502

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500372	J Appl Toxicol Petterson DS:Ellis ZL:Harris DJ:他	1987 Acute toxicity of the major alkaloids of cultivated Lupinus angustifolius seed to rats	7	1	51	53
500373	Pharmazie Hammouda FM:Rizk AM:Ismail SI:他	1984 Poisonous plants contaminating edible ones and toxic substances in plant foods Part 3 : Pyrrolizidine alkaloids from heliotropium digynum forssk (=H luteum、Poir)	39	10	703	705
500374	Toxicon Ishida H:Nozawa A:Nukaya H:他	2004 Comparative concentrations of brevetoxins PbTx-2、PbTx-3、BTX-B1 and BTX-B5 in cockle、Austrovenus stutchburyi、greenshell mussel、Perna canaliculus、and Pacific oyster、Crassostrea gigas、involved	43	7	779	789
500375	Nat Toxins Park H-D:Watanabe MF:Harada K:他	1993 Hepatotoxin (microcystin) and neurotoxin (anatoxin-a) contained in natural blooms and strains of cyanobacteria from Japanese freshwaters	1	6	353	360
500376	Gen Pharmacol Huxtable RJ	1979 New aspects of the toxicology and pharmacology of pyrrolizidine alkaloids	10	3	159	167
500377	Toxicon Bravo I:Fernandez ML:Ramilo I:他	2001 Toxin composition of the toxic dinoflagellate Prorocentrum lima isolated from different locations along the Galician coast (NW Spain)	39	10	1537	1545
500378	Toxicon Heredia-Tapia A:Arredondo-Vega BO:Nunez-Vazquez EJ:他	2002 Isolation of Prorocentrum lima (Syn. Exuviaella lima) and diarrhetic shellfish poisoning (DSP) risk assessment in the Gulf of California、Mexico	40	8	1121	1127
500379	Toxicon Pavela-Vrancic M:Mestrovic V:Marasovic I:他	2002 DSP toxin profile in the coastal waters of the central Adriatic Sea	40	11	1601	1607
500380	Toxicon Nozawa A:Tsuji K:Ishida H	2003 Implication of brevetoxin B1 and PbTx-3 in neurotoxic shellfish poisoning in New Zealand by isolation and quantitative determination with liquid chromatography-tandem mass spectrometry	42	1	91	103
500381	Toxicon Ishida H:Nozawa A:Nukaya H:他	2004 Confirmation of brevetoxin metabolism in cockle、Austrovenus stutchburyi、and greenshell mussel、Perna canaliculus、associated with New Zealand neurotoxic shellfish poisoning、by controlled exposure to	43	6	701	712
500382	Mutat Res Prakash AS:Pereira TN:Reilly PEB:他	1999 Pyrrolizidine alkaloids in human diet	443	1-2	53	67
500383	J Anim Sci White RD:Krumpeman PH:Cheeke PR:他	1984 Mutagenic responses of tansy ragwort (Senecio jacobaea) plant、pyrrolizidine alkaloids and metabolites in goat milk with the Salmonella/mammalian-microsome mutagenicity test	58	5	1245	1254
500384	東海大郭紀要　海洋学部 斉藤俊郎	1993 数種底生性魚類におけるフグ毒およびフグ毒関連物質の検索		35	103	110
500385	Ecotoxicol Environ Saf Schaeffer DJ:Malpas PB:Barton LL	1999 Risk assessment of microcystin in dietary aphanizomenon flos-aquae	44	1	73	80
500386	Crit Rev Toxicol Hirono I	1981 Natural carcinogenic products of plant origin	8	3	235	277

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500387	Biomed Environ Sci Lun Z:Hai Y:Kun C	2002 Relationship between microcystin in drinking water and colorectal cancer	15	2	166	171
500388	第3回環境化学討論会講演要旨 堺温哉:市橋秀樹:菅沼弘行:他	1994 ウミガメ類における重金属蓄積	4	2	610	611
500389	Lloydia Hatfield GM:Valdes LJ:Smith AH	1978 The occurrence of psilocybin in Gymnopilus species	41	2	140	144
500390	Lloydia Keeler RF	1975 Toxins and teratogens of higher plants	38	1	56	86
500391	藻類 塩見一雄	1999 シンポジウム「藻類の安全性と健康への効用」 藻類の安全性について	47	3	205	212
500392	Toxicon Yasumoto T	1998 Fish poisoning due to toxins of microalgal origins in the pacific	36	11	1515	1518
500393	Vet Hum Toxicol Tekol Y	1991 Acute toxicity of taxine in mice and rats	33	4	337	338
500394	Toxicon Tubaro A:Sosa S:Bruno M:他	1992 Diarrhoeic shellfish toxins in Adriatic Sea mussels evaluated by an ELISA method	30	5-6	673	676
500395	J Nat Toxins Aune T:Stabell OB:Nordstoga K:他	1998 Oral toxicity in mice of algal toxins from the diarrheic shellfish toxin (DST) complex and associated toxins	7	2	141	158
500396	Toxicon Vale P:Sampayo MADM	1999 Comparison between HPLC and a commercial immunoassay kit for detection of okadaic acid and esters in Portuguese bivalves	37	11	1565	1577
500397	Toxicon Vale P:Sampayo MADM	2000 Dinophysistoxin-2: a rare diarrhoeic toxin associated with Dinophysis acuta	38	11	1599	1606
500398	Toxicon Mebs D	1998 Occurrence and sequestration of toxins in food chains	36	11	1519	1522
500399	J Nat Toxins Wachi KM:Hokama Y	2001 Diversity of marine biotoxins in the near-shore ocean area: presence of a palytoxin-like entity at Barber's Point Harbor、Oahu	10	4	317	333
500400	J Nat Toxins Taniyama S:Mahmud Y:Terada M:他	2002 Occurrence of a food poisoning incident by palytoxin from a serranid Epinephelus sp. in Japan	11	4	277	282
500401	Toxicon Lewis RJ	1992 Ciguatoxins are potent ichthyotoxins	30	2	207	211

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500402	Toxicon Gochfeld M:Burger J	1998 Apparent paralytic shellfish poisoning in captive herring gulls fed commercial scallops	36	2	411	415
500403	Toxicon Dechraoui M-Y:Naar J:Pauillac S:他	1999 Ciguatoxins and brevetoxins、neurotoxic polyether compounds active on sodium channels	37	1	125	143
500404	Toxicon Poli MA:Musser SM:Dickey RW:他	2000 Neurotoxic shellfish poisoning and brevetoxin metabolites: a case study from Florida	38	7	981	993
500405	Toxicon Aird SD:Womble GC:Yates III JR:他	1999 Primary structure of ν-bungarotoxin、a new postsynaptic neurotoxin from venom of Bungarus multicinctus	37	4	609	625
500406	J Nat Toxins Ji-sheng C:Chong-xu F:Ke-ping H:他	1999 Studies on conotoxins of Conus betulinus	8	3	341	349
500407	Chem Pharm Bull (Tokyo) Kosuge T:Tsuji K:Hirai K:他	1985 First evidence of toxin production by bacteria in a marine organism	33	7	3059	3061
500408	Perspect Biol Med Huxtable RJ	1980 Herbal teas and toxins: novel aspects of pyrrolizidine poisoning in the United States	24	1	1	14
500409	J Toxicol Sci Mori H:Kawai K:Ohbayashi F:他	1984 Some toxic properties of a carcinogenic pyrrolizidine alkaloid、petasitenine	9	2	143	149
500410	J Nat Toxins Stegelmeier BL:Edgar JA:Colegate SM:他	1999 Pyrrolizidine alkaloid plants、metabolism and toxicity	8	1	95	116
500411	J Anim Sci Cheeke PR	1988 Toxicity and metabolism of pyrrolizidine alkaloids	66	9	2343	2350
500412	Mar Pollut Bull So LM:Cheung RYH:Chan KM	1999 Metal concentrations in Tissues of rabbitfish (Siganus oramin) collected from toloharbour and victoria harbour in Hong Kong	39	1-12	234	238
500413	食品開発 佐藤照彦	1984 海藻の特殊成分を探る(その2)	19	7	43	48
500414	J AOAC Int Gray DE:Porter A:O'Neill T:他	2004 A rapid cleanup method for the isolation and concentration of pyrrolizidine alkaloids in comfrey root	87	5	1049	1057
500415	北海道立水産試験場研究報告 麻生真悟:今村琢磨	1993 1992年噴火湾および日高海域に生息する数種の海洋生物における麻痺性貝毒の分布		43	37	43
500416	日本水産学会誌 荒川修	1995 セイヨウトコブシの毒組成	61	4	634	635

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500417	日本水産学会誌 Fusetani N:Hashimoto K	1981 Diethyl peroxides probably responsible for Mozuku poisoning	47	8	1059	1063
500418	海の研究 橋本周久	1997 有害な海洋生物の諸問題 ーとくに魚介毒についてー	6	特別	54	60
500419	月刊薬事 福本真理子	2003 薬剤師が知っておきたい中毒と情報源 食生活と中毒	45	3	505	510
500420	最新医学 香山不二雄	2002 【内分泌撹乱物質の基礎と臨床】 内分泌撹乱物質	57	2	183	189
500422	IARC Monogr Eval Carcinog Risk Chem Hum	1983 Gyromitrin (acetaldehyde formylmethylhydrazone)	31		163	170
500423	Lancet North Am Ed Chan TYK:Chan JCN:Tomlinson B:他	1993 Chinese herbal medicines revisited: a Hong Kong perspective	342	8886-	1532	1534
500424	Lancet Neurol Eadie MJ	2003 Convulsive ergotism: epidemics of the serotonin syndrome?	2	7	429	434
500425	日本食品衛生学会82回学術講演会講演要旨集 大島晴美:上野英二:斎藤勲:他	2001 緑色野菜、茶葉等の加工食品中のフェオフォルバイド及びピロフェオフォルバイド含有量調査			23	
500426	Symp Ser Soc Appl Microbiol Moss MO	1998 Recent studies of mycotoxins	27		62S	76S
500451	江口文陽	2004 キノコの機能性に関する研究者からの緊急報告 スギヒラタケ摂食者における急性脳症について				
500452	江口文陽	2004 「緊急報告」 スギヒラタケ急性脳症に関する原因解明のための一研究				
500453	江口文陽	2004 「緊急報告」 スギヒラタケ急性脳症に関する原因解明のための一研究(第2報)				
500460	宮城県衛生研究所年報 山田わか:堺敬一	1982 ピーナッツ製品のアフラトキシン検査結果(昭和56年度)		57	90	
500461	埼玉県衛生研究所報 星野庸二:松本隆二:土屋みつ子:他	1990 配合飼料及び鶏卵中のアフラトキシン汚染について		23	104	106
500462	埼玉県衛生研究所報 堀江正一:飯島正雄:斉藤貢一:他	1991 食品中のアフラトキシンの調査結果		24	108	

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
500463	埼玉衛生研究所報 星野庸二:田中章男:菊池好則:他	1988	21		81	82 香辛料中のアフラトキシン汚染調査結果について
500464	名古屋市衛生研究所報 久田和夫:山本勝彦:坪内春夫:他	1988	34		54	56 食品中の Mycotoxin に関する研究(第10報) 鶏肝中のアフラトキシンB1の定量法と汚染調査
500465	宮城県保健環境センター年報 山田わか:高槻圭悟:牛沢勇	1984	2		198	200 食品中のアフラトキシン検査結果(昭和57.58年度)
500466	青森県環境保健センター研究報告 中谷実:今井美代子:三浦啓徳:他	1998	9		27	30 記憶喪失性貝毒素ドウモイ酸分析法の検討
500467	青森県衛生研究所報 古川章子:宮田淳子:秋山由美子:他	1982	19		25	27 クロレラ加工品中のフェオホルバイド量等について
500468	静岡県環境衛生科学研究所報告 増田教子:杉山寛治:郷田淑明:他	1999	42		19	23 浜名湖産二枚貝の麻痺性貝毒成分分析
500469	名古屋市衛生研究所報 寺田久屋:坪内春夫:宮部正樹	1996	42		36	38 韓国産二枚貝から検出した麻痺性貝毒について
500470	宮城県保健環境センター年報 菊地秀明:佐藤明彦:中根ミワ子:他	1985	3		85	87 宮城県沿岸における麻痺性貝毒の推移と毒性分 ー1979～1984ー
500471	京都府保環研年報 八島哲:茶谷祐行:棟久美佐子:他	2000	45		1	4 巻貝による食中毒事例について
500472	京都府保環研年報 大藤升美:茶谷祐行:北野隆一:他	2000	45		9	11 比色法による巻貝中のテトラミンの定量
500473	宮崎県衛生環境研究所年報 小坂妙子:山本雄三:小野和則:他	1999	10		115	119 チョウセンアサガオによる食中毒事例
500474	福岡市保環研報 松井久仁子:西田政司:川口理恵:他	1999	24		44	47 小学生のバレイショによるソラニン中毒発症量の推定
500475	名古屋市衛生研究所報 中島正博:久田和夫:坪内春夫:他	1990	36		55	57 酵素免疫学的測定法による生コーヒー豆のアフラトキシンB1汚染調査への応用性について
500476	秋田県衛生科学研究所報 和田恵理子:八柳潤:佐藤宏康:他	1991	35		67	70 市販穀物粉の糸状菌汚染状況について
500477	千葉衛研報告 矢崎廣久:高橋治男:中島慶子:他	1990	14		11	16 酵素免疫測定法によるアフラトキシンの分析

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
500478	名古屋市衛生研究所報 久田和夫:山本勝彦:坪内春夫:他	1987	33		43	47 食品中の Mycotoxin に関する研究(第9報) マーケットバスケット方式によるアフラトキシンの1日摂取量
500479	兵庫県衛生研究所研究報告 武田信幸:橋本清澄	1986	21		50	56 輸入食品中のアフラトキシンについて
500480	千葉衛研報告 矢崎廣久:高橋治男:上の郁子:他	1983	7		16	20 コーヒー豆中のアフラトキシン様物質に関する検討
500481	鹿児島県衛研報 遠矢光孝:田中俊英:上村カズ子:他	1984	20		62	63 豆類中のアフラトキシンの検査
500482	広島県保健環境センター研究報告 高田久美代:山田圭一:石川憲司:他	2001	9		27	30 フグ食中毒患者尿からのフグ毒テトロドトキシンの検出
500483	東京衛研年報 牛山博文:観公子:新藤哲也:他	2001	52		159	162 化学物質及び自然毒による食中毒等事件例(第18報) ー平成12年ー
500484	沖縄県衛生環境研究所報 古謝あゆ子:玉那覇康二:阿部義則:他	2001	35		59	61 沖縄産二枚貝の麻痺性貝毒調査Ⅱ
500485	鹿児島県環境保健センター所報 岡村俊則:吉留吉弘:椿松紘一郎	2001	2		89	90 貝毒に関する調査研究(第XⅢ報) ー最終報ー
500486	広島県保健環境センター研究報告 高田久美代:山田圭一:小川博美	2000	8		1	5 広島湾海域における麻痺性貝毒原因プランクトン Alexandrium catenella の毒組成
500487	鹿児島県環境保健センター所報 岡村俊則:宮ノ下耕一:西原充貴:他	2000	1		81	82 南方毒魚による食中毒防止に関する調査研究(第1報)
500488	宮崎県衛生環境研究所年報 武田攻:山本雄三:小野和則:他	2000	11		73	76 宮崎県における最近の動物性自然毒食中毒 ーシガテラ中毒とフグ中毒ー
500489	宮崎県衛生環境研究所年報 山本雄三:武田攻:小野和則:他	2000	11		81	83 高速液体クロマトグラフィーによるテトロドトキシンの定量
500490	沖縄県衛生環境研究所報 玉那覇康二:宮里秀樹:玉城宏幸:他	1999	33		59	64 沖縄産二枚貝の麻痺性貝毒調査
500491	鹿児島県衛生研究所報 岡村俊則:宮ノ下耕一:西原充貴:他	1999	35		51	52 貝毒に関する調査研究(第11報)
500492	岩手衛研年報 大矢学:大内秀喜:中野克彦:他	1998	41		77	83 県内産二枚貝類における下痢性貝毒成分に関する調査 ー県産養殖ホタテガイ中に含まれる下痢性貝毒成分に関する調査ー

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500493	鹿児島県環境保健センター所報 岡村洋徳:岡村俊則:吉留吉弘:他	2001 南方毒魚による食中毒防止に関する調査研究(第Ⅱ報)		2	87	88
500494	岩手衛研年報 熊谷学:齋藤幸一:佐藤卓:他	1999 食中毒病因物質の検索(平成11年度)		42	41	45
500501	Cancer Res Levy DD:Groopman JD:Lim SE:他	1992 Sequence specificity of aflatoxin B1-induced mutations in a plasmid replicated in xeroderma pigmentosum and DNA repair proficient human cells	52	20	5668	5673
500502	Carcinogenesis Halvorson MR:Safe SH:Parkinson A:他	1988 Aflatoxin B1 hydroxylation by the pregnenolone-16 alpha-carbonitrile-inducible from of rat liver microsomal cytochrome P-450	9	11	2103	2108
500503	Chem Res Toxicol Bujons J:Hsieh DP:Kado NY:他	1995 Aflatoxin M1 8、9-epoxide: preparation and mutagenic activity	8	3	328	332
500504	Nutr Cancer Omer RE:Bakker MI:van't Veer P:他	1998 Aflatoxin and liver cancer in Sudan	32	3	174	180
500505	Environ Health Perspect Harrison JC:Carvajal M:Garner RC	1993 Does aflatoxin exposure in the United Kingdom constitute a cancer risk?	99		99	105
500506	Food Chem Toxicol Sen AC:Wei CI:Fernando SY:他	1988 Reduction of mutagenicity and toxicity of aflatoxin B1 by chlorine gas treatment	26	9	745	752
500507	Mycopathologia Dalcero A:Magnoli C:Chiacchiera S:他	1997 Mycoflora and incidence of aflatoxin B1、zearalenone and deoxynivalenol in poultry feeds in Argentina	137	3	179	184
500508	Can J Physiol Pharmacol Kuiper-Goodman T	1990 Uncertainties in the risk assessment of three mycotoxins: aflatoxin、ochratoxin、and zearalenone	68	7	1017	1024
500509	Lancet North Am Ed Nixon MW:Campbell TC:Junshi C:他	1990 Aflatoxin and liver cancer	335	8698	1165	
500510	Mutat Res Marquez-Marquez R:Madrigal-Bujaidar E:Tejada de Hernandez I	1993 Genotoxic evaluation of ammonium inactivated aflatoxin B1 in mice fed with contaminated corn	299	1	1	8
500511	Environ Health Perspect Finkel AM	1995 Toward less misleading comparisons of uncertain risks: the example of aflatoxin and alar	103	4	376	385
500512	Toxicol Appl Pharmacol Jennings GS:Heck R:Oesch F:他	1994 Metabolism and cytotoxicity of aflatoxin B1 in cultured rat hepatocytes and nonparenchymal cells: implications for tumorigenesis	129	1	86	94
500513	Int J Cancer Peers F:Bosch X:Kaldor J:他	1987 Aflatoxin exposure、hepatitis B virus infection and liver cancer in Swaziland	39	5	545	553

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500514	J Natl Cancer Inst Hsia CC:Kleiner DE Jr:Axiotis CA:他	1992 Mutations of p53 gene in hepatocellular carcinoma: roles of hepatitis B virus and aflatoxin contamination in the diet	84	21	1638	1641
500515	Environ Mol Mutagen Zhu Y:Bye S:Stambrook PJ:他	1995 Aflatoxin B1、2-aminoanthracene、and 7、12-dimethylbenz (a) anthracene-induced frameshift mutations in human APRT	26	3	234	239
500516	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev Wang JS:Huang T:Su J:他	2001 Hepatocellular carcinoma and aflatoxin exposure in Zhuqing Village、Fusui County、People's Republic of China	10	2	143	146
500517	Toxicol Sci Barton CC:Hill DA:Yee SB:他	2000 Bacterial lipopolysaccharide exposure augments aflatoxin B(1) -induced liver injury	55	2	444	452
500518	Toxicol Sci Mayura K:Abdel-Wahhab MA:Mckenzie KS:他	1998 Prevention of maternal and developmental toxicity in rats via dietary inclusion of common aflatoxin sorbents: potential for hidden risks	41	2	175	182
500519	Mutat Res Bailey GS:Loveland PM:Pereira C:他	1994 Quantitative carcinogenesis and dosimtry in rainbow trout for aflatoxin B1 and aflatoxicol、two aflatoxins that form the same DNA adduct	313	1	25	38
500521	Pharmacol Ther McLean M:Dutton MF	1995 Cellular interactions and metabolism of aflatoxin: an update	65	2	163	192
500522	Science Henry SH:Bosch FX:Troxell TC:他	1999 Policy forum: public health. Reducing liver cancer--global control of aflatoxin	286	5449	2453	2454
500523	J Toxicol Sci Suttajit M	1998 Current status of aflatoxin and its control in Thailand	23	Suppl	173	176
500524	Appl Microbiol Biotechnol Klich MA:Mullaney EJ:Daly CB:他	2000 Molecular and physiological aspects of aflatoxin and sterigmatocystin biosynthesis by Aspergillus tamarii and A. ochraceoroseus	53	5	605	609
500525	Nutr Cancer He Y:Campbell TC	1990 Effects of carotenoids on aflatoxin B1-induced mutagenesis in S. typhinurium TA 100 and TA 98	13	4	243	253
500528	Prog Clin Biol Res Groopman JD:Scholl P:Wang JS	1996 Epidemiology of human aflatoxin exposures and their relationship to liver cancer	395		211	222
500529	Prog Clin Biol Res Wogan GN	1992 Aflatoxin carcinogenesis: interspecies potency differences and relevance for human risk assessment	374		123	137
500530	IARC Sci Publ Bosch FX:Peers F	1991 Aflatoxins: data on human carcinogenic risk		105	48	53
500531	Bull Environ Contam Toxicol Aulerich RJ:Bursian SJ:Watson GL	1993 Effects of sublethal concentrations of aflatoxins on the reproductive performance of mink	50	5	750	756

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500533	Acta paediatr Scand De Vries HR:Maxwell SM:Hendrickes RG	1989 Foetal and neonatal exposure to aflatoxins	78	3	373	378
500534	Bull Environ Contam Toxicol Lotter LH:Krohm HJ	1988 Occurrence of aflatoxins in human foodstuffs in South Africa	40	2	240	243
500535	Mycopathologia Etcheverry M:Nesci A:Barros G:他	1999 Occurrence of Aspergillus section flavi and aflatoxin B1 in corn genotypes and corn meal in Argentina	147	1	37	41
500536	Adv Exp Med Biol Park DL	2002 Effect of processing on aflatoxin	504		173	179
500537	Bull Environ Contam Toxicol Harvey RB:Edrington TS:Kubena LF:他	1995 Effect of aflatoxin and diacetoxyscirpenol in ewe lambs	54	3	325	330
500538	Bull Environ Contam Toxicol Edrington TS:Harvey RB:Kubena LF	1995 Toxic effects of aflatoxin B1 and ochratoxin A、alone and in combination、on chicken embryos	54	3	331	336
500539	J Indian Med Assoc Sen S	1974 Aflatoxin hepatitis (an experimental comparative study)	62	5	147	151
500540	Nature Armbrecht BH:Shalkop WT:Rollins LD:他	1970 Acute toxicity of aflatoxin B1 in wethers	225	5237	1062	1063
500541	S Afr Med J Van Rensburg SJ:Kirsipuu A:Coutinho LP:他	1975 Circumstances associated with the contamination of food by aflatoxin in a high primary liver cancer area	49	22	877	883
500542	Ann Acad Med Singapore Hendrickse RG	1991 Clinical implications of food contaminated by aflatoxins	20	1	84	90
500543	J Assoc Off Anal Chem Park DL:Lee LS:Price RL:他	1988 Review of the decontamination of aflatoxins by ammoniation: current status and regulation	71	4	685	703
500544	Carcinogenesis Booth SC:Bosenberg H:Garner RC:他	1981 The activation of aflatoxin B1 in liver slices and in bacterial mutagenicity assays using livers from different species including man	2	10	1063	1068
500545	Lancet North Am Ed Ngindu A:Johnson BK:Kenya PR:他	1982 Outbreak of acute hepatitis caused by aflatoxin poisoning in Kenya	1	8285	1346	1348
500546	S Afr Med J Van Rensburg SJ:Van Der Watt JJ:Purchase IFH:他	1974 Primary liver cancer rate and aflatoxin intake in a high cancer area	48	60	2508A	2508D
500547	Food Chem Toxicol Fukayama MY:Hsieh DPH	1984 The effects of butylated hydroxytoluene on the in vitro metabolism、DNA-binding and mutagenicity of aflatoxin B1 in the rat	22	5	355	360

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500548	Food Chem Toxicol Dichter CR	1984 Risk estimates of liver cancer due to aflatoxin exposure from peanuts and peanut products	22	6	431	437
500549	Pediatrics Nelson DB:Kimbrough R:Landrigan PS:他	1980 Aflatoxin and Reye's syndrome: a case control study	66	6	865	869
500551	Ann N Y Acad Sci Louria DB:Smith JK:Finkel GC	1970 Mycotoxins other than aflatoxins: tumor-producing potential and possible relation to human disease	174	2	583	591
500552	J Pathol Butler WH:Lijinsky W	1970 Acute toxicity of aflatoxin G1 to the rat	102	4	209	212
500553	Recent Results Cancer Res Linsell CA:Peers FG	1972 The aflatoxins and human liver cancer	39		125	129
500554	Toxicol Appl Pharmacol Suryanarayana Rao K:Gehring PJ	1971 Acute toxicity of aflatoxin B1 in monkeys	19	2	169	175
500555	Toxicol Appl Pharmacol Shank RC:Johnsen DO:Tanticharoenyos P:他	1971 Acute toxicity of aflatoxin B1 in the macaque monkey	20	2	227	231
500556	J Pathol Bassir O:Bababunmi EA	1972 Liver function and histology in various species of animal treated with non-lethal doses of aflatoxin B1	108	1	85	90
500557	Toxicol Appl Pharmacol Norred WP:Morrissey RE	1983 Effects of long-term feeding of ammoniated、aflatoxin-contaminated corn to Fischer 344 rats	70	1	96	104
500558	IARC Sci Publ Linsell CA	1979 Decision on the control of a dietary carcinogen - aflatoxin		25	111	122
500559	Int J Cancer Peers FG:Gilman GA:Linsell CA	1976 Dietary aflatoxins and human liver cancer. A study in Swaziland	17	2	167	176
500560	Arch Environ Health Serck-Hanssen A	1970 Aflatoxin-induced fatal hepatitis? A case report from Uganda	20	6	729	731
500561	Arch Environ Health Alpert E:Serck-Hanssen A:Rajagopolan B:他	1970 Aflatoxin-induced hepatic injury in the African monkey	20	6	723	728
500562	Bull Environ Contam Toxicol Llewellyn GC:Sherertz PC:Mills RR	1976 The response of dietary stressed Periplaneta americana to chronic intake of pure aflatoxin B1	15	4	391	397
500563	Br J Exp Pathol Scotto JM:Stralin HG:Lageron A:他	1975 Influence of carbon tetrachloride or riboflavin on liver carcinogenesis with a single dose of aflatoxin B1	56	2	133	138

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500564	Cancer Alpert ME:Hutt MSR:Wogan GN:他	1971 Association between aflatoxin content of food and hepatoma frequency in Uganda	28	1	253	260
500565	Chen Biol Interact Purchase IFH:Steyn M:Gilfillan TC	1973 Metabholism and acute toxicity of aflatoxin B1 rats	7	5	283	287
500566	Br J Cancer Van Rensburg SJ:Cook-Mozaffari P:Van Schalkwyk DJ:他	1985 Hepatocellular carcinoma and dietary aflatoxin in Mozambique and Transkei	51	5	713	726
500567	Adv Exp Med Biol Hsieh DPH:Wong JJ	1981 Metabolism and toxicity of aflatoxins	136 Pt		847	863
500568	Nutr Cancer Stoloff L	1983 Aflatoxin as a cause of primary liver-cell cancer in the United States: a probability study	5	3-4	165	186
500569	Toxicol Lett Onyemelukwe GC:Ogbadu GH:Salufu A	1982 Aflatoxins、B1、B2、G1、G2 in primary liver cell carcinoma	10	2-3	309	312
500570	Princess Takamatsu Symp Hsieh DPH:Cullen JM:Hsieh LS:他	1985 Cancer risks posed by aflatoxin M1	16		57	65
500571	Ecotoxicology Oberheu DG:Dabbert CB	2001 Aflatoxin contamination in supplemental and wild foods of northern bobwhite	10	2	125	129
500572	Sci Sin Yaobin W:Lizun L:Benfa Y:他	1983 Relation between geographical distribution of liver cancer and climate-aflatoxin B1 in China	26	11	1166	1175
500573	Risk Anal Bruce RD	1990 Risk assessment for aflatoxin: Ⅱ. Implications of human epidemiology data	10	4	561	569
500574	J Chem Educ Elmund GK:Brewster TC:Tu AT	1972 Aflatoxins potent food poisons and carcinogenic compounds	49	6	398	399
500575	Food Chem Toxicol Casado JM:Theumer M:Masih DT:他	2001 Experimental subchronic mycotoxicoses in mice: individual and combined effects of dietary exposure to fumonisins and aflatoxin B1	39	6	579	586
500576	Food Chem Toxicol Bailey GS:Price RL:Park DL:他	1994 Effect of ammoniation of aflatoxin B1-contaminated cottonseed feedstock on the aflatoxin M1 content of cows' milk and hepatocarcinogenicity in the trout bioassay	32	8	707	715
500577	Food Chem Toxicol Atawodi SE:Atiku AA:Lamorde AG	1994 Aflatoxin contamination of Nigerian foods and feedingstuffs	32	1	61	63
500578	Ann Trop Paediatr Maxwell SM:Familusi JB:Sodeinde O:他	1994 Detection of naphthols and aflatoxins in Nigerian cord blood	14	1	3	5

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500579	West Afr J Med Ankrah N-A:Addo PGA:Abrahams CA:他	1993 Comparative effects of aflatoxins G1 and B1 at levels within houman exposure limits on mouse liver and kidney	12	2	105	109
500580	Acta Leiden Hendrickse RG	1985 Kwashiorkor: 50 years of myth and mystery. Do aflatoxins provide a clue?	53		11	30
500581	S Afr Med J	1974 Aflatoxin and primary liver cancer	48	60	2495	2496
500582	Food Cosmet Toxicol	1976 Letter to the editor: Acute toxicity of aflatoxin B1 for baboons	14	3	227	228
500583	Food Cosmet Toxicol Cooper P	1976 Possible effects of aflatoxin consumption by man	14	2	151	152
500584	J Food Prot Pierides M:El-Nezami H:Peltonen K:他	2000 Ability of dairy strains of lactic acid bacteria to bind aflatoxin M1 in a food model	63	5	645	650
500585	Nahrung El-Tahan FH:El-Tahan MH:Shebl MA	2000 Occurrence of aflatoxins in cereal grains from four Egyptian governorates	44	4	279	280
500586	East Afr Med J Ankrah NA:Rikimaru T:Ekuban FA	1994 Observations on aflatoxins and the liver status of Ghanaian subjects	71	11	739	741
500587	Vet Hum Toxicol Madden UA:Stahr HM	1995 Retention and distribution of aflatoxin in tissues of chicks fed aflatoxin-contaminated poultry rations amended with soil	37	1	24	29
500588	Trop Gastroenterol Bhat RV	1996 Aflatoxin and liver injury	17	3	153	160
500589	Nat Toxins Vinitketkumnuen U:Chewonarin T:Kongtawelert P:他	1997 Aflatoxin exposure is higher in vegetarians than nonvegetarians in Thailand	5	4	168	171
500590	Trop Geogr Med Keen P:Martin P	1971 Is aflatoxin carcinogenic in man? The evidence in Swaziland	23	1	44	53
500591	Methods Mol Biol Egmond HP:Dragacci S	2001 Liquid chromatographic method for aflatoxin M1 in milk	157		59	69
500592	IARC Sci Publ Ayoola EA	1984 Synergism between hepatitis B virus and aflatoxin in hepatocellular carcinoma		63	167	179
500593	Can J Comp Med Vet Sci Magwood SE:Annau E:Corner AH	1966 Induced tolerance in turkeys to aflatoxin poisoning	30	1	17	25

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500594	Food Cosmet Toxicol Fong LYY:Chan WC	1981 Long-term effects of feeding aflatoxin-contaminated market peanut oil to Sprague-Dawley rats	19	2	179	183
500595	Food Cosmet Toxicol Patterson DSP:Glancy EM:Roberts BA	1980 The 'carry over' of aflatoxin M1 into the milk of cows fed rations containing a low concentration of aflatoxin B1	18	1	35	37
500597	Vet Hum Toxicol Oruc HH:Sonal S	2001 Determination of aflatoxin M1 levels in cheese and milk consumed in Bursa、Turkey	43	5	292	293
500598	Mutat Res Sylla A:Diallo MS:Castegnaro J-J:他	1999 Interactions between hepatitis B virus infection and exposure to aflatoxins in the development of hepatocellular carcinoma: a molecular epidemiological approach	428	1-2	187	196
500599	Proc Annu Meet U S Anim Health Assoc Edds GT:Osuna O:Neff GL:他	1980 Aflatoxin incidence in feeds、toxicology and possible residue hazards in foods	84		301	309
500600	J Hyg Epidemiol Microbiol Immunol Barta I:Adamkova M:Markarjan D:他	1984 The mutagenic activity of aflatoxin B1 in the Cricetulus griseus hamster and Macaca mulatta monkey	28	2	149	159
500601	Teratog Carcinog Mutagen Madle E:Korte A:Beek B	1986 Species differences in mutagenicity testing: I. Micronucleus and SCE tests in rats、mice、and Chinese hamsters with aflatoxin B1	6	1	1	13
500603	Regul Toxicol Pharmacol Park DL:Stoloff L	1989 Aflatoxin control--how a regulatory agency managed risk from an unavoidable natural toxicant in food and feed	9	2	109	130
500605	Med Sci Law Chao TC:Lo DS:Bloodworth BC:他	1994 Aflatoxin exposure in Singapore: blood aflatoxin levels in normal subjects、hepatitis B virus carriers and primary hepatocellular carcinoma patients	34	4	289	298
500606	Risk Anal Wu-Williams AH:Zeise L:Thomas D	1992 Risk assessment for aflatoxin B1: a modeling approach	12	4	559	567
500608	Food Chem Toxicol Engelhardt JA:Carlton WW:Rebar AH:他	1988 Rubratoxin B mycotoxicosis in the Swiss ICR mouse	26	5	459	466
500609	Appl Environ Microbiol Rabie CJ:Sydenham EW:Thiel PG:他	1986 T-2 toxin production by Fusarium acuminatum isolated from oats and barley	52	3	594	596
500610	Chest Cheng HS:Chua SO:Hung JS:他	1991 Creatine kinase MB elevation in paralytic shellfish poisoning	99	4	1032	1033
500611	Arch Toxicol Prast H:Werner ER:Pfaller W:他	1988 Toxic properties of the mushroom Cortinarius orellanus. I. Chemical characterization of the main toxin of Cortinarius orellanus (Fries) and Cortinarius speciosissimus (Kuhn & Romagn) and acute toxicity in mice	62	1	81	88
500612	Arch Toxicol Richard JM:Louis J:Cantin D	1988 Nephrotoxicity of orellanine、a toxin from the mushroom Cortinarius orellanus	62	2-3	242	245

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500613	Rev Saude Publica Caldas ED:Silva SC:Oliveira JN	2002 Aflatoxins and ochratoxin A in food and risks to human health	36	3	319	323
500614	Environ Health Perspect Voss KA:Riley RT:Norred WP:他	2001 An overview of rodent toxicities: liver and kidney effects of fumonisins and Fusarium moniliforme	109	Suppl	259	266
500615	Food Chem Toxicol Engelhardt JA:Carlton WW:Rebar AH:他	1987 Rubratoxin B mycotoxicosis in the Mongolian gerbil	25	11	843	853
500616	Neurosci Res Suppl Tsuji K:Nakamura Y:Ogata T:他	1993 Toxicity of acromelic acid in cultured neurons from rat spinal cord	0	18	S38	
500617	Mutat Res de Peyster A:Wang YY	1993 Genetic toxicity studies of gossypol	297	3	293	312
500618	Mutat Res De-yu L:Lahdetie J:Parvinen M	1988 Mutagenicity of gossypol analyzed by induction of meiotic micronuclei in vitro	208	2	69	72
500619	Mutat Res Mori H:Sugie S:Yoshimi N:他	1986 Genotoxic effects of a variety of sterigmatocystin-related compounds in the hepatocyte/DNA-repair test and the Salmonella microsome assay	173	3	217	222
500620	Hum Exp Toxicol Assaf H:BetbederAM:Creppy EE:他	2004 Ochratoxin A levels in human plasma and foods in Ledanon	23	10	495	501
500621	Food Chem Toxicol Kirschman JC:Suber RL	1989 Recent food poisonings from cucurbitacin in traditionally bred squash	27	8	555	556
500622	Mycopathologia Abdel-Gawad KM:Zohri AA	1993 Fungal flora and mycotoxins of six kinds of nut seeds for human consumption in Saudi Arabia	124	1	55	64
500623	Mycopathologia Thiel PG:Marasas WFO:Sydenham EW:他	1992 The implications of naturally occurring levels of fumonisins in corn for human and animal health	117	1-2	3	9
500624	Mycopathologia Bane DP:Neumann EJ:Hall WF:他	1992 Relationship between fumonisin contamination of feed and mystery swine disease. A case-control study	117	1-2	121	124
500625	Mycopathologia Jimenez M:Mateo R:Querol A:他	1991 Mycotoxins and mycotoxigenic moulds in nuts and sunflower seeds for human consumption	115	2	121	127
500626	Mycopathologia Lepom P:Kloss H	1988 Production of sterigmatocystin by Aspergillus versicolor isolated from roughage	101	1	25	29
500627	Mycopathologia Sreemannarayana O:Frohlich AA:Marquardt RR	1987 Acute toxicity of sterigmatocystin to chicks	97	1	51	59

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500628	Arch Environ Contam Toxicol Williams PP	1989 Effects of T-2 mycotoxin on gastrointestinal tissues: a review of in vivo and in vitro models	18	3	374	387
500629	J Am Chem Soc Konno K:Hashimoto K:Ohfune Y:他	1988 Acromelic acids A and B potent neuroexcitatory amino acids isolated from clitocybe-acromelalga	110	14	4807	4815
500630	J Toxicol Clin Toxicol Rohrmoser M:Kirchmair M:Feifel E:他	1997 Orellanine poisoning: rapid detecion of the fungal toxin in renal biopsy material	35	1	63	66
500631	食品衛生学雑誌 芳澤宅實	2003 マイコトキシンの安全性評価の現状	44	6	J351	J356
500632	Hum Exp Toxicol Sivakumar V:Thanislass J:Niranjali S:他	2001 Lipid peroxidation as a possible secondary mechanism of sterigmatocystin toxicity	20	8	398	403
500633	Mycopathologia Furlong EB:Soares LMV:Lasca CC:他	1995 Mycotoxins and fungi in wheat harvested during 1990 in test plots in the state of Sao Paulo、Brazil	131	3	185	190
500634	東京都立衛生研究所研究年報 笹本剛生:堀井昭三:牛山慶子:他	2003 中国産ウチムラサキにおける麻痺性貝毒検出事例		53	149	152
500635	東京都保健医療学会誌 渕野清彦:長沢義介	2002 パツリン汚染実態調査		106	34	35
500636	Appl Environ Microbiol Yoshizawa T:Yamashita A:Luo Y	1994 Fumonisin occurrence in corn from high- and low-risk areas for human esophageal cancer in China	60	5	1626	1629
500637	日本毒性病理学会17回講演要旨集 石上紀明:鈴木和彦:片山圭一:他	2000 T-2 toxin投与妊娠マウスの胎仔にみられたアポトーシス病変			24	
500638	日本薬学会124年会講演要旨集 望月直樹:星野まり子:山下博:他	2004 LC/MS/MSによるパツリンの分析		3	203	
500639	Am J Kidney Dis Horn S:Horina JH:Krejs GJ:他	1997 End-stage renal failure from mushroom poisoning with Cortinarius orellanus: report of four cases and review of the literature	30	2	282	286
500641	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev Palli D:Miraglia M:Saieva C:他	1999 Serum levels of ochratoxin A in healthy adults in Tuscany: correlation with individual characteristics and between repeat measurements	8	3	265	269
500642	Proc Annu Meet U S Anim Health Assoc Edds GT:Osuna O	1976 Aflatoxin B1 increases infectious disease losses in food animals		80	434	441
500643	Cent Afr J Med Nyathi CB:Mutiro CF:Hasler JA:他	1989 Human exposure to aflatoxins in Zimbabwe	35	12	542	545

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500644	Ethiop Med J Fufa H:Urga K	1996 Screening of aflatoxins in Shiro and ground red pepper in Addis ababa	34	4	243	249
500645	Adv Exp Med Biol Walker R	2002 Risk assessment of ochratoxin: current views of the European Scientific Committee on Food、The JECFA and the Codex Commttee on Food Additives and Contaminants	504		249	255
500646	Toxicology Faifer GC:Zabal O:Godoy HM	1992 Further studies on the hematopoietic damage produced by a single dose of T-2 toxin in mice	75	2	169	174
500647	IARC Monogr Eval Carcinog Risk Chem Hum	1983 T2-trichothecene	31		265	278
500648	衛生試験所報告 五十畑悦子:豊田正武:斎藤行生	1988 マイコトキシンの化学分析に関する研究(第19報) T-2 toxin の Enzyme Immunoassay による分析		106	117	120
500649	Toxicon Panter KE:Keeler RF:Bunch TD:他	1990 Congenital skeletal malformations and cleft palate induced in goats by ingestion of Lupinus、Conium and Nicotiana species	28	12	1377	1385
500650	Toxicology Creppy EE:Chiarappa P:Baudrimont I:他	2004 Synergistic effects of fumonisin B1 and ochratoxin A: are in vitro cytotoxicity data predictive of in vivo acute toxicity?	201	1-3	115	123
500651	Jpn J Pharmacol Shinozaki H:Ishida M:Goto Y	1989 Leg cramps and spinal neuron damages induced by a potent excitatory amino acid、acromelic acid、in the rat	49	Suppl	109P	
500652	環境科学総合研究所年報 榎本眞:広内康彦:岩田聖:他	1990 化学物資;ステリグマトシスチンの標的臓器としての褐色脂肪組織 ー褐色脂肪組織の病理像(3)ー	9		75	84
500653	J Toxicol Sci Kobayashi T:Yasuda M:Seyama I	1990 Developmental toxicity potential of grayanotoxin I in mice and chicks	15	4	227	234
500655	Tetrahedron Lett Fushiya S:Sato S:Kanazawa T:他	1990 Acromelic acid c. A new toxic constituent of clitocybe acromelalga: An efficient isolation of acromelic acids	31	27	3901	3904
500656	Xenobiotica Tanaka K:Inoue T:Kadota S:他	1990 Metabolism of illudin S、a toxic principle of Lampteromyces japonicus、by rat liver. I. Isolation and identification of cyclopropane ring-cleavage metabolites	20	7	671	681
500657	Toxicology Fairhurst S:Marrs TC:Parker HC:他	1987 Acute toxicity of T2 toxin in rats、mice、guinea pigs、and pigeons	43	1	31	49
500658	日本菌学会会報 川瀬勇:白川博久:渡辺正基	1992 タマゴタケモドキによる食中毒死亡事例と同菌の北海道における分布状況	33	1	107	110
500659	Toxicon Ryu J-C:Shiraki N:Ueno Y	1987 Effects of drugs and metabolic inhibitors on the acute toxicity of T-2 toxin in mice	25	7	743	750

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500660	Toxicology Kravchenko LV:Tutelyan VA:Vasilyev AV:他	1986 Biochemical changes in subacute mycotoxicosis induced by T-2 toxin in rats	42	1	77	83
500661	Br J Exp Path Marrs TC:Edginton JAG:Price PN:他	1986 Acute toxicity of T2 mycotoxin to the guinea-pig by inhalation and subcutaneous routes	67	2	259	268
500662	岐阜大学医学部紀要 中丸輝彦	1989 Aflatoxin B1 生合成関連物質の細胞毒性に関する生化学的研究 Aflatoxin B1、sterigmatocystin、versicolorin による単離肝ミトコンドリアの呼吸阻害作用	37	5	911	938
500663	Exp Mol Pathol Engelhardt JA:Carlton WW:Hinsman EJ:他	1989 Rubratoxin B Mycotoxicosis in the Syrian hamster: ultrastructural alterations	50	2	193	204
500664	食品衛生学誌 笠原義正:板垣昭浩:久間木國男:他	1996 ツキヨタケの胃腸肝毒性及び塩蔵による減毒	37	1	1	7
500665	Mycopathologia Camargos SM:Soares LMV:Sawazaki E:他	2002 Accumulation of fumonisins B1 and B2 in freshly harvested Brazilian commercial maize at three locations during two nonconsecutive seasons	155	4	219	228
500666	Mycopathologia Langseth W:Rundberget T	1999 The occurrence of HT-2 toxin and other trichothecenes in Norwegian cereals	147	3	157	165
500669	Forensic Sci Int Stewart MJ:Moar JJ:Steenkamp P:他	1999 Findings in fatal cases of poisoning attributed to traditional remedies in South Africa	101	3	177	183
500670	Adv Exp Med Biol Park DL:Troxell TC	2002 U.S. perspective on mycotoxin regulatory issues	504		277	285
500671	Adv Exp Med Biol Visconti A	1996 Fumonisins in maize genotypes grown in various geographic areas	392		193	204
500672	食品衛生研究 蛭田浩一:中村泰久	2004 FAO/WHO合同食品規格計画 第36回食品添加物・汚染物質部会概要(CCFAC)	54	7	25	38
500673	食品衛生研究 田端節子	2004 日本におけるリンゴ加工品のパツリン汚染の現状とリスク	54	5	15	16
500674	Vet Q Kuilman MEM:Maas RFM:Woutersen-van Nijnanten FMA	2000 Inhibition of aflatoxin M1 production by bovine hepatocytes after intervention with oltipraz	22	1	30	35
500675	Planta Med Rastogi R:Srivastava AK:Srivastava M:他	2000 Hepatocurative effect of Picroliv and silymarin against aflatoxin B1 induced hepatotoxicity in rats	66	8	709	713
500676	J AOAC Int Nakajima M:Tsubouchi H:Miyabe M	1999 A survey of ochratoxin A and aflatoxins in domestic and imported beers in Japan by immunoaffinity and liquid chromatography	82	4	897	902

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500677	J Environ Pathol Toxicol Oncol Van Rensburg SJ:Van Schalkwyk GC:Van Schalkwyk DJ	1990 Primary liver cancer and aflatoxin intake in Transkei	10	1-2	11	16
500678	Mutagenesis Shibahara T:Ogawa HI:Ryo H:他	1995 DNA-damaging potence and genotoxicity of aflation M1 in somatic cells in vivo of drosophila melanogaster	10	3	161	164
500679	J AOAC Int Whitaker TB:Giesbrecht FG:Wu J:他	1994 Predicting the distribution of aflatoxin test results from farmers' stock peanuts	77	3	659	666
500680	J Anim Sci Schell TC:Lindemann MD:Kornegay ET:他	1993 Effects of feeding aflatoxin-contaminated diets with and without clay to weanling and growing pigs on performance、liver function、and mineral metabolism	71	5	1209	1218
500681	J AOAC Int Selim MI:Popendorf W:Ibrahim MS:他	1996 Aflatoxin B1 in common Egyptian foods	79	5	1124	1129
500682	J AOAC Int Dragacci S:Grosso F:Gilbert J:他	2001 Immunoaffinity column cleanup with liquid chromatography for determination of aflatoxin M1 in liquid milk: collaborative study	84	2	437	443
500683	J AOAC Int Whitaker TB:Hagler Jr WM:Giesbrecht FG	1999 Performance of sampling plans to determine aflatoxin in farmers' stock peanut lots by measuring aflatoxin in high-risk-grade components	82	2	264	270
500684	J AOAC Int Cespedes AE:Diaz GJ	1997 Analysis of aflatoxins in poultry and pig feeds and feedstuffs used in Colombia	80	6	1215	1219
500685	J Assoc Off Anal Chem Francis Jr O:Ware GM:Carman AS:他	1987 Thin-layer chromatographic determination of sterigmatocystin in cheese: interlaboratory study	70	5	842	844
500687	Int J Food Microbiol Lopez C:Ramos L:Ramadan S:他	2001 Distribution of aflatoxin M1 in cheese obtained from milk artificially contaminated	64	1-2	211	215
500689	Food Addit Contam Srivastava VP:Bu-Abbas A:Alaa-Basuny:他	2001 Aflatoxin MI contamination in commercial samples of milk and dairy products in Kuwait	18	11	993	997
500690	Food Addit Contam Pinto VF:Patriarca A:Locani O:他	2001 Natural co-occurrence of aflatoxin and cyclopiazonic acid in peanuts grown in Argentina	18	11	1017	1020
500691	Food Addit Contam Galvano F:Galofaro V:Ritieni A:他	2001 Survey of the occurrence of aflatoxin M1 in dairy products marketed in Italy: second year of observation	18	7	644	646
500693	Food Addit Contam Vargas EA:Preis RA:Castro L:他	2001 Co-occurrence of aflatoxins B1、B2、G1、G2、zearalenone and fumonisin B1 in Brazilian corn	18	11	981	986
500694	Food Addit Contam Neal GE:Judah DJ:Carthew P:他	2001 Differences detected in vivo between samples of aflatoxin-contaminated peanut meal、following decontamination by two ammonia-based processes	18	2	137	149

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500695	Food Addit Contam Dragacci S:Grosso F:Pfauwathel-Marchond N:他	2001 Proficiency testing for evaluation of the ability of European Union-National Reference laboratories to determine aflatoxin M1 in milk at levels corresponding to the new European Union legislation	18	5	405	415
500696	Food Addit Contam Govaris A:Roussi V:Koidis PA:他	2001 Distribution and stability of aflatoxin M1 during processing、ripening and storage of Telemes cheese	18	5	437	443
500697	Food Addit Contam Midio AF:Campos RR:Sabino M	2001 Occurrence of aflatoxins B1、B2、G1 and G2 in cooked food componets of whole meals marketed in fast food outlets of the city of Sao Paulo、SP、Brazil	18	5	445	448
500698	Food Addit Contam Martins ML:Martins HM	2000 Aflatoxin M1 in raw and ultra high temperature-treated milk commercialized in Portugal	17	10	871	874
500703	J Toxicol Pathol Sehata S:Teranishi M:Atsumi F:他	2003 T-2 toxin-induced morphological changes in pregnant rats	16	1	59	65
500706	J Agric Food Chem Silva JB:Pozzi CR:Mallozzi MA:他	2000 Mycoflora and occurrence of aflatoxin B1 and fumonisin B1 during storage of Brazillian sorghum	48	9	4352	4356
500707	J Agrlc Food Chem Li FQ:Yoshizawa T:Kawamura O:他	2001 Aflatoxins and fumonisins in corn from the high-incidence area for human hepatocellular carcinoma in Guangxi、China	49	8	4122	4126
500726	J Agric Food Chem Hammond BG:Campbell KW:Pilcher CD:他	2004 Lower fumonisin mycotoxin levels in the grain of Bt corn grown in the United States in 2000-2002	52	5	1390	1397
500727	Tetrahedron Konno K:Hayano K:Shirahama H:他	1982(RECD Clitidine、a new toxic pyridine nucleoside from Clitocybe acromelalga	38	22	3281	3284
500728	Environ Sci Technol Furey A:Moroney C:Brana-Magdalena A:他	2003 Geographical、temporal、and species variation of the polyether toxins、azaspiracids、in shellfish	37	14	3078	3084
500729	山形衛生所報 笠原義正	1998 ツキヨタケの有毒成分 illudin S の定量		31	5	9
500731	J Am Vet Med Assoc East NE:Anderson M:Lowenstine LJ	1994 Apparent gossypol-induced toxicosis in adult dairy goats	204	4	642	643
500732	Jama Hanrahan JP:Gordon MA	1984 Mushroom poisoning: case reports and a review of therapy	251	8	1057	1061
500733	Environ Health Perspect Marien K	1996 Establishing tolerable dungeness crab (Cancer magister) and razor clam (Siliqua patula) domoic acid contaminant levels	104	11	1230	1236
500734	Mycopathologia Tanaka T:Hasegawa A:Yamamoto S:他	1988 A case report on a minor contamination of nivalenol in cereals harvested in Canada	101	3	157	160

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500737	Food Chem Toxicol Ohtsubo K:Ryu JC:Nakamura K:他	1989 Chronic toxicity of nivalenol in female mice: a 2-year feeding study with Fusarium nivale Fn 2B-moulded rice	27	9	591	598
500738	Food Chem Toxicol Forsell JH:Jensen R:Tai JH:他	1987 Comparison of acute toxicities of deoxynivalenol (vomitoxin) and 15-acetyldeoxynivalenol in the B6C3F1 mouse	25	2	155	162
500740	N Engl J Med Perl TM:Bedard L:Kosatsky T:他	1990 An outbreak of toxic encephalopathy caused by eating mussels contaminated with domoic acid	322	25	1775	1780
500741	Med J Aust Magee R	1991 Saint Anthony's fire revisited. Vascular problems associated with migraine medication	154	2	145	149
500746	Biol Reprod Nakai M:Goldman J:Marotta RL:他	2002 Effects of dietary soy and isoflavones on the female reproductive tract of the intact Fischer 433 rat	66	Suppl	318	
500747	Angiology Zavaleta EG:Fernandez BB:Grove MK:他	2001 St. Anthony's fire (ergotamine induced leg ischemia) A case report and review of the literature	52	5	349	356
500749	Int Orthop Debouck C:Haubruge E:Bollaerts P:他	2001 Skeletal deformities induced by the intraperitoneal administration of deoxynivalenol (vomitoxin) in mice	25	3	194	198
500750	Neurosci Lett Ananth C:Gopalakrishnakone P:Kaur C	2003 Induction of inducible nitric oxide synthase expression in activated microglia following domoic acid (DA) -induced neurotoxicity in the rat hippocampus	338	1	49	52
500752	Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol van Dongen PWJ:de Groot ANJA	1995 History of ergot alkaloids from ergotism to ergometrine	60	2	109	116
500755	J Neurosci Res Ananth C:Dheen ST:Gopalakrishnakone P:他	2001 Domoic acid-induced neuronal damage in the rat hippocampus: changes in apoptosis related genes (bcl-2、bax、caspase-3) and microglial response	66	2	177	190
500759	日本食品衛生学会82回学術講演会講演要旨集 大島晴美:上野英二:斎藤勲:他	2001 緑色野菜、茶葉等の加工食品中のフェオフォルバイド及びピロフェオフォルバイド含有量調査			23	
500760	Proc Soc Exp Biol Med Medlock KL:Branham WS:Sheehan DM	1995 The effects of phytoestrogens on neonatal rat uterine growth and development	208	3	307	313
500767	日本農芸化学会誌 原口博行:柴田耕造:谷口誠::他	1984 Citrinin の抗真菌活性とその作用機作について	58	2	248	
500770	Toxicol Appl Pharmacol Watson SA:Hayes AW	1982 Effects of alterations of metabolism on rubratoxin B toxicity in vivo and in the isolated rat parenchymal cell	64	3	504	516
500771	Chem Pharm Bull (Tokyo) Hikino H:Ohizumi Y:Konno C:他	1979 Subchronic toxicity of ericaceous toxins and Rhododendron leaves	27	4	874	879

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500773	Toxicology Hayes AW:Phillips TD:Williams WL:他	1979 Acute toxicity of patulin in mice and rats	13	2	91	100
500776	名古屋市衛生研究所報 坪内春夫:久田和夫:寺田久屋:他	1985 食品中の Mycotoxin に関する研究(第7報) シトリニンを検出したカビ・ソバ麺の一事例について		31	77	80
500777	J Toxicol Environ Health Mayura K:Parker R:Berndt WO:他	1984 Effect of simultaneous prenatal exposure to ochratoxin A and citrinin in the rat	13	4-6	553	561
500780	Toxicol Lett (AMST) Frimmer M	1987 What we have learned from phalloidin	35	2-3	169	182
500781	島根県立衛生公害研究所報 後藤宗彦	1986 市販食品中のトリコテセン系マイコトキシン（ニバレノール、デオキシニバレノール）の汚染調査について		27	72	
500783	食品衛生学雑誌 毛利隆美:田中義人:深町和美:他	1992 コイの水溶性中毒成分としてのシプリノールについて	33	2	133	143
500786	衛生試験所報告 五十畑悦子:豊田正武:斎藤行生:他	1986 マイコトキシンの化学分析に関する研究(第15報) 輸入穀類、乳幼児食品および加工食品(菓子類)中の Niralenol と Deoxynivalenol の分析		104	113	118
500788	日本薬学会109年会講演要旨集 上野芳夫:柳在泉:山村久:他	1989 マウスに対するニバレノールの慢性毒性と発ガン性		4	110	
500790	奈良医学雑誌 陰地義樹	1990 ニバレノール(マイコトキシン)の代謝と毒性機構に関する研究 第二報. ラットに於けるニバレノールの吸収、代謝、排泄および毒性について	41	4	335	343
500793	Adv Exp Med Biol Pieters MN:Freijer J:Baars BJ:他	2002 Risk assessment of deoxynivalenol in food: concentration limits、exposure and effects	504		235	248
500796	Mycotoxins 日ノ下文彦	2003 トリコテセンの毒性影響としての腎障害	53	2	123	127
500799	食品衛生研究 小西良子:高鳥浩介:久城真代:他	2004 小麦玄麦中のDON(デオキシニバレノール)試験法のバリデーションと製粉、製造工程および調理での小麦中のDONの減衰に関する研究	54	5	19	20
500800	食品衛生研究 小西良子:Poapolathep A:土井邦雄:他	2003 マウスにおけるニバレノールとフザレノンXの体内運命の比較	53	5	19	
500801	Food Cosmet Toxicol Jordan WH:Carlton WW:Sansing GA	1978 Citrinin mycotoxicosis in the rat. I. Toxicology and pathology	16	5	431	439
500802	Food Cosmet Toxicol Ohtsubo K:Saito M:kimura H	1978 High incidence of hepatic tumours in rats fed mouldy rice contaminated with Aspergillus versicolor containing sterigmatocystin	16	2	143	149

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500803	Food Cosmet Toxicol Jordan WH:Carlton WW:Sansing GA	1978 Citrinin mycotoxicosis in the Syrian hamster	16	4	355	363
500805	Food Cosmet Toxicol DeNicola DB:Rebar AH:Carlton WW:他	1978 T-2 toxin mycotoxicosis in the guinea-pig	16	6	601	609
500806	Mutagenesis Aranda M:Perez-Alzola LP:Ellahuene MF:他	2000 Assessment of in vitro mutagenicity in Salmonella and in vivo genotoxicity in mice of the mycotoxin fumonisin B1	15	6	469	471
500811	Food Chem Toxicol Vetter J	2004 Poison hemlock (Conium maculatum L.)	42	9	1373	1382
500812	Food Chem Toxicol Alvarez L:Gil AG:Ezpeleta O:他	2004 Immunotoxic effects of Ochratoxin A in Wistar rats after oral administration	42	5	825	834
500813	Food Chem Toxicol Ehrlich V:Darroudi F:Uhl M:他	2002 Genotoxic effects of ochratoxin A in human-derived hepatoma (HepG2) cells	40	8	1085	1090
500814	Food Chem Toxicol Thuvander A:Paulsen JE:Axberg K:他	2001 Levels of ochratoxin A in blood from Norwegian and Swedish blood donors and their possible correlation with food consumption	39	12	1145	1151
500818	Toxicology Faifer GC:Godoy HM	1991 Acute effects of T-2 toxin on radioactive iron incorporation into circulating erythrocytes in mice	70	2	133	140
500820	J Food Prot De Girolamo A:Solfrizzo M:Visconti A	2001 Effect of processing on fumonisin concentration in corn flakes	64	5	701	705
500821	J Food Prot de Nijs M:van Egmond HP:Nauta M:他	1998 Assessment of human exposure to fumonisin B1	61	7	879	884
500823	Lett Appl Microbiol Abrunhosa L:Paterson RRM:Kozakiewicz Z:他	2001 Mycotoxin production from fungi isolated from grapes	32	4	240	242
500824	J Agric Food Chem Vrabcheva T:Usleber E:Dietrich R:他	2000 Co-occurrence of ochratoxin A and citrinin in cereals from Bulgarian villages with a history of Balkan endemic nephropathy	48	6	2483	2488
500825	Lett Appl Microbiol Vazquez BI:Fente C:Franco CM:他	1997 Rapid semi-quantitative fluorimetric determination of citrinin in fungal cultures isolated from cheese and cheese factories	24	5	397	400
500827	Mycopathologia Moubasher AH:Abdel-Kader MIA:El-Kady IA	1979 Toxigenic fungi isolated from Roquefort cheese	66	3	187	190
500828	J Food Prot Yurdun T:Omurtag GZ:Ersoy O	2001 Incidence of patulin in apple juices marketed in Turkey	64	11	1851	1853

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500830	Toxicology Bunger J:Westphal G:Monnich A:他	2004 Cytotoxicity of occupationally and environmentally relevant mycotoxins	202	3	199	211
500832	Eur J Biochem Faulstich H:Wieland T	1971 Relation of toxicity and conformation of phallotoxins as revealed by optical rotatory dispersion studies	22	1	79	86
500833	Science Fabing HD:Hawkins JR	1956 Intravenous bufotenine injection in the human being	123		886	887
500834	Clin Res Kimura S:Isobe T:Sai H:他	1985 Studies on the mechanism of the development of photosensitive syndrome by pheophorbide A	33	2 PAR	655A	
500839	Ann Univ Mariae Curie Sklodowska (Med) Borzecki A:Borzecka H:Sobieszek-Dziuba U:他	2001 Vitamin E influence on selected parameters in rats after ochratoxin A intoxication	56		231	235
500840	Food Chem Toxicol Hanika C:Carlton WW:Tuite J	1983 Citrinin mycotoxicosis in the rabbit	21	4	487	493
500842	Food Addit Contam Park JC:Zong MS:Chang IM	1991 Survey of the presence of the Fusarium mycotoxins nivalenol、deoxynivalenol and T-2 toxin in Korean cereals of the 1989 harvest	8	4	447	451
500844	Int J Food Microbiol Vinas I:Dadon J:Sanchis V	1993 Citrinin-producing capacity of Penicillium expansum strains from apple packinghouses of Lerida (Spain)	19	2	153	156
500845	Biomed Environ Sci Wang ZG:Feng JN:Tong Z	1993 Human toxicosis caused by moldy rice contaminated with fusarium and T-2 toxin	6	1	65	70
500847	Chem Pharm Bull Hikino H:Ogura M:Ohta T:他	1970 Stereochemistry of grayanotoxins、asebotoxins、and rhodojaponins、toxins of Ericaceae	18	5	1071	1073
500848	Trans Stud Coll Physicians Phila Haller JS Jr	1981 Smut's dark poison: ergot in history and medicine	3	1	62	79
500849	Photomed Photobiol 木村修一	1982 フェオホーバイドによる光線過敏症	4	2	1	11
500850	J Pharmacol Exp Ther Moran NC:Dresel PE:Perkins ME:他	1954 The Pharmacological actions of andromedotoxin、an active principle from Rhododendron maximum	110		415	432
500851	J Nat Toxins Panter KE:James LF:Gardner DR	1999 Lupines、poison-hemlock and Nicotiana spp: toxicity and teratogenicity in livestock	8	1	117	134
500852	Toxicol Appl Pharmacol Floersheim GL	1975 Treatment of experimental poisoning produced by extracts of Amanita phalloides	34	3	499	508

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500853	Res Commun Chem Pathol Pharmacol Zuretti MF:Pernigotti L:Torrielli MV:他	1975 Effects of sympatholytic agents on Amanita phalloides toxicity in the rat	10	3	455	464
500854	Clin Toxicol Carlton BE:Tufts E:Girard DE	1979 Water hemlock poisoning complicated by rhabdomyolysis and renal failure	14	1	87	92
500855	Toxicon Hatano M:Hashimoto Y	1974 Properties of a toxic phospholipid in the northern blenny roe	12	3	231	236
500856	食品衛生学雑誌 武田明治:鈴木隆:大槻久美子:他	1973 食品中の残留農薬分析に関する研究(第12報) タマネギ中の残留有機塩素農薬分析法	14	6	574	579
500858	青森環境保健センター研究報告 神毅統:三浦啓徳:古川章子:他	2003 陸奥湾におけるホタテガイの下痢性貝毒調査結果		14	5	11
500859	Mycopathologia Mojtahedi H:Rabie CJ:Lubben A:他	1979 Toxic aspergilli from pistachio nuts	67	2	123	127
500861	J Am Med Assoc Miller MM	1933 Water hemlock poisoning	101	11	852	853
500862	沖縄県衛生環境研究所報 玉那覇康二:新垣和代:照屋菜津子:他	2002 沖縄県における化学物質及び自然毒による食中毒及び苦情事例 ー平成13年度ー		36	125	128
500863	Science Sugimura T	1986 Studies on environmental chemical carcinogenesis in Japan	233	4761	312	318
500865	West J Med Pond SM:Olson KR:Woo OF:他	1986 Amatoxin poisoning in northern California、1982-1983	145	2	204	209
500866	Trans R Soc Trop Med Hyg van Meurs A:Cohen A:Edelbroek P	1992 Atropine poisoning after eating chapattis contaminated with Datura stramonium (thorn apple)	86	2	221	
500867	京都府保健環境研究所年報 北野隆一:茶谷祐行:小川隆男:他	2002 炊き込みご飯中に混入したトロパンアルカロイド類の検出		47	52	55
500868	J Toxicol Clin Toxicol Kaneko H:Tomomasa T:Inoue Y:他	2001 Amatoxin poisoning from ingestion of Japanese Galerina mushrooms	39	4	413	416
500870	J Clin Microbiol Elad D:Yas-Natan E:Aroch I:他	2004 Natural Clostridium botulinum type C toxicosis in a group of cats	42	11	5406	5408
500871	N Engl J Med Wu TC:Tashkin DP:Djahed B:他	1988 Pulmonary hazards of smoking marijuana as compared with tobacco	318	ISS	347	351

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500874	Anaesthesia Nickalls RWD:Nickalls EA	1988 The first use of physostigmine in the treatment of atropine poisoning. A translation of Kleinwachter's paper entitled 'Observations on the effect of Calabar bean extract as an antidote to atropine poisoning'	43	9	776	779
500875	Arch Toxicol Homann J:Rawer P:Bleyl H:他	1986 Early detection of amatoxins in human mushroom poisoning	59	3	190	191
500877	A J Emerg Med Krenzelok EP:Jacobsen TD:Aronis JM	1996 Poinsettia exposures have good outcomes... just as we thought	14	7	671	674
500879	J Am Vet Med Assoc Schoenbaum MA:Hall SM:Glock RD:他	2000 An outbreak of type C botulism in 12 horses and a mule	217	3	365	368
500880	J Lipid Res Goto T:Holzinger F:Hagey LR:他	2003 Physicochemical and physiological properties of 5α-cyprinol sulfate、the toxic bile salt of cyprinid fish	44	9	1643	1651
500882	Proc. Jpn. Acad., Ser. B, Phys. Biol. Sci. Kitajima M:Arai Y:Takayama H:他	1998 A chemical study on "Yakatsu(冶葛)" stored in Shosoin repository Isolation and characterization of four indole alkaloids from a 1250 year-old sample of the Chinese toxic medicine	74	7	159	163
500884	山形県衛生研究所報 伊藤健:笠原義正:齋藤一夫:他	2000 チョウセンアサガオによる食中毒		33	18	22
500885	West J Med Yamada EG:Mohle-Boetani J:Olson KR:他	1998 Mushroom poisoning due to amatoxin. Northern California、Winter 1996-1997	169	6	380	384
500886	J Clin Microbiol Lindstrom M:Nevas M:Kurki J:他	2004 Type C botulism due to toxic feed affecting 52.000 farmed foxes and minks in Finland	42	10	4718	4725
500887	生化学 Kawahara Y:Une M:Yoshida T:他	2004 5α-Cyprinol is a FXR antagonist that represses expression of bile salt export pump	76	8	896	
500888	Ann Intern Med Voth EA:Schwartz RH	1997 Medicinal applications of delta-9-tetrahydrocannabinol and marijuana	126	ISS	791	798
500889	北海道獣医医師会雑誌 川本哲:伊藤めぐみ:谷川珠子:他	2004 第一胃液による乳牛のデオキシニバレノール摂取状況の検出	48	8	265	
500890	Reprod Toxicol Metzler M:Pfeiffer E:Lehmann LL:他	2002 Dual role of Phytoestrogens?	16	4	399	400
500891	Reprod Toxicol Kyselova I:Piknicova J:Boubelik M:他	2002 Effect of genistein and diethylstilbestrol on in vivo fertility of CD1 mice	16	4	414	415
500892	Reprod Toxicol Talsness CE:Grote K:Gericke C:他	2002 High dose daidzein in utero exposure decreases spermatid number in male sprague dawley offspring	16	4	423	424

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500893	Reprod Toxicol Luijten M:Thomsen AR:van den Berg JAH:他	2004 The effects of Soy-Derived Isoflavones and a high fat diet on spontaneous mammary tumor development in Tg.NK (MMTV/c-neu) mice	18	5	735	736
500894	J Environ Pathol Toxicol Oncol Plestina R:Ceovic S:Gatenbeck S:他	1990 Human exposure to ochratoxin A in areas of Yugoslavia with endemic nephropathy	10	3	145	148
500895	Z Naturforsch C J Biosci He P:Radunz A :Bader KP:他	1997 A quantitative evaluation of the lipid composition of leaves of Aleurites montana as a consequence of growth under 0.3 ppm SO2 in the atmosphere	52	5-6	325	328
500896	Nat Toxins Voss KA:Bacon CW:Norred WP:他	1996 Studies on the reproductive effects of Fusarium monilifome culture material in rats and the biodistribution of (14C) fumonisin B1 in pregnant rats	4	1	24	33
500897	Nat Toxins Marasas WFO	1995 Fumonisins: their implications for human and animal health	3	4	193	198
500898	Toxicon Vale P	2004 Is there a risk of human poisoning by azaspiracids fom shellfish harvested at the Portuguese coast?	44	8	943	947
500899	Food Addit Contam Magdalena AB:Lehane M:Moroney C:他	2003 Food safety implications of the distribution of azaspiracids in the tissue compartments of scallops (Pecten maximus)	20	2	154	160
500900	Toxicon James KJ:Moroney C:Roden C:他	2003 Ubiquitous 'benign' alga emerges as the cause of shellfish contamination responsible for the human toxic syndrome、azaspiracid poisoning	41	2	145	151
500901	Food Addit Contam Lopez de Cerain A:Gonzalez-Penas E:Jimenez AM:他	2002 Contribution to the study of ochratoxin A in Spanish wines	19	11	1058	1064
500902	Food Addit Contam Lombaert GA:Pellaers P:Chettiar M:他	2002 Survey of Canadian retail coffees for ochratoxin A	19	9	869	877
500903	Food Addit Contam Bucheli P:Taniwaki MH	2002 Research on the origin、and on the impact of post-harvest handling and manufacturing on the presence of ochratoxin A in coffee	19	7	655	665
500905	Toxicon Tubaro A:Sosa S:Carbonatto M:他	2003 Oral and intraperitoneal acute toxicity studies of yessotoxin and homoyessotoxins in mice	41	7	783	792
500906	Z Ernahrungswiss Hohler D	1998 Ochratoxin A in food and feed: occurrence、legislation and mode of action	37	1	2	12
500907	Nahrung Abd Alla EAM:Metwally MM:Mehriz AM:他	1996 Sterigmatocystin: incidence、fate and production by Aspergillus versicolor in Ras cheese	40	6	310	313
500908	Nat Toxins Ihara T:Sugamata M:Sekijima M:他	1997 Apoptotic cellular damage in mice after T-2 toxin-induced acute toxicosis	5	4	141	145

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500909	Food Addit Contam Omurtag GZ:Yazicioglu D	2001 Occurrence of T-2 toxin in processed cereals and pulses in Turkey determined by HPLC and TLC	18	9	844	849
500910	Mutat Res Sabater-Vilar M:Maas RFM:Fink-Gremmels J	1999 Mutagenicity of commercial Monascus fermentation products and the role of citrinin contamination	444	1	7	16
500911	Food Addit Contam Martins ML:Gimeno A:Martins HM:他	2002 Co-occurrence of patulin and citrinin in Portuguese apples with rotten spots	19	6	568	574
500912	Folia Microbiol (Praha) El-Kady IA:El-Maraghy SSM:Eman Mostafa M	1995 Natural occurrence of mycotoxins in different spices in Egypt	40	3	297	300
500913	Vet Rec Rafai P:Tuboly S:Bata A:他	1995 Effect of various levels of T-2 toxin in the immune system of growing pigs	136	20	511	514
500914	Food Addit Contam Ono EYS:Sasaki EY:Hashimoto EH:他	2002 Post-harvest storage of corn: effect of beginning moisture content on mycoflora and fumonisin contamination	19	11	1081	1090
500915	Food Addit Contam Shephard GS:Marasas WFO:Yazdanpanah H:他	2002 Fumonisin B1 in maize harvested in Iran during 1999	19	7	676	679
500916	Cancer Causes Control Abnet CC:Borkowf CB:Qiao YL:他	2001 Sphingolipids as biomarkers of fumonisin exposure and risk of esophageal squamous cell carcinoma in china	12	9	821	828
500917	Food Addit Contam Hlywka JJ:Bullerman LB	1999 Occurrence of fumonisin B1 and B2 in beer	16	8	319	324
500918	Mutat Res Turner PC:Nikiema P:Wild CP	1999 Fumonisin contamination of food: progress in development of biomarkers to better assess human health risks	443	1-2	81	93
500919	Pharmacol Res Commun Mazzanti G:Tita B:Bolle P:他	1988 A comparative study of behavioural and autonomic effects of atropine and Atropa belladonna	20	Suppl	49	53
500920	Toxicon Asakawa M:Noguchi T:Seto H:他	1990 Structure of the toxin isolated from carp (Cyprinus carpio) bile	28	9	1063	1069
500922	日本薬学会110年会講演要旨集 増田達樹:伊藤順子:宮坂直樹:他	1990 発癌性マイコトキシン Luteoskyrin の生体内動態と毒性発現に関する検討		3	73	
500923	薬学雑誌 松永民秀:渡辺和人:吉村英敏:他	1998 市販の大麻種子中のカンナビノイドの定量とその薬毒理作用	118	9	408	414
500924	J Toxicol Clin Toxicol Jaeger A:Jehl F:Flesch F:他	1993 Kinetics of amatoxins in human poisoning: Therapeutic implications	31	1	63	80

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500925	J Toxicol Clin Toxicol Feinfeld DA:Mofenson HC:Caraccio T:他	1994 Poisoning by amatoxin-containing mushrooms in suburban New York—report of four cases	32	6	715	721
500926	MMWR Morb Mortal Wkly Rep	1995 Jimson weed poisoning—Texas、New York、and California、1994	44	3	41	44
500929	Proc Jpn Assoc Mycotoxicol Ohtani K:Kawamura O:Kajii H:他	1985 Development of enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA) for T-2 toxin using monoclonal antibodies		22	31	32
500931	Poult Sci Nelson TS:Kirby LK:Beasley JN:他	1985 The effect of drying method and storage time on citrinin activity in corn	64	3	464	468
500932	Poult Sci Nelson TS:Beasley JN:Kirby LK:他	1985 Effect of heat drying of corn on the extraction of citrinin	64	5	866	870
500933	Zentralbl Mikrobiol Abdel-Hafez AII:Saber SM	1993 Mycoflora and mycotoxin of hazelnut (Corylus avellana L.) and walnut (Juglans regia L.) seeds in Egypt	148	2	137	147
500934	Proc Chin Acad Med Sci Peking Union Med Coll Lei H	1987 Future research priorities of gossypol in the field of fertility regulation	2	2	90	92
500936	日本食品衛生学会回学術講演会講演要旨集 上村尚:西島基弘:安田和男:他	1984 麦類及び豆類の Zearalenone 汚染			21	
500937	Arch Belg Ueno Y:Muto A:Kobayashi J	1984 Toxicological properties of T-2 toxin and related trichothecenes	Suppl		160	172
500938	Toxicol Lett Pieters MN:Bakker M:Slob W	2004 Reduced intake of deoxynivalenol in The Netherlands: a risk assessment update	153	1	145	153
500939	Toxicol Lett Schneider E:Curtui V:Seidler C:他	2004 Rapid methods for deoxynivalenol and other trichothecenes	153	1	113	121
500940	Toxicol Lett Visconti A:Haidukowski EM:Pascale M:他	2004 Reduction of deoxynivalenol during durum wheat processing and spaghetti cooking	153	1	181	189
500941	Toxicol Lett Tutelyan VA	2004 Deoxynivalenol in cereals in Russia	153	1	173	179
500943	IARC Sci Publ Hald B	1991 Ochratoxin A in human blood in European countries		115	159	164
500944	Toxicon Smith BJ:Holladay SD:Blaylock BL	1994 Hematopoietic alterations after exposure to T-2 mycotoxin	32	9	1115	1123

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500946	Int J Food Microbiol Cabanes FJ:Accensi F:Bragulat MR:他	2002 What is the source of ochratoxin A in wine?	79	3	213	215
500947	Food Addit Contam Jorgensen K:Bilde B	1996 Occurrence and estimated dietary intakes of ochratoxin A in European countries—results from a SCOOP project	13	Suppl	15	16
500948	Food Addit Contam Furlong EB:Soares LMV:Lasca CC:他	1995 Mycotoxins and fungi in wheat stored in elevators in the state of Rio Grande do Sul、Brazil	12	5	683	688
500949	IARC Sci Publ Frank HK	1991 Risk estimation for ochratoxin A in European countries		115	321	325
500950	IARC Sci Publ van Egmond HP	1991 Worldwide regulations for ochratoxin A		115	331	336
500951	IARC Sci Publ Herrman JL	1991 Risk evaluation of ochratoxin A by the joint FAO/WHO expert committee on food additives		115	327	329
500952	IARC Sci Publ Frank HK	1991 Food contamination by ochratoxin A in Germany		115	77	81
500953	Food Addit Contam Tanaka T:Hasegawa A:Matsuki Y:他	1985 A survey of the occurrence of nivalenol、deoxynivalenol and zearalenone in foodstuffs and health foods in Japan	2	4	259	265
500956	Fundam Appl Toxicol Ryu JC:Ohtsubo K:Izumiyama N:他	1988 The acute and chronic toxicities of nivalenol in mice	11	1	38	47
500957	Cancer Detect Prev Hsia CC:Wu JL:Lu XQ:他	1988 Natural occurrence and clastogenic effects of nivalenol、deoxynivalenol、3-acetyl-deoxynivalenol、15-acetyl-deoxynivalenol、and zearalenone in corn from a high-risk area of esophageal cancer	13	2	79	86
500958	J Environ Pathol Toxicol Oncol Wang H:Wei H:Ma J:他	2000 The fumonisin B1 content in corn from North China、a high-risk area of esophageal cancer	19	1-2	139	141
500959	Vet Rec Gulland FM:Haulena M:Fauquier D:他	2002 Domoic acid toxicity in Californian sea lions (Zalophus californianus): clinical signs、treatment and survival	150	15	475	480
500960	Food Addit Contam MacDonald S:Prickett TJ:Wildey KB:他	2004 Survey of ochratoxin A and deoxynivalenol in stored grains from the 1999 harvest in the UK	21	2	172	181
500961	Food Addit Contam Shephard GS:Sewram V	2004 Determination of the mycotoxin fumonisin B1 in maize by reversed-phase thin-layer chromatography: a collaborative study	21	5	498	505
500962	Food Addit Contam de Castro MFPM:Shephard GS:Sewram V:他	2004 Fumonisins in Brazilian corn-based foods for infant consumption	21	7	693	699

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500963	Food Addit Contam Rosa CAR:Magnoli CE:Fraga ME:他	2004 Occurrence of ochratoxin A in wine and grape juice marketed in Rio de Janeiro、Brazil	21	4	358	364
500964	Br Poult Sci Danicke S:Ueberschar KH:Valenta H:他	2004 Effects of graded levels of Fusarium-toxin-contaminated wheat in Pekin duck diets on performance、health and metabolism of deoxynivalenol and zearalenone	45	2	264	272
500965	J Anim Sci Hughes DM:Gahl MJ:Graham CH:他	1999 Overt signs of toxicity to dogs and cats of dietary deoxynivalenol	77	3	693	700
500966	J Agric Food Chem Suzuki T:Noro T:kawamura Y:他	2002 Decontamination of aflatoxin-forming fungus and elimination of aflatoxin mutagenicity with electrolyzed NaCl anode solution	50	3	633	641
500967	J Vet Diagn Invest Galey FD:Holstege DM:Fisher EG	1992 Toxicosis in dairy cattle exposed to poison hemlock (Conium maculatum) in hay: isolation of Conium alkaloids in plants、hay、and urine	4	1	60	64
500968	Prod Sci Piva G:Morlacchini M:Pietri A:他	1997 Toxicity of dietary scopolamine and hyoscyamine in pigs	51	1-3	29	39
500969	J Assoc Off Anal Chem Shannon GM:Peterson RE:Shotwell OL	1985 Rapid screening method for detection of deoxynivalenol	68	6	1126	1128
500970	Toxicol Pharmacol Mos L	2001 Domoic acid: a fascinating marine toxin	9	3	79	85
500971	Food Chem Toxicol Jeffery B:Barlow T:Moizer K:他	2004 Amnesic shellfish poison	42	4	545	557
500972	Food Chem Toxicol Eriksen GS:Pettersson H:Lundh T	2004 Comparative cytotoxicity of deoxynivalenol、nivalenol、their acetylated derivatives and de-epoxy metabolites	42	4	619	624
500973	J Ir Med Assoc Devitt RE:Chater E:Colbert DS	1970 Ergot poisoning	63	402	441	445
500974	Food Addit Contam Hadiani MR:Yazdanpanah H:Ghazi-Khansari M:他	2003 Survey of the natural occurrence of zearalenone in maize from northern Iran by thin-layer chromatography densitometry	20	4	380	385
500975	Food Addit Contam Park JW:Kim EK:Shon Dh:他	2002 Occurrence of zearalenone in Korean barley and corn foods	19	2	158	162
500976	Food Addit Contam Curtui VG:Gareis M:Usleber E:他	2001 Survey of Romanian slaughtered pigs for the occurrence of mycotoxins ochratoxins A and B、and zearalenone	18	8	730	738
500977	Toxicol Pathol Tryphonas L:Truelove J:Nera E:他	1990 Acute neurotoxicity of domoic acid in the rat	18	1 Pt 1	1	9

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500978	Food Addit Contam Weigert P:Gilbert J:Patey AL:他	1997 Analytical quality assurance for the WHO GEMS/Food-EURO programme--results of 1993/94 laboratory proficiency testing	14	4	399	410
500979	Folia Microbiol (Praha) Hasan HAH	1998 Studies on toxigenic fungi in roasted foodstuff (salted seed) and halotolerant activity of emodin-producing Aspergillus wentii	43	4	383	391
500980	Undersea Hyperd Med Clark RF:Williams SR:Nordt SP:他	1999 A review of selected seafood poisonings	26	3	175	184
500981	J Pharm Sci Shoji N:Umeyama A:Takemoto T:他	1984 Serotonergic receptor antagonist from Nandina domestica Thunberg	73	ISS	568	570
500982	Nat Toxins Yuwai KE:Rao KS:Singh K:他	1994 Occurrence of nivalenol、deoxynivalenol、and zearalenone in imported cereals in Papua、New Guinea	2	1	19	21
500983	J Food Prot Martins ML:Martins HM	2001 Determination of deoxynivalenol in wheat-based breakfast cereals marketed in Portugal	64	11	1848	1850
500984	Food Addit Contam Wetter MT:Trucksess MW:Roach JA:他	1999 Occurrence and distribution of Fusarium graminearum and deoxynivalenol in sweet corn ears	16	3	119	124
500985	Food Addit Contam Omurtag GZ:Beyoglu D	2003 Occurrence of deoxynivalenol (vomitoxin) in processed cereals and pulses in Turkey	20	4	405	409
500986	J AOAC Int Bennett GA:Nelsen TC:Miller BM	1994 Enzyme-linked immunosorbent assay for detection of zearalenone in corn、wheat、and pig feed: collaborative study	77	6	1500	1509
500987	Food Addit Contam Yumbe-Guevara BE:Imoto T:Yoshizawa T	2003 Effects of heating procedures on deoxynivalenol、nivalenol and zearalenone levels in naturally contaminated barley and wheat	20	12	1132	1140
500988	Toxicon Grovel O:Pouchus YF:Verbist JF	2003 Accumulation of gliotoxin、a cytotoxic mycotoxin from Aspergillus fumigatus、in blue mussel (Mytilus edulis)	42	3	297	300
500989	Regul Toxicol Pharmacol Verger P:Garnier-Sagne I:Leblanc JC	1999 Identification of risk groups for intake of food chemicals	30	2 Pt 2	S103	S108
500990	J AOAC Int Yasumoto T:Fukui M:Sasaki K:他	1995 Determinations of marine toxins in foods	78	2	574	582
500991	Nat Toxins Zhou Z-H:Komiyama M:Terao K:他	1994 Effects of pectenotoxin-1 on liver cells in vitro	2	3	132	135
500992	Food Addit Contam Scott PM	1997 Multi-year monitoring of Canadian grains and grain-based foods for trichothecenes and zearalenone	14	4	333	339

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
500993	Food Addit Contam Shim WB:Kim JC:Seo JA:他	1997 Natural occurrence of trichothecenes and zearalenone in Korean and imported beers	14	1	1	5
500994	Nahrung Abd Alla E-SAM	1997 Zearalenone: incidence、toxigenic fungi and chemical decontamination in Egyptian cereals	41	6	362	365
500995	Food Addit Contam Krska R:Pettersson H:Josephs RD:他	2003 Zearalenone in maize: stability testing and matrix characterisation of a certified reference material	20	12	1141	1152
500996	Food Addit Contam Malmauret L:Parent-Massin D:Hardy JL:他	2002 Contaminants in organic and conventional foodstuffs in France	19	6	524	532
500997	Can J Surg Tanner JR	1987 St.Anthony's fire、then and now: a case report and historical review	30	4	291	293
500998	Nat Toxins Heaney RK:Fenwick GR	1995 Natural Toxins ans Protective Factors in Brassica Species、Including Rapeseed	3	4	233	237
500999	J Anim Sci Bacon CW	1995 Toxic endophyte-infected tall fescue and range grasses: historic perspectives	73	3	861	870
501000	Environ. Toxicol. Pharmacol Foster WG:Hughes CL:Chan S:他	2002 Human developmental exposure to endocrine active compounds	12	2	75	81
501001	Mycologia Enjalbert F:Cassanas G:Guinchard C:他	1996 Toxin composition of Amanita phalloides tissues in relation to the collection site	88	6	909	921
501002	J Anim Sci Porter JK	1995 Analysis of endophyte toxins: fescue and other grasses toxic to livestock	73	3	871	880
501003	Equine Vet J McCarthy HE:French NP:Edwards GB:他	2004 Equine grass sickness is associated with low antibody levels to Clostridium botulinum: a matched case-control study	36	2	123	129
501005	Avian Dis Grizzle JM:Kersten DB:McCracken MD:他	2004 Determination of the acute 50% lethal dose T-2 toxin in adult bobwhite quail: additional studies on the effect of T-2 mycotoxin on blood chemistry and the morphology of internal organs	48	2	392	399
501006	Endocrinol Exp Michajlovskij N:Sedlak J:Kostekova O	1970 Content of naturally occurring goitrogens in boiled plants of Brassica family	4	1	51	62
501007	Planta Med Kiryakov HG:Iskrenova E:Kuzmanov B:他	1981 Alkaloids from Corydalis bulbosa: structure of corydione	43	ISS	51	55
501008	J Toxicol Clin Toxicol Pereira CAL:Nishioka S de A	1994 Poisoning by the use of Datura leaves in a homemade toothpaste	32	3	329	331

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501010	J Toxicol Clin Toxicol Hulting J:Green K:Persson H	1985 Amanitin poisoning from galerina marginata. Clinical and laboratory findings in the first swedish case	23	4-6	428	429
501011	CRC Crit Rev Food Sci Nutr Lorenz K	1979 Ergot on cereal grains	11	4	311	354
501012	Neurotoxicol Teratol Flynn KM:Ferguson SA:Delclos KB:他	2001 Effects of genistein exposure on sexually dimorphic behaviors in rats	23	3	296	
501014	Toxicon Enjalbert F:Gallion C:Jehl F:他	1993 Toxin content、phallotoxin and amatoxin composition of Amanita phalloides tissues	31	6	803	807
501016	N S Arch Pharmakol Frimmer M	1971 Toxic cyclopeptides of the toadstool Amanita phalloides and related species	269		152	163
501017	Chem Pharm Bull (TOKYO) Kosuge T:Tsuji K:Hirai K:他	1985 Isolation of a new toxin prosurugatoxin from the toxic japanese ivory shell Babylonia-Japonica	33	7	2890	2895
501020	Toxicon Ito E:Satake M:Yasumoto T	2002 Pathological effects of lyngbyatoxin A upon mice	40	5	551	556
501022	Toxicon Lefebvre KA:Bargu S:Kieckhefer T:他	2002 From sanddabs to blue whales: the pervasiveness of domoic acid	40	7	971	977
501023	Indian J Med Res Krishnamachari KAVRK:Bhat RV	1976 Poisoning by ergoty bajra (pearl millet) in man	64	11	1624	1628
501024	Regul Toxicol Pharmacol Kuiper-Goodman T:Scott PM:Watanabe H	1987 Risk assessment of the mycotoxin zearalenone	7	3	253	306
501025	J Basic Microbiol Volkl A:Vogler B:Schollenberger M:他	2004 Microbial detoxification of mycotoxin deoxynivalenol	44	2	147	156
501026	Int J Food Microbiol Olsson J:Borjesson T:Lundstedt T:他	2002 Detection and quantification of ochratoxin A and deoxynivalenol in barley grains by GC-MS and electronic nose	72	3	203	214
501027	Food Addit Contam Yoshizawa T:Jin YZ	1995 Natural occurrence of acetylated derivatives of deoxynivalenol and nivalenol in wheat and barley in Japan	12	5	689	694
501028	Food Addit Contam Pettersson H:Hedman R:Engstrom B:他	1995 Nivalenol in Swedish cereals-occurrence、production and toxicity towards chickens	12	3	373	376
501029	Poult Sci Hedman R:Pettersson H:Engstrom B:他	1995 Effects of feeding nivalenol-contaminated diets to male broiler chickens	74	4	620	625

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501031	Vet Res Commun Poletti R:Milandri A:Pompei M	2003 Algal biotoxins of marine origin: new indications from the European Union	27	Suppl	173	182
501032	Cryptogam., Mycol Badalyan SM:Rapior S:Le Quang J:他	1995 Investigation of fungal metabolites and acute toxicity studies from fruit-bodies of Hypholoma species (Strophariaceae)	16	2	79	84
501033	J Pharm Pharmacol Carey FM:Lewis JJ:MacGregor JL:他	1959 Pharmacological and chemical observations on some toxic nectars	11		269	274
501034	Toxicon Hawkins PR:Chandrasena NR:Jones GJ:他	1997 Isolation and toxicity of Cylindrospermopsis raciborskii from an ornamental lake	35	3	341	346
501035	Biol Res Lagos N	1998 Microalgal blooms: A global issue with negative impact in Chile	31	4	375	386
501036	Toxicon Nagai H:Yasumoto T:Hokama Y	1996 Aplysiatoxin and debromoaplysiatoxin as the causative agents of a red alga Gracilaria coronopifolia poisoning in Hawaii	34	7	753	761
501037	Phytochem Anal Anderton N:Cockrum PA:Colegate SM:他	1999 Assessment of potential for toxicity of Phalaris spp. via alkaloid content determination: P. coerulescens、a case example	10	3	113	118
501038	奈良県衛生研究所年報 岡山明子:青木喜也:田原俊一郎:他	1995 雑煮に混入したトロパンアルカロイドの検出		29	45	47
501039	奈良県衛生研究所年報 岡山明子:田原俊一郎:氏家英司:他	1996 キノコ中毒におけるムスカリンの分析について		30	71	74
501040	Mycologia Beutler JA:Vergeer PP	1980 Amatoxins in American mushrooms: Evaluation of the Meixner test	72	6	1142	1149
501042	Nutr Clin Pract Klimberg VS	1998 Nutrition and breast cancer	13	6	263	266
501043	Neurotoxicology Hiribi L :Nagy L:Kovacs A:他	1997 Toxicity of the cylindrospermopsin produced by cyanobacteriacylindro-spermopsis raciborskii	18	3	896	
501044	Int J Toxicol Cosmetic Ingredient Review Expert Panel	2001 Final report on the safety assessment of Hydrogenated Cottonseed Oil、Cottonseed (Gossypium) Oil、Cottonseed Acid、Cottonseed Glyceride、and Hydrogenated Cottonseed Glyceride	20	Suppl	21	29
501045	Phycologia Falconer IR	1996 Potential impact on human health of toxic cyanobacteria	35	6 SUP	6	11
501046	Phycologia Sivonen K	1996 Cyanobacterial toxins and toxin production	35	6 SUP	12	24

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501047	Biochem Faulstich H:Buku A:Bodenmuller H:他	1980 Virotoxins: Actin-binding cyclic peptides of Amanita virosa mushrooms	19	14	3334	3343
501048	Vet Hum Toxicol Chan TY:Chan JG:Tomlinson B:他	1994 Poisoning by Chinese herbal medicines in Hong Kong: A hospital-based study	36	6	546	547
501049	J Assoc Off Anal Chem Stubblefield RD:Greer JI:Shotwell OL	1988 Liquid chromatographic method for determination of citreoviridin in corn and rice	71	4	721	724
501051	N Z Med J Hudson MJ	1973 Acute atropine poisoning from ingestion of Datura rosei	77	491	245	248
501052	Morb Mortal Wkly Rep Rogerson CT:Rhodes P:Sutton A:他	1975 Fatal mushroom poisonings-New York City	24	51	429	430
501054	Pediatrics Mofenson HC:Greensher J	1974 The unknown poison	54	3	336	342
501055	Pediatrics Lampe KF	1974 Systemic plant poisoning in children	54	3	347	351
501056	Lancet Rottanburg D:Ben-Arie O:Robins AH:他	1982 Cannabis-associated psychosis with hypomanic features	2	ISS	1364	1366
501057	Med J Austral Pearn J	1981 Clinical hyoscine poisoning with alkaloids of the native corkwood、Dubosia	2		422	423
501058	J Pediatr Edwards N	1983 Local toxicity from a poinsettia plant: case report	102	ISS	404	405
501059	Int J Leg Med Johansson B:Eriksson A:Ornehult L	1991 Human fatalities caused by wasp and bee stings in Sweden	104	2	99	103
501061	FEBS Lett Wojcikiewicz RJH:Nahorski SR	1989 Phosphoinositide hydrolsis in permeabolized SH-SY5Y human neuroblastoma cells is inhibited by mastoparan	247	2	341	344
501062	Eur J Pharmacol Yamada S:Ushijima H:Nakayama K:他	1988 Intracerebroventricular injection of neosurugatoxin induces a prolonged blockade of brain nicotinic acetylcholine receptors	156	2	279	282
501063	J Biol Chem Weingarten R:Ransnas L:Mueller H:他	1990 Mastoparan interacts with the carboxyl terminus of the α subunit of Gi	265	19	11044	11049
501064	Biochem J Ho C-L:Hwang L-L	1991 Structure and biological activities of a new mastoparan isolated from the venom of the hornet Vespf basalis	274	2	453	456

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501065	Biochem Pharmacol Klinker JF:Laugwitz K-L:Hagelueken A:他	1996 Activation of GTP formation and high-affinity GTP hydrolysis by mastoparan in various cell membranes: G-protein activation via nucleoside diphosphate kinase、a possible general mechanism of	51	3	217	223
501066	Arch Toxicol Kulling SE:Rosenberg B:Jacobs E:他	1999 The phytoestrogens coumoestrol and genistein induce structural chromosomal aberrations in cultured human peripheral blood lymphocytes	73	1	50	54
501067	青森県環境保健センター研究報告 中谷実:葛西恵里子:今井美代子:他	2001 平成11年度陸奥湾産ホタテガイの下痢性貝毒等成分調査		11	53	58
501068	J Sci Food Agric Jones AE:Price KR:Fenwick GR	1989 Development and application of a high-performance liquid chromatographic method for the analysis of phytoestrogens	46	3	357	364
501069	Jpn J Pharmacol Kobayashi M:Kondo S:Kajiwara A:他	1986 The mechanism of cardiotoxic effects of maitotoxin from poisonous fish on cardiac muscle	40	Suppl	235	
501070	Planta Med Malak SHA	1976 Occurence of phallotoxins in American collections of Amanita virosa	29	ISS	80	85
501071	Lloydia Yocum RR:Simons DM	1977 Amatoxins and phallotoxins in amanita species of the Northeastern United States	40	ISS	178	190
501072	Food Chem Toxicol Ueno Y:Maki S:Lin J:他	1998 A 4-year study of plasma ochratoxin A in a selected population in Tokyo by immunoassay and immunoaffinity columnlinked HPLC	36	5	445	449
501073	J Sci food Agric Sones K:Heaney RK:Fenwick GR	1984 Glucosinolates in Brassica vegetables: Analysis of 27 cauliflower cultivars(Brassica oleracea L. var. botrytis subvar. Cauliflora DC)	35	7	762	766
501074	Toxicol Appl Pharmacol Ueno I:Horiuchi T:Enomoto M	1980 Effects of chemical agents on the hepatotoxicity and hepatic accumulation of luteoskyrin	52	2	278	284
501075	Clin Toxicol Ritzlin RS:Gupta RC:Lundberg GD	1979 Delta-9-tetrahydrocannabinol levels in street samples of marijuana and hashish: correlation to user reactions	15	ISS	45	53
501076	Toxicon Stone RP:Collins WJ	1971 Euphorbia pulcherrima: Toxicity to rats	9	3	301	302
501077	Turk J Pediatr Kurkcuoglu M	1970 Henbane (Hyoscyamus niger) poisonings in the vicinity of Erzurum	12	1	48	56
501078	Jpn J Exp Med Ueno Y:Ueno I	1972 Isolation and acute toxicity of citreoviridin、a neurotoxic mycotoxin of Penicillium citreo-viride Biourge	42	2	91	105
501079	Proc R Soc Med Paton WDM	1973 Cannabis and its problems	66	ISS	718	721

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501080	Br J Clin Pract Paydas S:Kocak R:Erturk F:他	1990 Poisoning due to amatoxin-containing Lepiota species	44	11	450	453
501081	Toxicology Moingeon PH:Bidart JM:Alberici GF:他	1984 In vivo modulation of muscarine receptors in rat brain by acute lead intoxication	31	2	135	142
501082	Clin Toxicol Runyon R	1980 Toxicity of fresh poinsettia (Euphorbia pulcherrima) to Sprague-Dawley rats	16	2	167	173
501086	栃木衛研所報 吉沢朋子:磯恵美子:鈴木洋一	1988 トリコテセン系マイコトキシンのビール麦汚染について(第2報)		18	85	87
501087	栃木衛研所報 磯恵美子:小池静司:岩船公彦	1990 トリコテセン系マイコトキシンによるビール麦汚染について(第4報)		20	80	82
501088	Toxicologist Sakurai K:Todaka E:Miyakawa H:他	2002 Fetal hormonal condition is affected by phytoestrogen transferred from mother	66	1-S	344	345
501089	Toxicologist Han J:Fielden M:Samy SM:他	2002 Effects of gestational and lactational exposure to genistein on ovulation and egg fertilizing ability in mice	66	1-S	377	
501090	Environ Sci Sakurai K:Miyakawa H:Uzuki M:他	2002 Relationship between fetal hormonal condition and phytoestrogens transferred from the mother	9	2-3	106	
501091	Environ Sci Sakurai K:Asaoka K:Teraoka M:他	2001 Transplacental exposure to phytoestrogens in humans and monkeys	8	2-3	118	
501093	Environ Toxicol Teneva I:Asparuhova D:Dzhambazov B:他	2003 The freshwater cyanobacterium Lyngbya aerugineo-coerulea produces compounds toxic to mice and to mammalian and fish cells	18	1	9	20
501094	Fish Sci(Tokyo) Shiomi K:Miyauchi K:Shimakura K:他	1997 Purification and properties of a proteinaceous toxin newly found in the roe of lamprey Lampetra japonica	63	1	142	146
501095	J Agric Food Chem Maragos CM:Plattner RD	2002 Rapid fluorescence polarization immunoassay for the mycotoxin deoxynivalenol in wheat	50	7	1827	1832
501096	J Agric Food Chem Zollner P:Jodlbauer J:Kleinova M:他	2002 Concentration levels of zearalenone and its metabolites in urine、muscle tissue、and liver samples of pigs fed with mycotoxin-contaminated oats	50	9	2494	2501
501097	Jpn J Pharmacol Ohizumi Y:Kajiwara A:Yasumoto T:他	1983 Ca-dependent excitatory action of maitotoxin、one of the principal toxin isolated from poisonous fishes in tropical seas、in the guinea-pig vas deferens	33	Suppl	171	
501098	J Pharm Pharmacol Shellard EJ:Sarpong K	1969 The alkaloids of the leaves of Mitragyna inermis (Willd.) O. Kuntze	21	Suppl	113S	117S

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501099	Proc Soc Exp Biol Med Dasler W	1955 Production of experimental lathyrism in the rat by two different beta-substituted ethylamines	88		196	199
501100	Proc Soc Exp Biol Med Dasler W	1956 Protective action of glutamine、cysteine and other substances against experimental lathyrism in the rat	91		554	557
501101	J Toxicol Clin Toxicol Rottinghaus D:Kurta D:Krenzelok EP:他	2003 Pontine stroke after acute white hellebore poisoning	41	5	721	
501103	J Emerg Nurs Feenaghty DA	1982 Atropine poisoning: jimsonweed	8	3	139	141
501104	Mycopathologia Haines JH:Lichstein E:Glickerman D	1986 A fatal poisoning from an amatoxin containing Lepiota	93	1	15	17
501105	Environ Toxicol Seawright AA:Nolan CC:Shaw GR:他	1999 The oral toxicity for mice of the tropical cyanobacterium Cylindrospermopsis raciborskii (Woloszynska)	14	1	135	142
501107	Environ Toxicol Eaglesham GK:Norris RL:Shaw GR:他	1999 Use of HPLC-MS/MS to monitor cylindrospermopsin、a blue-green algal toxin、for public health purposes	14	1	151	154
501108	Food Chem Toxicol Kovatsis A:Flaskos J:Nikolaidis E:他	1993 Toxicity study of the main alkaloids of Datura ferox in broilers	31	11	841	845
501110	J R Soc Promot Health Southgate HJ:Egerton M:Dauncey EA	2000 Lessons to be learned: a case study approach. Unseasonal severe poisoning of two adults by deadly nightside (Atropa belladonna)	120	2	127	130
501112	Marihuana Med Cozens DD:Nahas GG:Harvey D	1999 Prenatal exposure to cannabis and fetal development			431	440
501113	Vet Hum Toxicol Klug S:Saleem G:Honcharuk L:他	1990 Toxicity potential of poinsettia、is the plant really toxic?	32	4	368	
501114	Vet Hum Toxicol Magras IN:Kotsaki-Kovatsi VP:Kovatsis A:他	1993 Teratogenic effects of a mixture of scopolamine and hyoscyamine in chick embryos	35	5	434	435
501115	Vet Hum Toxicol Guharoy SR:Barajas M	1991 Atropine intoxication from the ingestion and smoking of jimson weed (Datura stramonium)	33	6	588	589
501116	Hum Toxicol Trabattoni G:Visintini D:Terzano GM:他	1984 Accidental poisoning with deadly nightshade berries: a case report	3	6	513	516
501117	Mutat Res Ouanes Z:Abid S:Ayed I:他	2003 Induction of micronuclei by Zearalenone in Vero monkey kidney cells and in bone marrow cells of mice: protective effect of Vitamin E	538	1-2	63	70

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
501118	J Nat Prod Schun Y:Cordell GA:Garland M	1986	49	ISS	483	487 21-Oxogelsevirine、a new alkaloid from Gelsemium rankinii
501121	Biomed Environ Sci Sun XM:Zhang XH:Wang HY:他	2002	15	2	145	152 Effects of sterigmatocystin、deoxynivalenol and aflatoxin G1 on apoptosis of human peripheral blood lymphocytes in vitro
501122	Arch Anim Nutr Danicke S:Valenta H:Doll S	2004	58	2	169	180 On the toxicokinetics and the metabolism of deoxynivalenol (DON) in the pig
501125	Aust Vet J Zelski RZ:Rothwell JT:Moore RE:他	1995	72	10	394	398 Gossypol toxicity in preruminant calves
501126	Aust Vet J Lean IJ	2001	79	4	262	264 Association between feeding perennial ryegrass (Lolium perenne cultivar Grasslands impact) containing high concentrations of ergovaline、and health and productivity in a herd of lactating dairy cows
501127	Onderstepoort J Vet Res Schneider DJ:Miles CO:Garthwaite I:他	1996	63	2	97	108 First report of field outbreaks of ergot-alkaloid toxicity in South Africa
501128	J Am Med Assoc Nelson DA	1954	156	1	33	35 Accidental poisoning by Veratrum japonicum
501130	Detect Prev Ames BN:Profet M:Gold LS	1991	0	0	29	50 Dietary carcinogens and mutagens from plants
501131	Q Rev Biol Barrow MV:Simpson CF:Miller EJ	1974	49	2	101	128 Lathyrism: A review
501133	Bull Jpn Soc Sci Fish 辻邦郎:福山俊典:平井孝一:他	1986	52	2	319	322 最近の静岡県我入道産バイ貝の毒性および毒性分
501136	J Toxicol Clin Toxicol Fogh A:Kulling P:Wickstrom E	1983	20	ISS 2	175	179 Veratrum alkaloids in sneezing powder a potential danger
501137	Mutat Res Domon OE:McGarrity LJ:Bishop M:他	2001	474	1-2	129	137 Evaluation of the genotoxicity of the phytoestrogen、coumestrol、in AHH-1 TK+/- human lymphoblastoid cells
501138	J Nat Prod Zhang JS:Xu RS:Quirion JC	1988	51	ISS	1241	1242 Decumbensine and epi-α-decumbensine: two new alkaloids isolated from Corydalis decumbens
501139	Hortscience Eddy R:Whipker B:Hammer PA	1993	28	5	190	Determination of causal relationship between phosphorus and bract edge burn of poinsettias
501140	Planta Med Oh H:Mun YJ:Im SJ:他	2002	68	9	832	833 Cucurbitacins from Trichosanthes Kirilowii as the inhibitory components on tyrosinase activity and melanin synthesis of B16/F10 melanoma cells

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501141	J Environ Pathol Toxicol Oncol Mori H:Sugie S:Suzui N:他	1997 Inhibitor effects of naturally-occurring and related synthetic organosulfur compounds on genotoxicity in hepatocytes and carcinogenesis of the digestive organs	16	4	281	285
501142	Aust Vet J Hough I	1997 Rhododendron poisoning in a western grey kangaroo	75	3	174	175
501201	Jpn J Forensic Toxicol Ishiwata T:Takai K:Okada H:他	2004 Analysis of phosphous-containing amino acid-type herbicides and their metabolites in human blood by extraction with a titansphere TM TiO column and capillary electrophoresis	22	1	7	12
501202	Jpn J Toxicol Environ Health Mori H:Sato T:Nagase H	1998 Analytical method for screening and quantification of phosphated amino acid herbicides in the serum of acutely intoxicated patients using HPLC with a Diode-Array-Detector	44	4	245	255
501203	Lipids Keeler RF	1978 Cyclopamine and related steroidal alkaloid teratogens: Their occurrence、structural relationship、and biologic effects	13	10	708	715
501205	Jpn J Pharmacol Suzuki-Nishimura T:Uchida MK	2002 Prostaglandin D2 generation by rat peritoneal mast cells stimulated with Datura stramonium agglutinin and its inhibition by haptenic sugar and wheat germ agglutinin	90		77	80
501206	Natural Medicines Ohta T:Matsuda M:Yanagiya Y:他	1995 Ibotenic acid from the mushroom tricholoma muscarium	49	3	354	
501207		Cタイプの中毒を起こす毒きのこ　ー幻覚・精神錯乱状態、20分後に発症ー				
501208	Jpn J Hyg Sreeja VG:Nagahara N:Li Q:他	2002 Neural and hepatic cellular toxicity of linamarin and potassium cyanide	57	1	348	
501209	日救急医会誌 高沢研丞:梅澤和夫:関知子:他	2004 重篤な循環器症状を呈したバイケイソウ中毒の治療経験	15		185	189
501210		動植物に含まれる毒性物質の所在と症状				
501211		日本北西部における急性脳症の現況			1	3
501212		幻覚発動薬				
501213		担子菌毒				
501214	「総合脳」公募班研究成果報告会 坪川宏	2002 細胞内シグナル伝達系による中枢ニューロンの興奮性調節メカニズム				

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501215	上原記念生命科学財団研究報告集 馬場良泰	2003 酸素阻害剤を目指した分子メジャーの開発		17	66	71
501216		Protein Kinase Activators; Mezerein			23	28
501217	築地魚市場おさかなニュース	エゾワスレガイ				
501218	MMWR Centers for Disease Control and Prevention (CDC)	2004 Outbreak of aflatoxin poisoning eastern and central provinces、Kenya、January-July 2004	53	34	790	793
501220	J Toxicol Environ Health Philbrick DJ:Hill DC:Alexander JC	1981 Influence of dose level and methionine intake on the effects of linamarin administration to rats	8	1-2	159	168
501222	レッドデータブック	ニオウシメジ				
501800	日本救急医学会雑誌 坂手洋二:井原歳夫:金澤源:他	1998 集団発生をみたアオブダイ喫食によるパリトキシン中毒	9	9	449	
501801	日本透析医学会雑誌 齋藤まどか:長井一高:鈴木一恵:他	鯉の胆嚢生食による急性腎不全の一例	34	Suppl	960	
501802	日本病理学会会誌 Terao K:Ito E	1994 Electron microscopic studies on experimental poisoning in mice induced by cylindrospermopsin isolated from blue-green alga Umezakia natans	83	1	225	
501804	日本獣医学会127回講演要旨集 山田学:古林与志安:古岡秀文:他	1999 牛イヌサフラン中毒症の病理発生機序の解析　ーモデル動物の検討及びコルヒチン毒性との比較ー			63	
501805	日本総合診療医学会会誌 吉田功:野村英樹:武藤寿生:他	2001 本邦におけるアマニタトキシン中毒の検討	6	1	14	
501806	食品衛生研究 Plattner RD:Proctor RH:Butchko RA:他	2003 Fusarium verticullioides におけるフモニシンの生合性を理解するための遺伝的分子学的アプローチ	53	5	20	21
501807	青森県環境保健センター研究報告 山本明美:神毅統:三浦啓徳:他	2003 記憶喪失性貝毒検査における不確かさの算出		14	12	18
501808	法中毒 鎌田徹:西川眞弓:片木宗弘:他	2002 LC-ESI-MS-MSを用いた生体試料中サイロシンおよびサイロシビンの分析	20	2	194	195
501809	東京慈恵会医科大学雑誌 劉丹:岡部雅史:清水英佑	2000 中国東北地区における飲料水中マイクロシスチン汚染の現地調査	115	6	619	

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
501810	中毒研究 奥村徹:木村文彦:熊田恵介:他	2001 オオアブラギリの種子摂取による1中毒例	14	4	377	
501811	中毒研究 西澤千恵美:山浦由郎	2003 アマニタ中毒患者の血液浄化に関する一考察	16	4	543	
501812	中毒研究 曽我昭宏:波多野弥生:金田澄子:他	2004 日本中毒情報センターで受信したキノコ中毒に関する実態調査	17	3	296	297
501813	J Toxicol Sci Ueno Y:Makita Y:Tsutsumi T:他	1996 Risk assessment of microcystins、the hepatotoxic algal toxins、in environmental water. Part 2. The acute toxicity of microcystin-LR given by po and Ip routes and the immunohistological analysis of	21	5	376	
501814	中毒研究 芳澤美枝:尾造由美子:牧野博:他	2002 マジックマッシュルーム中毒の1例 ーREMEDi-HS、GC-MSによる尿中サイロシンの分析ー	15	4	434	
501815	新潟医学会雑誌 本田穣:佐藤知巳:稲田勢介:他	2003 鯉の胆嚢(鯉肝)生食によると思われる肝・腎障害の1例	117	11	663	664
501816	食品衛生研究 田中健治:佐藤剛:齊藤初雄	2004 コムギへのトリコテセン系マイコトキシンの汚染防止	54	5	16	17
501817	生薬学雑誌 Takatsuki S:Narui T:Ekimoto H:他	1996 Studies on cytotoxic activity of animal and plant crude drugs	50	2	145	157
502001	Clin Microbiol Rev Bennett JW:Klich M	2003 Mycotoxins	16	3	497	516
502002	Adv Exp Med Biol Manners GD	1996 Plant toxins. The essences of diversity and a challenge to research	391		9	35
502003	Toxicon Habermehl GG	2004 Highlights on plant toxins in Toxicon	44	4	341	344
502004	J AOAC Int Betz JM	1999 Plant toxins	82	3	781	784
502005	J AOAC Int Quilliam MA	1999 Committee on natural toxins	82	3	773	781
502006	J Toxicol Okada K:Niwa M	1998 Marine toxins implicated in food poisoning	17	3	373	384
502007	Br J Anaesth Karalliedde L	1995 Animal toxins	74		319	327

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
502025	PIM	Conium maculatum L	144		1	15
502026	IARC Summ Eval	Aflatoxins Naturally Occurring Aflatoxins(Group 1) Aflatoxin M1 (Group 2B)	1993	56	1	6
502027	Safety Data Sheet Division of Safety National Institutes of Health	Aflatoxins B1、B2、G1、G2、M1、M2、and P1				
502028	FDA/OFSAN Bad Bug Book Food & Drug Administration Center for Food Safety & Applied Nutrition	Foodborne pathogenic microorganisms and natural toxins handbook Pyrrolizidine Alkaloids			1	4
502029	FDA/CFSAN U.S.Food and Drug Administration Center for Food Safety and Applied Nutrition	FDA adbises dietary supplement manufacturers to remove comfrey products from the market	2001		1	2
502051	Toxicol Sci Dragan YP:Bidlack WR:Cohen SM:他	Implications of apoptosis for toxicity、carcinogenicity、and risk assessment: fumonisin B1 as an example	2001	61	6	17
502052	Dohlman E	Mycotoxin hazards and regulations impacts on food and animal feed crop trade	2003			
502055	Psomas IE	Quality and consumer acceptability	2000		1	4
502057	Working Party on Chemical Contaminants in Food	Current and future projects on chemical contaminants	2003	1	1	13
502062	Working Party on Chemical Contaminants in Food	Update on EU matters	2004	9	1	10
502072	Dharmananda S	Safety issues affecting herbs: Pyrrolizidine alkaloids	2004		1	12
502073	Safety Data Sheet Division of Safety National Institutes of Health	Amatoxins				
502101	WHO Food Addit Ser Kuiper-Goodman T:Grant DL	Ochratoxin A		28	1	38
502102	IARC Summ Eval	Ochratoxin A (Group 2B)	1993	56	1	5
502103	JECFA Benford D:Boyle C:Dekant W:他	Ochratoxin A	2001	47	1	108

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
502104	WHO Food Addit Ser Eriksen GS:Pennington J:Schlatter J:他		44		1	51 Safety evaluation of certain food additives and contaminants Zearalenone
502105	IARC Summ Eval	2002	82		1	3 Fumonisin B1 (Group 2B)
502106	IARC Summ Eval	1972	1		1	3 Sterigmatocystin
502107	WHO Food Addit Ser Henry S:Bosch FX:Bowers JC:他		40		1	88 Safety evaluation of certain food additives and contaminants Aflatoxins
502108	IARC Summ Eval	1976	10		1	3 Patulin
502109	IARC Summ Eval	1986	40		1	2 Patulin
502110	International Programme on Chemical Safety Health and Safety Guide United nations environment programme international labour organisation world health organization	1989	26		1	9 Pyrrolizidine alkaloids health and safety guide
502111	WHO Food Addit Ser		26		1	17 Patulin
502112	WHO Food Addit Ser Wouters MFA:Speijers GJA		.35		1	24 Patulin
502113	Third Joint FAO/WHO/UNEP International Conference on Mycotoxins	1999			1	22 Third joint FAO/WHO/UNEP international conference on mycotoxins Tunis、Tunisia、3-6 March 1999 Report of the conference
502114	International Programme on Chemical Safety Environmental Health Criteria	1979	11		1	114 International Programme on Chemical Safety Environmental Health Criteria Mycotoxins
502115	IARC Summ Eval	1993	56		1	4 Toxins derived from fusarium graminearum、F.culmorum and F.crookwellense、Zearalenone、Deoxynivalenol、Nivalenol and Fusarenone X (Group 3)
502116	IARC Summ Eval	1986	40		1	2 Citrinin
502117	IARC Summ Eval	2002	82		1	6 Aflatoxins (Group 1)
502118	IARC Summ Eval	1987		Suppl	1	2 Gyromitrin (Group 3)

文献管理番号	出典 著者	発行年 標題	巻	号	開始ページ	終了ページ
502119	IARC Summ Eval	1972 Cycasin	1		1	2
502120	PIM	Colchicine	141		1	25
502121	Int Prog Chem Saf Eval Heath AJ:McKeown R	2002 Antidotes for poisoning by organophosphorus pesticides Monograph on Atropine			1	38
502122	International Programme on Chemical Safety Environmental Health Criteria	1990 Selected mycotoxins: Ochratoxins、Trichothecenes、Ergot	105		1	163
502123	PIM	Amatoxins	21		1	27
502124	WHO Food Addit Ser Kuiper-Goodman T:Nawrot PS	Solanine and chaconine	30		1	22
503002	Official journal of the european commuities	2003 Commission regulation (EC) No 2174/2003 of 12 December 2003 ammending regulation (EC) No 466/2001 as regards aflatoxins				
503004	農林水産省畜産局長通知63蓄B第2050号	1988 飼料の有害物質の指導基準				
503005	Food Standard Agency Scottland 17 November 2004	2004 Mycotoxins -EC permitted levels				
503006	Official journal of the european commuities	2004 Commission regulation (EC) No 683/2004 of 13 April 2004 amending regulation (EC) No 466/2001 as regards aflatoxins and ochratoxin A in foods for infants and young children				
503007	Grain Fungal Diseases & Mycotoxin Reference	2004 Grain Inspection、Packers and Stockyards Administration Technical Services Division			16	
503010	Official journal of the european commuities	2002 Commission regulation (EC) No 472/2002 of 12 March 2002 amending Regulation (EC) No 466/2001setting maximum levels for certain contaminants in foodstuffs				
503011	Codex alimentarius commision CL 2002/10-FAC	2002 Distribution of the report of the thirty-fourth session of the Codex committee on food additives and contaminats (Alinorm 03/12)			90	
503015	Commision of the European Communities Brussels	2004 Commission decision of imposing special conditions on the import of pistachios and certain products derived from pistachios originating in、or consigned from Iran				
503017	食発 第0521001号 平成14年5月21日 厚生労働省医薬局食品保健部長	2002 小麦のデオキシニバレノールに係る暫定的な基準値の設定について				

文献管理番号	出典 著者	発行年　巻　号　開始ページ　終了ページ 標題
503020	European Community Comments for the Codex	2005 On deoxynivalenol (DON) contaminatin in cereals
503024	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/18 Jan.2004	2004 Maximum level for patulin in apple juice and apple juice ingredients in other beverages new data submitted
503025	Official journal of the European Union	2004 Commision gegulation (EC) No 455/2004 of 11 March 2004 amending regulation (EC) No 466/2001 as regards patulin
503026	FDA US Food and Drug Administration	2004 Food and cosmetics compliance programs mycotoxins in imported foods (FY02/03/04) chapter 07-Molecular biology and natural toxins
503030	Codex Alimentarius Commission Joint FAO/WHO Food Standards Programme CX/FAC 02/21-Add.1	2002 Codex committee on food additives and contaminants Thirty-fourth Session Rotterdam、The Netherlands、11-15 March 2002 Proposed draft code of practice for the prevention of mycotoxin contamination in
503031	Codex Alimentarius Commission Joint FAO/WHO Food Standards Programme CX/FAC 02/19	2002 Codex committee on food additives and contaminants Thirty-fourth Session Rotterdam、The Netherlands、11-15 March 2002 Draft maximum level for patulin in apple juice and apple juice ingredients in
503032	Codex alimentarius commission CX/FAC 02/20 February 2002 Joint FAO/WHO Food Standards	2002 Codex committee on food additives and contaminants 34th session Rotterdam、The Netherlands、11-15 March 2002 Proposed draft code of practice for the prevention of patulin contamination in apple juice and
503033	Codex alimentarius commission CX/FAC 02/22 February 2002 Joint FAO/WHO Food Standards	2002 Codex committee on food additives and contaminants 34th session Rotterdam、The Netherlands、11-15 March 2002 Discussion paper on aflatoxins in pistachios
503034	Codex alimentarius commission CX/FAC 02/21 November 2001 Joint FAO/WHO Food Standards	2001 Codex committee on food additives and contaminants 34th session Rotterdam、The Netherlands、11-15 March 2002 Proposed draft code of practice for the prevention (Reduction) of mycotoxin contamination
503035	Codex alimentarius commission CX/FAC 02/18 Joint FAO/WHO Food Standards Programme	Codex committee on food additives and contaminants 34th session Rotterdam、The Netherlands、11-15 March 2002 Draft maximum level for ochratoxin A in wheat、barley and rye and derived products
503036	Codex alimentarius commission CX/FAC 03/23-Rev.1 Joint FAO/WHO Food Standards Programme	Codex committee on food additives and contaminants 35th session、Arusha、Tanzania、17-21 March 2003 Discussion paper on aflatoxins in tree nuts
503037	Codex alimentarius commission CX/FAC 03/22 February 2003 Joint FAO/WHO Food Standards	2003 Codex committee on food additives and contaminants 35th session、Arusha、United Republic of Tanzania、17-21 March 2003 Comments submitted on the draft code of practice for the prevention (Reduction)
503038	Codex alimentarius commission CX/FAC 03/23 January 2003 Joint FAO/WHO Food Standards	2003 Codex committee on food additives and contaminants 35th session、Arusha、Tanzania、17-21 March 2003 Discussion paper on aflatoxins in tree nuts、including information submitted on aflatoxin contamination
503039	Codex alimentarius commission CX/FAC 03/21 February 2003 Joint FAO/WHO Food Standards	2003 Codex committee on food additives and contaminants 35th session、Arusha、United Republic of Tanzania、17-21 March 2003 Comments submitted on the draft maximum level for patulin in apple juice and
503040	Codex alimentarius commission CX/FAC 03/20 February 2003 Joint FAO/WHO Food Standards	2003 Codex committee on food additives and contaminants 35th session、Arusha、United Republic of Tanzania、17-21 March 2003 Comments submitted on the draft code of practice for the reduction of patulin

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
503041	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/19 January 2004 Joint FAO/WHO Food Standards	2004				Codex committee on food additives and contaminants 36th session、Rotterdam、The Netherlands、22-26 March 2004 Draft maximum levels for ochratoxin A in raw wheat、barley and rye and derived products
503043	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/24 March 2004 Joint FAO/WHO Food Standards	2004				Codex committee on food additives and contaminants 36th session、Rotterdam、The Netherlands、22-26 March 2004 Maximum levels for deoxynivalenol Proposal received from Japan in response to CL
503044	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/23 January 2004 Joint FAO/WHO Food Standards	2004				Codex committee on food additives and contaminants 36th session、Rotterdam、The Netherlands、22-26 March 2004 Discussion paper on aflatoxins in tree nuts (Other than Almonds、Hazelnuts and Pistachios)、
503045	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/22-Add.1 March 2004 Joint FAO/WHO Food Standards	2004				Codex committee on food additives and contaminants 36th session、Rotterdam、The Netherlands、22-26 March 2004 Discussion paper on aflatoxins in tree nuts (Other than Almonds、Hazelnuts and Pistachios)、
503046	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/22 December 2003 Joint FAO/WHO Food Standards	2003				Codex committee on food additives and contaminants 36th session、Rotterdam、The Netherlands、22-26 March 2004 Discussion paper on aflatoxins in tree nuts (Other than Almonds、Hazelnuts and Pistachios)、
503047	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/21 March 2004 Joint FAO/WHO Food Standards	2004				
503048	Codex alimentarius commission CX/FAC 04/36/20 January 2004 Joint FAO/WHO Food Standards	2004				Codex committee on food additives and contaminants 36th session、Rotterdam、The Netherlands、22-26 March 2004 Draft code of practice for the prevention and reduction of aflatoxin contamination peanuts
503049	Codex alimentarius commission CL 2003/13-FAC April 2003 Joint FAO/WHO Food Standards	2003				Distribution of the report of the 35th session of the codex committee on food additives and contaminants (Alinorm 03/12A)
503061	Statutory Instrument	2003	1957	1	4	The food (Figs、Hazelnuts and Pistachios from Turkey) (Emergency Control) (England) (No.2) (Amendment) Regulations 2003
503062	Statutory Instrument	2002	2351	1	10	The food (Figs、Hazelnuts and Pistachios from Turkey) (Emergency Control) (England) (No.2) Regulations 2002
503063	Statutory Instrument	2003	1958	1	4	The food (Peanuts from China) (Emergency Control) (England) (No.2) (Amendment) Regulations 2003
503064	Statutory Instrument	2002	2350	1	10	The food (Peanuts from China) (Emergency Control) (England) (No.2) Regulations 2002
503065	Statutory Instrument	2003	1956	1	11	The food (Pistachios from Iran) (Emergency Control) (England) Regulations 2003
503066	Statutory Instrument	2003	2988	1	4	The food (Brazil Nuts) (Emergency Control) (England) (Amendment) Regulations 2003
503067	Statutory Instrument	2003	1722	1	10	The food (Brazil Nuts) (Emergency Control) (England) Regulations 2003

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
503068	Statutory Instrument	2003		2074	1	10 The food (Peanuts from Egypt) (Emergency Control) (England) Regulations 2003
503081	Food Law News -UK-	2001		67	1	1 Contaminants - Peanut Products and Aflatoxin
503082	Food Law News -UK-	2001		87	1	2 Contaminants - High levels of aflatoxins found in batch of mixed spices for asian curries
503083	Food Law News -EU-	2003		57	1	2 Contaminants - Aflatoxins in Brazil nuts
503084	Food Law News -EU-	2003		68	1	6 Contaminants - Mycotoxins - EC Permitted Levels
503085	Food Law News -EU-	2003		71	1	2 Contaminants - EC amends rules on fig and nut imports
503086	Food Law News -EU-	2002		119	1	3 Contaminants - Mycotoxins - EC Permitted Levels
503087	Food Law News -EU-	2002		8	1	1 Mycotxin - Agency calls for pistachio import ban
503088	Food Law News -EU-	2001		124	1	3 Contaminants - Mycotoxins: EC Permitted Levels
503089	Food Law News -EU-	2001		77	1	2 Contaminants - Mycotoxins: EC Permitted Levels
503090	Food Law News -EU-	2000		29	1	2 Mycotoxins - EC Permitted Levels
503091	Food Law News -FAO/WHO/WTO/Codex - 2002	2002		13	1	2 Codex Committee on Food Additives and Contaminants (34th Session)
503092	Food Law News -FAO/WHO/WTO/Codex - 2001	2001		28	1	2 Codex Alimentarius Commission 24th Session
503093	Food Law News -FAO/WHO/WTO/Codex - 2001	2001		11	1	2 Codex Committee on Food Additives and Contaminants (33rd Session)
503094	Food Law News -FAO/WHO/WTO/Codex - 2000	2000		9	1	2 Codex Committee on Food Additives and Contaminants 32nd Session

文献管理番号	出典 著者	発行年	巻	号	開始ページ	終了ページ 標題
503095	Food Law Internet Project	2000			1	F.L.I.P.2000
503096	Food Law Internet Project					F.L.I.P.2000
503097	Government Gazette	2002	450	24154	1	1 Foodstuffs、Cosmetics and disinfectants At、1972
503098	Food Standards Agency-Regulations	2002			1	2 Aflatoxins regulations
503099	Food Standards Agency-Regulations	2004			1	3 Draft contaminants in food (Scotland) regulations 2004
503100	Food Standards Agency-Regulations	2004			1	2 Draft contaminants in food (Scotland) amendment regulations 2004
503101	Safety Data Sheet-Calbiochem	2003				Conforms to 93/112/EC and ISO 11014-1
503102	Safety Data Sheet	2002				Based on directive 2001/58/EC
503103	Official Journal of the European Communities	2001		L77	1	13 Commission regulation (EL) No466/2001 of 8 March 2001 Setting maximum levels for certain contaminants in foodstuffs
503104	Food Standards Agency	2004			1	4 Retail oat products survey
503105	SANCO/0094/2003-7				1	52 Draft guidance document for competent authorities for the control of compliance with EU legislation on aflatoxins
503106	Working Party on Chemical Contaminants in Food	2003		3	1	9 Update on EU matters
503108	Official Journal of the European Union	2003		L203	1	Commission regulation (EC) No 1425/2003 of 11 August 2003 amending Regulation (EC) No 466/2001 as regards patulin (Text with EEA relevance)
503253	Working Party on Chemical Contaminants in Food	2004		Annex		Summary of discussion at 36th meeting of codex committee on food additives and contaminants、Rotterdam、23RD March 2004
503254	Fryer R:Smith E:Moffat C	2002			1	6 Domoic acid in the king scallop (Pecten maximus)

文献管理番号	出典 著者	発行年 巻 号 標題	開始ページ	終了ページ
503256	Working Party on Chemical Contaminants in Food	2003 Update on EU matters	1	11
503260	Food Advisory Committee (FdAC/EC/70)	2000 EC developments: report by the secretariat		
504001	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Aflatoxins		
504002	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Beta-Aminopropionitrile		
504003	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Amygdalin		
504004	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Atropine		
504005	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Cicutoxin		
504006	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Citrinin		
504007	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Coniine		
504008	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Colchicine		
504009	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Convallatoxin		
504010	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Cycasin		
504011	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National library of Medicine's	2004/Dec.1 Cyclopamine		
504012	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Grayanotoxin I		
504013	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Gyromitrin		

文献管理番号	出典 著者	発行年 巻 号 開始ページ 終了ページ 標題
504014	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Solanine
504015	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 (-) -Hyoscyamine
504016	Hazardous Substances Daba Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Linamarin
504017	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Muscimol
504019	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Phorbol
504020	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Patulin
504021	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a databasr of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Rubratoxin A
504022	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Rubratoxin B
504023	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Scopolamine
504024	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Sterigmatocystin
504025	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Feb.1 T-2 Toxin
504026	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Taxine
504027	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Tetrahydrocannabinol
504028	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2004/Dec.1 Tomatine
504029	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Allyl propyl disulfide

文献管理番号	出典 著者	発行年 巻 号 開始ページ 終了ページ 標題
504030	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Alpha-amanitin
504031	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Ciguatoxin
504032	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Cucurbitacin C
504033	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Deoxynivalenol
504034	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Digitoxin
504035	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Domoic acid
504036	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Ergot alkaloid
504037	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Fumonisin B1
504038	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Gelsemine
504039	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Luteoskyrin
504040	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Muscarine chloride
504041	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Nivalenol
504042	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Ochratoxin A
504043	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Okadaic acid
504044	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Phalloin

文献管理番号	出典 著者	発行年　巻　号　開始ページ　終了ページ 標題
504045	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Prostaglandin F2alpha
504046	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Saxitoxin dihydrochloride
504047	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Taxol
504048	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Tetrodotoxin
504049	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Veratramine
504050	Hazardous Substances Data Bank (HSDB)、a database of the National Library of Medicine's	2005/Mar.1 Zearalenone
507001	食品衛生化学物質事典 細貝祐太郎:中澤裕之:西島基弘	中央法規 食品衛生化学物質事典
507002	天然の毒 山崎幹夫:中嶋暉躬:伏谷伸宏	(株)講談社 天然の毒
507003	食品の安全性評価と確認 一色賢司:豊田正武:西島基弘	(株)サイエ 食品の安全性評価と確認
507004	きのこ中毒 山下衛:古川久彦	共立出版(きのこ中毒
507005	食品安全性セミナー5　マイコトキシン 宇田川俊一:田端節子:中里光男	中央法規 食品安全性セミナー5　マイコトキシン
507006	リスク解析学入門　ー環境・健康・技術問題におけるリスク評価と実践ー D.M. カーメン:D.M. ハッセンザール	シュプリン リスク解析学入門 ー環境・健康・技術問題におけるリスク評価と実践ー
507007	平成11年　食中毒統計 厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課	(財)厚生統 平成11年　食中毒統計